

令和 5 年度
那覇市の未来の担い手育成に向けた
キャリア教育支援事業
実施報告書

令和 6 年 3 月
委託者：那覇市商工農水課
受託者：那覇市キャリア教育支援コンソーシアム

令和5年度 那覇市の未来の担い手育成に向けたキャリア教育支援事業

報告書

目 次

第1章. 事業概要

1. 事業名	• P. 3
2. 目的	• P. 3
3. 本事業の取組	
(1) 実施主体	• P. 3
(2) 実施機関	• P. 3
(3) 実施期間	• P. 3
(4) 実施内容	• P. 3

第2章. 令和5年度活動概要

1. 実施の特色やねらい、活動概要	
(1) 産業教育プログラム	• P. 4
(2) 起業家教育プログラム	• P. 4
2. 今年度の実績	• P. 4
3. 年間スケジュール	• P. 4
4. 実施総括	
(1) 取組の成果	• P. 7
(2) 取組の課題と改善点	• P. 15

第3章. 実施報告

1. 産業教育プログラム（那覇小学校、古蔵中学校）	• P. 17
2. 起業家教育プログラム（曙小学校、松川小学校）	• P. 39

付録 アンケート結果など

(1) 産業教育プログラムアンケート結果

- ・那覇小学校
- ・古蔵中学校

(2) 起業家教育プログラムアンケート結果

- ・曙小学校
- ・松川小学校

(3) 事業所アンケート P. 120

(4) 古蔵中学校 生徒成果物 P. 123

第1章 事業概要

1. 事業名 那覇市の未来の担い手育成に向けたキャリア教育支援事業

2. 目的

新しい時代に入り、急速に進む産業構造の変化や、社会意識の変革が求められるなか、これからの中長期的な社会に対応した人材育成が求められている。教育についても同様であり、新しい時代にふさわしい教育改革も本格化している。その一方で、事業承継の課題など、後継者不足が問題となっている。「那覇市市内中小企業経営実態調査」によると、2015年以降、事業承継を実施した事業者は21%にとどまっており、実施しなかった事業者のうち、事業承継を検討していると回答した事業者も4分の1以下となっている。中小企業のこういった実態を鑑みるに、事業承継に対する行政の取組みは必要不可欠なものである。そこで、那覇市では本事業を通して、本市の産業発展を担う子どもたちの正しい産業理解の促進や、早期からの職業観・勤労観を育成し、働くことへの憧れや意欲を高める活動により、社会への円滑な移行を実現すると共に、那覇市の未来を担うイノベーション人材や人材確保に課題を抱える産業分野への人材の育成と輩出を図ることを目的とする。

3. 本事業の取組

(1) 実施主体：那覇市役所 経済観光部 商工農水課

(2) 実施機関：株式会社ケイオーパートナーズ／株式会社ジョイオブクリエーション

(3) 実施期間：令和5年6月15日～令和6年3月31日

(4) 実施内容：

(1) 職業教育プログラムの実施

①産業教育プログラム

②起業家育成プログラム

(2) 周知広報

(3) アンケート調査の実施及び分析業務

(4) 事務管理及び事務体制について

① 事業実施計画の策定

② 業務・事務体制

③ コーディネーターの配置

④ 会議の開催

⑤ 許認可手続き等

⑥ 文書や資料等の整備と保存

⑦ 資料及び報告書等の提出

第2章 令和5年度活動概要

1. 実施の特色やねらい、活動概要

(1) 産業教育プログラム

那覇市（長）からミッションとして「子ども達が考える10年後の那覇市」を提案せよ！を受け、これから那覇市（沖縄県）の将来を担う子供達に対して、社会を担う意識を持ち、地域や産業の課題は何か、課題解決を探っていく産業教育×PBL型プロジェクト。

取組の中では、那覇市には多様な産業や職業があること、那覇市や企業の魅力、課題等を学び、課題解決に繋がるヒントを子ども達が主体的に探していく。最後には、「那覇市への提案会」として、市長（那覇市）の前で中学生の視点から考えた「10年後の那覇市」について提案していく。

(2) 起業家教育プログラム

会社を作り、商品製造、販売、決算する等、起業体験を行うプログラム。グループ活動を通して起業家の資質・能力である課題解決力、情報収集・分析力、判断力、企画・提案力、コミュニケーション能力の必要性に気づく機会を創出する。

2. 今年度の実績

(1) 産業教育プログラム

	実施内容	対象者	参加人数	協力事業所数
1	那覇市立那覇小学校	3年生	70	6
2	那覇市立古蔵中学校	1年生	203	13
計			273	19

(2) 起業家教育プログラム

	実施内容	対象者	参加人数	協力事業所
1	那覇市立曙小学校	6年生	47	4
2	那覇市立松川小学校	6年生	74	2
計			121	6

3. 年間スケジュール

時期	産業教育プログラム	起業家教育プログラム
6月	●事業開始（6/15）	
7月 ～ 8月	●学校周知 ●各取組についての学校説明会開催 ●各取組の実施校決定・学校調整・実施プログラム開発・策定 ●企業開拓	
9月	●那覇小学校 ・事前学習1回目（9/20）	●曙小学校プログラム開始 ・事前学習1回目（9/14）

時期	産業教育プログラム	起業家教育プログラム
	●企業開拓、講師調整	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習 2回目 (9/21) ・起業家教育プログラム1回目 (9/28) ・起業家教育プログラム実施にあたっての教員向け研修 (6学年) ●金融機関開拓
10月	<ul style="list-style-type: none"> ●プログラム策定 ●企業開拓、講師調整 	<ul style="list-style-type: none"> ●曙小学校 ・起業家教育プログラム2回目 (10/20) ●金融機関との事前研修会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ●那覇小学校 <ul style="list-style-type: none"> ・産業教育プログラム(11/7) 町探検「町博士になろう！」 国際通り、公設市場通りの探検プログラム ・産業教育プログラム(11/29) 那覇市の伝統文化に触れる 親子体験プログラム「紅型染体験」 ・事後学習 ●古蔵中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習1回目(11/15) 	<ul style="list-style-type: none"> ●曙小学校 ・起業家教育プログラム3回目(11/2) ・起業家教育プログラム4回目 ◀実践販売当日：曙っこまつりにて ・起業家教育プログラム5回目(11/28) ・事後学習 ◀振り返り、成果物作成、学習発表会での演劇発表に向けた練習 ●松川小学校 ・事前学習(11/17) ・起業家教育プログラム実施(11/21 4コマ) ・事後学習
12月	<ul style="list-style-type: none"> ●那覇小学校 <ul style="list-style-type: none"> ・事後学習 ●古蔵中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習2回目(12/8) ・事前学習3回目(12/22) 	<ul style="list-style-type: none"> ●曙小学校 <ul style="list-style-type: none"> ・事後学習(12/7) ・学習発表会(12/17) ●松川小学校 <ul style="list-style-type: none"> ・事後学習
1月	<ul style="list-style-type: none"> ●那覇小学校 <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修会 全体研修にて取組事例発表 ●古蔵中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習3回目(1/16) ・実施当日 NAHA ミライ city in school(1/18) 	●実施後ヒアリング

時期	産業教育プログラム	起業家教育プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ・事後学習(1/26) └1月中をかけて学校にて事後学習実施 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ●古蔵中学校 ・那覇市への提案(2/22) ●アンケート結果とりまとめ ●学校ヒアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンケート結果とりまとめ
3月	<ul style="list-style-type: none"> ●古蔵中学校 ・事後学習2回目(3/1) ●報告書作成 ●事業終了(3/31) 	

4. 実施総括

(1) 取組の成果

①産業教育プログラム

1. キャリア教育の視点に基づいたプログラムの実践

本プログラムは、事前学習～事後学習まで各学校の実施可能な時期やコマ数に応じて、事務局が担う授業と学校が担う授業に分けて実施している。産業教育プログラムでは、市長からのビデオメッセージや十数社の事業所が一堂に会する場づくり「NAHA ミライ City in School」、最後には今後の街づくりに対する提案を行うなど、子ども達の探究心やワクワク感を育むための工夫を行っている。他にもさまざまな角度から、那覇市のことや多様な産業を知ってもらうため、そしてそこから自分の未来について考えてもらうため、役所の方からの話や職業人による講話も随所に組み込んだ。加えて、インプットだけでは本当の理解につながらないことや、多様な価値観を共有するために、各授業ではグループワークを組み入れ、自分の意見を考え伝えながら、他者の考えも踏まえて合意形成を図ったり、みんなの前で発言する機会も意識的に多く取入れた。「NAHA ミライ City in School」では、単なる職業体験にとどまらぬよう、①すべての仕事は関連しながら誰かの役にたっていること、②多様な職業や仕事を知る機会、③学校の学びが社会とつながっていること、④多様な働く人の勤労観や職業観を知る機会の計4つの視点を組み込んだプログラム構成とした。

流れ	プログラム内容（45分／各ブースにて）
導入	<p>【ミニ講話】（約10分）</p> <p>①沖縄県（那覇市）における産業界と自社の社会的役割、課題について →なぜ、このような産業が必要か、過去・現在・未来</p> <p>②業務・職業について →組織内における多様な職種や仕事の紹介</p> <p>③必要な資質・能力（求める人材）について →学校の学びが社会とつながっていることがわかる</p> <p>④一社会人として働く想い等について →なぜこの仕事についたか、大変なこと、やりがい等</p> <p>⑤今日行う体験の流れや注意点等</p>
体験	<p>【体験プログラム】（約25分）</p> <p>・実際の業務や使用している道具、映像、ゲーム等を通して、業務や職業、仕事を疑似体験</p> <p>（例）自社が抱えている課題や講話を受けて、10年後の商品やサービスを子ども目線でアイデア出し、企画提案、課題解決なども可。</p>
まとめ	<p>【インタビュー】（約10分）</p> <p>・生徒から講師に対してのインタビュー、分からなかったことについての質問、感想の共有、振り返り等</p>

（出展企業様との事前打ち合わせの際に配布した資料）

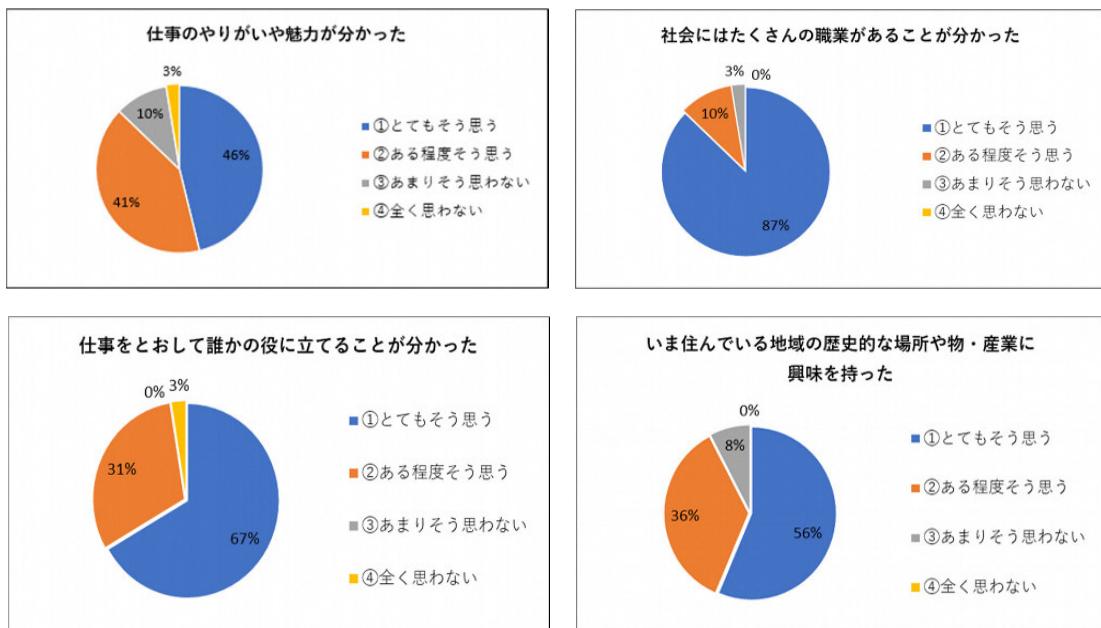
実施プログラム内容構築から行うことで高い効果をねらう

2. 産業教育プログラム実施による効果について

プログラム実施後アンケートによる効果測定を行った。総合的な学習の時間での取組みを通して「仕事のやりがいや魅力が分かった」の問い合わせに対して、“とてもそう思う”“ある程度そう思う”との回答は87%あった。産業や職業のことを伝えるプログラム構成と並行して、魅力ややりがい、役割についても伝えるよう工夫した結果、働くことの本質の理解に繋がるきっかけになつたのではと考える。また、「社会にはたくさんの職業があることが分かった」の問い合わせに対しては87%が“そう思う”と回答しており、さらに「仕事をとおして誰かの役に立てることがわかつた」の問い合わせには98%が“そう思う”と回答している。本プログラムでは、連携している講師の職

業や業種と関連する仕事内容にも触れる工夫をしていることで、産業・職業同士の繋がりに気づいたり、仕事は誰かのために、また、会社は何かの課題解決のために活動していることへの理解も深まり、勤労観、職業観の醸成につながったと考える。

次に、「いま住んでいる地域の歴史的な場所や物・産業に興味を持った」の問い合わせに対しては、92%が“そう思う”と回答している。毎日通う学校という場所も「地域のひとつ」であるという考え方の下、地域の歴史や、産業の成り立ちについて大切に伝えてきたことで、地域に対する理解や愛着形成につながったのではないか。地域のことが分かっていく体験を通して、「もっと知りたい！」という意欲を高めることにもプログラムが寄与したことが分かった。

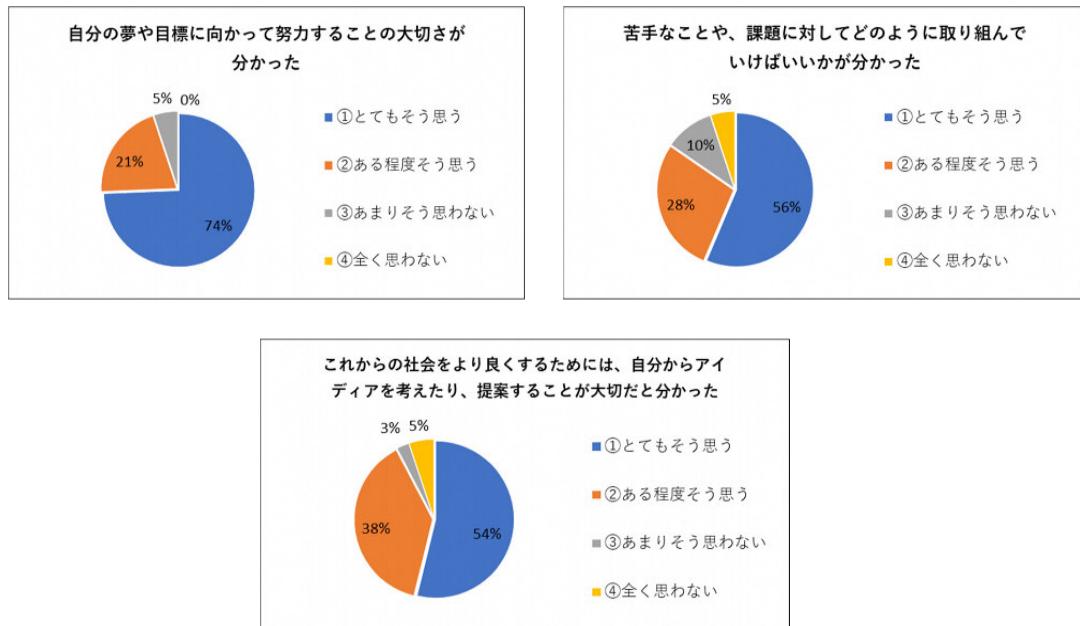


続いて、「自分の夢や目標に向かって努力することの大切さが分かった」の問い合わせには、95%が“そう思う”と回答、「苦手なことや、課題に対してどのように取り組んでいけばいいかが分かった」の問い合わせには、84%が“そう思う”との回答があった。働く大人との出会いや体験を通して、物事の捉え方、考え方について前向きな見方・考え方育まれたことは成果と考える。

本プログラムは、“いま”を伝えることを通して、子どもたち自身が大人になることや、働くことについて考えを巡らせ、将来について具体的に考えていくことをも目指しプログラムを構成してきたが、「これから社会をより良くするためには、自分からアイディアを考えたり、提案することが大切だとわかった」の問い合わせには、92%が“そう思う”と回答している。社会を担う当事者としての意識の芽生えや、自分たちでこれからの地域を創造していくことなどを感じ取ることに繋がったのではないか。

最後に、「今回の学習を通して、将来の那覇市がこうなっていたら良いな！と思うことは？」の自由記述では、「那覇の文化をもっと世界に伝えていきたい」「地域が協力して幸せな場所になってほしい」「SDGsの目標を達成したい」「みんなが心優しく那覇を大切にできること」などがあげられた。

以上のことから、プログラム実施にあたり、学校の学びが社会とつながっていることや、自分が進みたい職業や仕事に就くために、日々の学校生活をどう過ごしていくことが大切なことを、働くことや地域理解の観点から伝え続けたことで、もっと知りたい！という探究のスイッチが入り学習意欲の向上にもつながったと考える。また、児童生徒にわかりやすく楽しみながら学べるよう各団体・事業所が創意工夫してくれたことも、取組みの効果を高めることに繋がったのではないか。

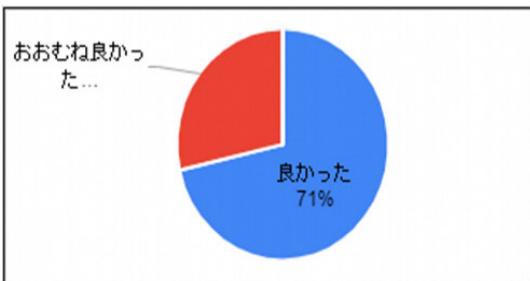


3. 団体・事業所が教育に関わるメリット

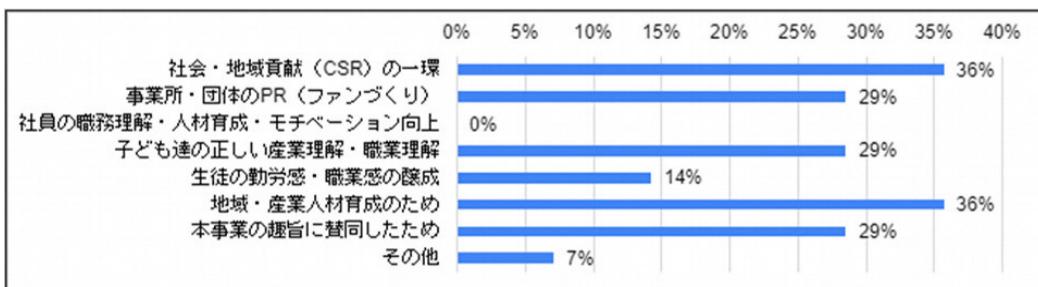
本プログラムは、産業界・事業所の協力が要となるが、今年度も事前学習から NAHA ミライ City in School 当日、および事後学習会まで各産業界・事業所のみなさまにご協力いただいた。特に、NAHA ミライ City in School では、多様な産業界・事業所から 12 もの団体・事業所に出展いただき、どの事業所においても、産業教育プログラムに参加するにあたって丁寧な説明を重ね開拓を行った。プログラム構築については事業所に寄り添いながら、大切な視点はぶれないように、且つ児童生徒たちが楽しみながら学べるよう、さまざまなアイディアを出し合い、時間をかけながら策定していった。ご協力いただいた事業所のお陰で、NAHA ミライ City in School は、児童生徒からも教員からも大好評の中、無事に終了することができた。

企業が出展を決めた理由については、アンケート結果より“社会・地域貢献(CSR)の一環”“地域・産業人材育成のため”がそれぞれ同率で首位だった。次いで“子どもたちの正しい産業理解・職業理解の醸成のため”“本事業の趣旨に賛同したため”“事業所・団体の PR (ファンづくり) のため”が続いた。

「出展されてどうだったか」という設問に対して“良かった”“おおむね良かった”とすべての企業様より肯定的な回答を得ることができた。その理由として「地域に貢献できた」「児童生徒からの声をダイレクトに受け取ることができるから」「児童生徒と交流が図れて、色々な意見を聞くことができて刺激になった」という感想をいただけた。



問:出展されてどうだったか

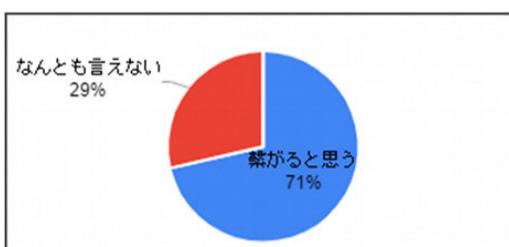


問:出展を決められた理由は？

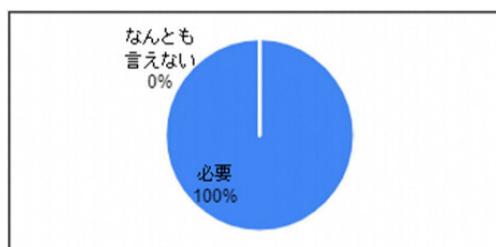
更に、「今回のようなプログラムは、児童生徒にとって、産業理解の促進や職業観・勤労観の醸成、地域人材育成につながったか」という設問では“繋がると思う”との回答が71%あった。回答した理由としては、「若年層から様々な就業体験ができるることは、将来に必ず役に立つから」「漠然と大人の仕事を想像しているだけよりも、実際に企業の担当者と会うことでリアルに感じるはずだから」「生徒の人生の選択肢を広げるきっかけになると思う」という意見をいただいた。

他にも「今回のような産業教育プログラムは貴社にとって必要だと思うか」では、“必要”との回答が100%となった。理由としては、「小売業の企業イメージが強くあるなかで、様々な事業を展開していることを説明する機会となった。今後も依頼をいただきたい」「目にする機会が少ない職業につき、知ってもらうきっかけになる」「地域と繋がることができる」等があげられた。

以上のことから、産業界や事業所において本プログラムに関わることで、社会貢献や未来の産業人材創出の目的のみならず、社員の人材育成ややりがい、商品やサービスの見直しなどにもつながる等、団体・事業所が直接教育に関わることの大きなメリットも感じており、学校とwinwinの関係が築けたのではないかと考える。



問:産業理解の促進や職業観・勤労観の醸成、地域人材育成につながったか



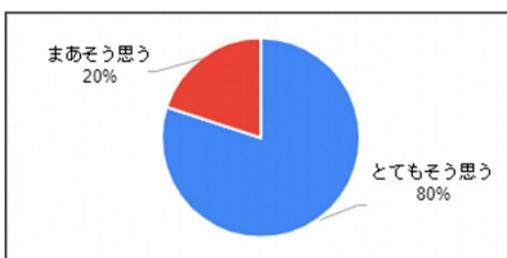
問:今回のような産業教育プログラムは、貴社・貴団体にとって必要だと思うか

4. 従来の体験プログラムに並ぶ効果

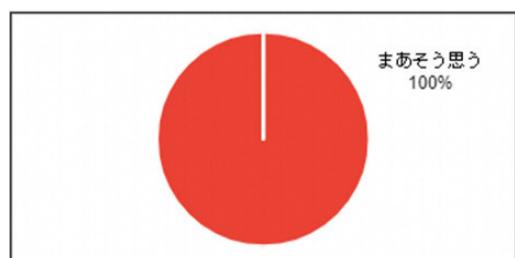
冒頭に記載したように本プログラムは、事務局と学校が事前・事後学習の授業をはじめ、NAHA ミライ City in School 当日も含め、それぞれの役割を持って協働していった。

「教員向けアンケート」の「プログラムに参加して、那覇市への学びは深まったと思うか」の問には、「そう思う」とすべての教員より回答を得られた。また、「今回のプログラムを通して、身についたと思う力は?」との問には、「課題解決力」が首位で、次いで「判断力」などが続いている。那覇市の現状を伝えながら、企業が日々どのような活動を通して解決に向けて取組んでいるのか、などを集中的に学んだことで、主体的に地域課題解決に臨む姿勢や考えを持つことができたのではないかと考える。

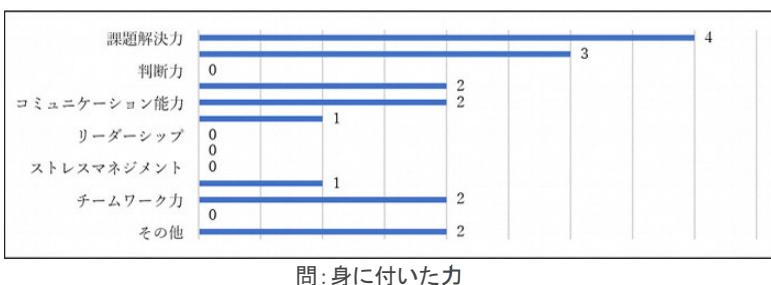
また、「プログラムに対して、積極的かつ主体的に取り組み、自分ごととして 10 年後の那覇市の未来について考えられていたと思うか」の問には、全職員が肯定的に回答している。理由として、「10 年後の那覇市を考えることで、未来の自分を想像している様子が見られた」「那覇市の企業に触れる機会ができたから」「真剣に、また、ワクワクしながら取り組んでいた」「自分たちの街の将来について考えることで、働く意義や様々な職業について理解しようとする姿勢が多数の生徒から感じることができた」など、体験を通して、主体性や探究心を引き出せたことがわかった。



問: プログラムに参加して、那覇市への学びは深まったか



問: プログラムに対して、積極的かつ主体的に取り組み、自分ごととして 10 年後の那覇市の未来について考えられていたと思うか



問: 身に付いた力

「地域のことや、産業について知るためにこれからも産業教育プログラムの様なキャリア教育は必要だと思うか」という設問に対して、アンケートに回答いただいた全職員が肯定的な回答をしており、「このような機会がないと、地域の産業や企業について詳しく知ることができないから」「教員では分からることや伝えることが難しい部分を、専門的に携わっている職業人が話してくれる生徒にとっても有意義であると思う」等の理由があがっていた。他にも「12 もの企業が体験させてくれたのが大きい」「職場開拓や訪問調整の面をコーディネーターが担うことで、教員

の負担軽減に繋がり、生徒管理に注力できた」「他者と協働することで、インプット・アウトプットの両方をうまく行うことができた」と感想があった。以上のことから、一般的な職業体験プログラムと同様、またはそれ以上に学びが得られるプログラムのひとつであったと考える。

5. 教科横断によるプログラム実践

今年度の産業業教育プログラムを実施した那覇小学校では、対象学年を3年生に位置付け実践した。4年生～6年生と地域への学習や、働くことへの学びも進むにあたり、これから学びへの土台づくりとして、3年生でのプログラム実践にチャレンジした。通常、外部と連携したキャリア教育実践は高学年での実践が多いが、那覇小学校では6学年を系統立てて児童のキャリア形成に取組む試みがあったことから、次年度以降、継続した取組としてのモデル事例にもなることも目指し、学校と慎重に調整を重ねプログラムを策定していった。

特筆すべきは、総合的な学習の時間と社会科の学習を横断する取組みにしたことにある。小学3年生はまだ働くことについての捉えが具体的ではない段階であることや、これから社会が広がり自分と他者・自分と地域というように様々な関連に気づいたり、考えていける段階であるため、今回のプログラムでは、児童が日々の学習のなかで、体験したことと日々を結び付けて復習したり、考えていけるよう取組むこととした。

教科横断の実践は、特別に時間を捻出して取組む必要がなくなることや、年間を通して実践にできることにメリットがあった。また、講師と連携した実施の前後で、事前準備や事前学習の時間を確保できること、また、体験後には、実施した内容を復習したり、題材にして思い出すことで、反復学習の実践にも繋がった。

様々なキャリア教育に関する調査のなかでも、体験学習を終えたあと1～2週間程度は効果が持続することが分かっている。そのあとは、記憶が薄れ、体験したことを忘れていく傾向にあるが、教科横断型の取組みにすることで、その効果を持続できたことが大きな実践の成果と言える。

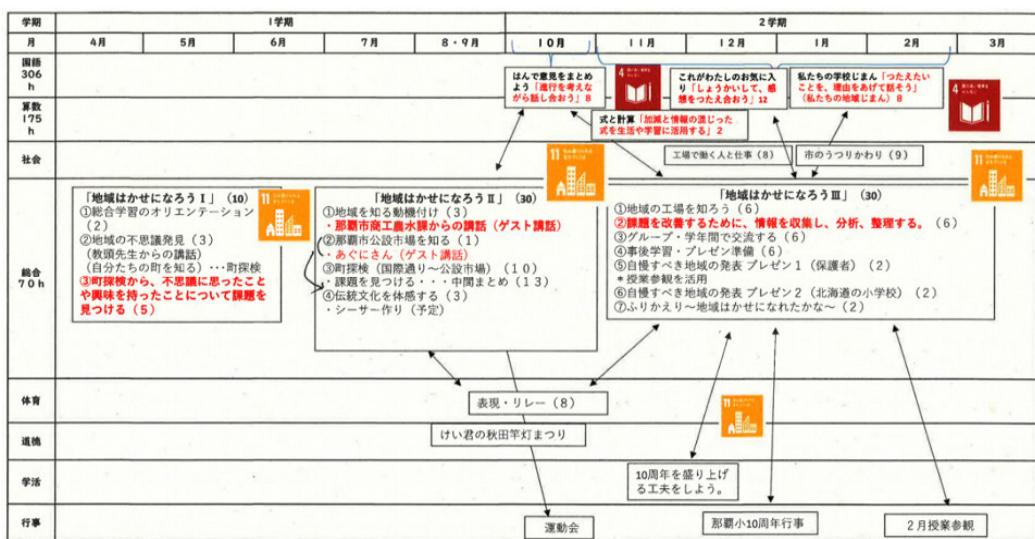


図1:那覇小学校 教科横断実践の計画

②起業家教育プログラム

起業家教育プログラムについて説明するにあたり、まずは経済産業省と文部科学省がそれぞれ発表している内容に触れる。経済産業省「初等中等教育段階における起業家教育の普及に関する検討会」において起業家教育とは、「起業家精神（チャレンジ精神、創造性、探究心 等）と起業家の資質・能力（情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力等）を有する人材を育成する教育」と定義されている。文部科学省は、平成28年度より「小中学校等における起業体験推進事業」において、「キャリア教育の一環として、「起業家精神」や「起業家の資質・能力を有する人材を育成」を目指し実施してきた。すなわち、起業家教育とは、起業家や企業経営者だけに必要な力ではなく、これから時代を生きていくために必要な力を育成するための教育であると捉えることができる。一方、キャリア教育で育成すべき力とされる「基礎的・汎用的能力」は、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4領域から成り、経済産業省が提唱する「社会人基礎力」、文部科学省の「学士力」、内閣府の「人間力」および、起業家の資質・能力にも共通する力が提示されている（図2参照）。

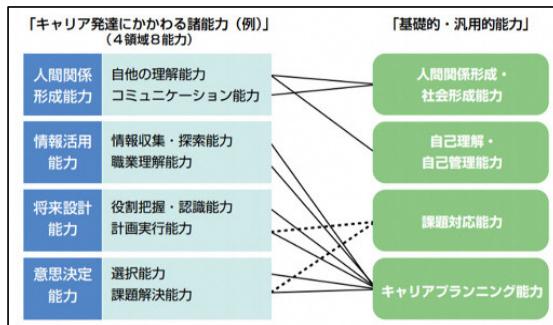


図2 文部科学省「小学校キャリア教育の手引き」より

本事業では、起業家の精神および起業家の資質・能力の育成を目指し、株式会社セルフティング監修のもと、早期起業家教育プログラムをベースに、実施対象である小中学校における総合的な学習の時間との関連を図りながら、本市の現状・課題を考える学習を加え本事業実施プログラムとした。

1. 起業家の資質・能力の育成と、取組みの発展（現金を用いた実践）

本プログラムでは、一つのグループを会社に見立て、メンバーはそれぞれ役職（社長、広報、仕入れ、会計、製造）に就き、活動を行った。自分が興味のある役職に就く児童もいれば、「絵を描くのが得意だから製造マネージャーがいいのでは？」と、メンバーの個性を生かした役職を話し決めたグループもあった。このように役職を決める際も、自身の興味関心を考えたり、他者を認めること実践するワークとした。活動を進める上で、商品のコンセプト決めや価格設定、PR内容等、あらゆる場面で役割を全うしながら、グループ内で合意形成を図る場面を設計した。事後アンケートに寄せられた児童の感想からも、グループ活動での経験を通して、多様な意見を出し合い、対話を通じて他者との協働により考えをまとめ、最終的なゴールに向かっていく実践のなかで、様々な気付きが得られたことが分かった。（付録：アンケート参照）

起業家の資質・能力（情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力 等）の育成が図れたのではないかと考える。

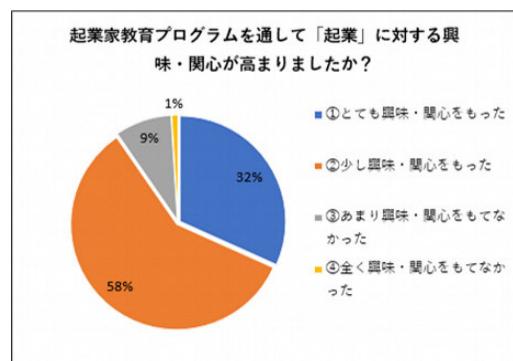
また、昨年度からの取組みを発展させた事例として、今回実施校の1つ曙小学校では、現金を使用しての実践に挑んだ。曙地域の行事である「曙っこまつり」で実践販売体験を位置づけ、活動資金はPTAから協力いただき予算捻出をいただいた。PTAからの協力を得られたことで、今後

も学校や地域が主体となり取組みを継続していける体制構築を目指した。また、得られた利益は、地域課題解決のための活動費や必要経費に充ててもらえないかという提案と共に、地域団体へ寄付を行った。児童たちは、地域の一員としての自覚を持ちながら、活動を進めるうえで地域のために、という考えをもって取組んだ先に、地域団体への寄付という形で一つの取組みのゴール設定ができたことは大きな成果ではないかと考える。

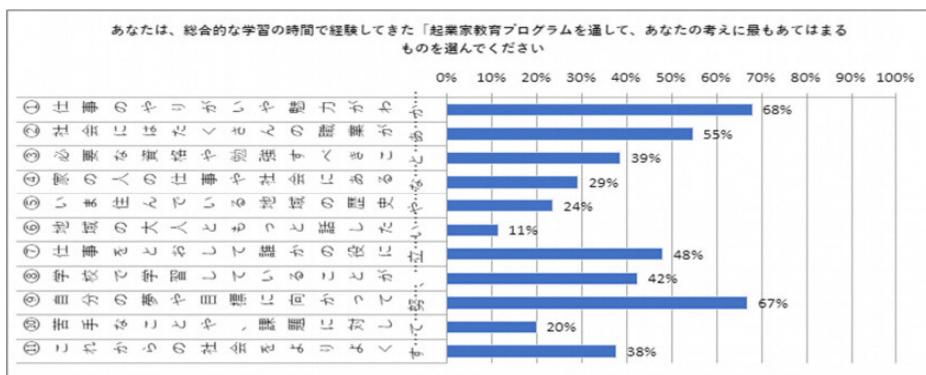
2. “働くこと” や “起業” への関心の高まり

児童の事後アンケートにて、「問3.起業家教育プログラムを通して“起業”に対する興味・関心は高まりましたか？」という問い合わせに対し、「とても興味・関心を持った」「少し興味・関心を持った」という回答が90%となった。加えて、問1の本プログラムを通して分かったことを問う項目では、「②社会にはたくさんの職業があることが分かった」に対し「とてもそう思う」「ある程度そう思う」と回答した児童が68%と最も多く、次いで、「⑩自分の夢や目標に向かって努力することの大切さがわかった」という項目が高い回答率となった。本プログラムで“起業”という体験を通して、職業の幅広さを知り、起業に対する関心が高まった結果となった。

本プログラムを通して児童は、お客様視点に立ってニーズを捉え、且つ効果的なPRやグループ



のチームワークが利益という成果に繋がるという体験をした。その過程で、壁にぶつかりながらも小さな成功体験を繰り返し、要所で達成感を味わうよう設計されており、その濃い体験が児童の起業への興味関心を高めたのではないかと考える。児童の感想からも「起業家プログラムを通して、将来はあらゆる仕事があることも知った事と、仕事をしていく大変さが伝わってきたので、お母さんとお父さんはいつも僕のために仕事を頑張って働いた、その稼いだお金を使っているんだと改めて気づきました」「僕と働くチームを大事にしてお金をたくさん稼いで恩返しをしたいと思いました」「自分が働くことについて地域のためになってることがわかった」等、起業や仕事の大変さを体感しつつも、児童一人ひとりが“役割”を全うし果たす過程での悩みや葛藤、達成感などを通して、児童のキャリア発達が促されたことが捉えられる。



(2) 取組の課題と改善点

1. 地域連携体制プラットフォームの形成に向けて

本事業を継続して実施していくために、地域が主体となり取組める体制の構築を目指している。児童生徒の勤労観、職業観の醸成や、学校におけるキャリア教育実践においては、様々な主体が役割を持ち取組んでいくことが要となる。次年度以降、事業を推進・継続していくために連携企業の情報の蓄積や、それらを学校が活用できることを目指して、産学官地域が連携するプラットフォームの設置を目指したい。地域における課題や、キャリア教育実践・人材育成などについて協議できる場ができることで、継続した実施体制の維持のための議論や、産学連携によるプログラム構築が促進できると考える。これまで連携してきた企業からも、継続して関わっていきたい意向が多く寄せられていることからも、教育参画の機会創出についても議論しながら、真に機能する地域連携プラットフォームを目指していきたい。

2. 学校同士の連携促進

実施校は実施2年目から主に学校・教員が実施主体の役割を持ち、取組みを進めていくことを推進しているが、そこにはまだ解決すべき点や、教員だけで担うには難しい業務や役割などがあるため、引き続き自走に向けた議論は、前述したプラットフォームのなかでも行っていく必要がある。一方で、学校同士の連携が促進できることで解決できることも見えてきた。たとえば、好事例の共有や、実施前後の児童生徒への指導内容の共有、作成した教材の共有などである。先行して実施してきた学校の様々な情報や事例、教材などが共有できることで、時間の短縮にもつながると共に、事例の蓄積にも繋がると考える。それらの共有は、各校がコミュニケーションツールとして使用している Googleclassroom の活用を次年度は推進していきたい。学校間での定期的な情報発信や共有ができることで、異動が伴う勤務体制であっても、ノウハウの共有や連携体制の維持ほか、異動先での学校での新たな実践にも繋がると考える。

3. コーディネーターの配置と役割

事業推進の要を担うコーディネーターは、キャリア教育支援を行う専門家としてプログラム開発や実施支援、教材開発など多岐に渡る役割を担う。教育支援を促進するための役割以外にも、地域の事業所との連携拡大のため、企業開拓や企業調整なども担うことから、コーディネーターの業務は幅広い。今年度の教員アンケートからも、コーディネーターがいることで多様な体験の機会を創出できること、企業との連携が促進できたこと、教員の業務負担軽減につながったことなどが寄せられた。那覇市内の全小中学校で取組みを拡大し継続していくためにも、学校や企業など各主体の役割を明確化していくことと併せて、つなぐ役割をもつコーディネーターの配置についても積極的に議論していきたい。そのためにも、コーディネーターの役割や機能を明確にするとともに、コーディネーターがいることでの効果を検証することも進める必要があると考える。

4. 学校の年間計画への組み入れ

本事業で行うプログラムは、学校の年間計画が定まった後で学校との調整が始まるため、時数の確保が難しい学校もあった。時数の確保が難しい学校は確保可能な授業数で十分な効果が得られるよう、プログラムを改良して対応した。プログラムを進行するにあたり、当初想定していた

児童生徒の変容が見られない場合には、計画していた内容を改善したり、新たに時数を確保することもあったが、教員の尽力もあり、授業数をねん出し対応することができた。次年度も年間計画が策定された後からの実施になることが見込まれるため、年間計画が定まった時期からでも取り組み易くできるようスタンダードなプログラム、連携企業数を増やして職業人講話などの手法を多く取り組むプログラム、などというように、内容のバリエーションを増やして、学校の実情に合わせて選択していただけるよう取り組む必要を感じる。

第3章. 実施報告

1. 産業教育プログラム

那覇市（長）からミッションとして「子ども達が考える10年後の那覇市」を提案せよ！を受け、一人ひとりが、これから社会を担う当事者としての意識を持ちながら、自分や周りの人が幸せになるために、地域や産業の課題は何か、課題解決を探っていく産業教育×PBL型プロジェクト。

事前学習では、働くことの意味や価値を考え、多様な産業や職業があること、那覇市や企業の魅力、課題などを学んでいく。また、NAHA ミライ City では、市内にある多様な事業所やお店、各施設のブースを回り、職業体験や講話、インタビューなどを通して、多様な働く想いや異なる社会的な役割を知り、共通点や、課題解決に繋がるヒントを子ども達が主体的に探していく。事後学習では、これまでの学びを通して生徒自らが考える10年後の那覇市について、話し合いを重ね主体的に取組む姿勢を作り、将来なりたい自分を考えることと同時に、これから行動宣言や、地域愛を育むカリキュラム構築を行っていった。

【実施対象校】

- ①那覇市立那覇小学校 3学年 70名
- ②那覇市立古蔵中学校 1学年 203名

■那覇小学校 実施報告

・実施校概要

◆那覇市那覇小学校	
所 在 地	〒900-0016 那覇市前島1-7-1 TEL: 098-917-3339 / FAX: 098-917-3353
学 校 長	新川 美紀
担 当 教 諭	比嘉 律子
対 象	3学年 (2クラス)
人 数	70名
学校教育目標	○かしこく ゆたかに たくましく 未来に伸びゆく 那覇っ子 知: 気づき、考え、表現し自ら学ぶ子 心: 心豊かで、思いやりのある子 体: 健康でたくましく安全に行動できる子 夢: 夢に向かってがんばる子

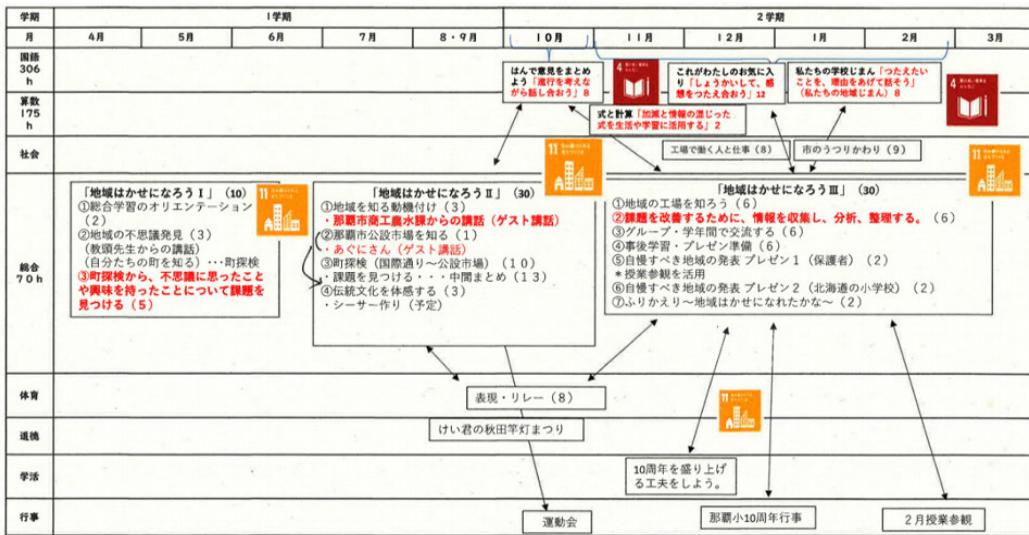
・実施のねらい

一連のプログラムを通して、

- ①なりたい自分になるために働くことやお金のこと、地域産業や地域の成り立ちについて学び、さまざまな体験を通して勤労観、職業観、地域愛の醸成を図る。
- ②課題発見力、課題解決力、チームビルディング、プレゼンテーション力などを育成する。

・関連教科

社会科、総合的な学習の時間：教科横断型で地域についての学習を進めた



【図 教科横断 実践計画】

・目指す育成能力

これから社会で求められる力のうち、下記を重点的に取組む。

- 高い志で他者と協働しながら新しい価値を創造する力、チャレンジ精神、創造性、探究心などの「起業家精神」
- 情報収集・分析力、課題対応能力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力などの「起業家の資質・能力」
- 「働く」ことと自己の将来を結びつけてこれからを考える「主体的に学習に取組む態度」

・実施スケジュール

実施日	テーマ	主な内容	担当
9月20日 (1コマ) 13:35～ 14:20	動機づけ／働くことについて考える	<ul style="list-style-type: none"> 那覇市商工農水課より講話 「みんなが住む素敵なおいこについてもっと良く知ってみよう」 那覇市の様子を知る 良いこと、課題、両面から情報として知る(講話を通して知ったことを、今後の学習を通して調べたり、探究していく) たくさんの産業や職業があることを知る 	那覇市商工農水課
11月7日 (火)	・町探検を通して那覇市の歴史やいま	①国際通りコース、②壺屋コースに分かれてガイドと一緒に町探検を実施。	那覇市街角ガイド

8:40～ 12:15	を知る ・地域を支える産業 や仕事について知 る	ガイドからは、歴史、文化、仕事、いまとこ れからの視点で解説を行うなど、様々な興味 関心の起点から地域を見る・考えるきっかけ になる内容とした。	6名
11月29日 (水) 9:35～ 11:20	那覇市の文化産業 について学び、今後 の探究に繋げる	紅型の染体験の実施 紅型の歴史や、色の組み合わせによる表現ほ か、職人の技術を体験を通して体感する また、授業参観で実施することで、親子参加型 となり、体験後にも継続して文化に触れても らうきっかけにするとともに、学校教育活動 への保護者参画促進を目指す内容とした	琉球びん がた事業 協同組合 10名

※事務局とは令和5年度委託運営している(株)ケイオーパートナーズ、(株)ジョイオブクリエーションを示す。

※尚、実施報告書は事務局が担当している部分のみ記載している。

■事前学習① 動機づけ／働くについて考える

日時：令和5年9月20日(水) 5校時 13:35～14:20
場所：那覇小学校 3学年教室
講師：那覇市役所 経済観光部 商工農水課 産業政策G

＜ねらい＞

これから始まる探究活動を通して、

1. 子ども達のワクワクのスイッチを押し、学習意欲を高める。
2. 働くことの意味や価値を考え、多様な産業や職業があることに触れる。
3. これから社会がどのように変化していくのかを知り、自分たちが当事者としてどのような社会を創造していくべきか、「働くこと」や「必要な仕事」という軸にそって考える。

＜内容＞

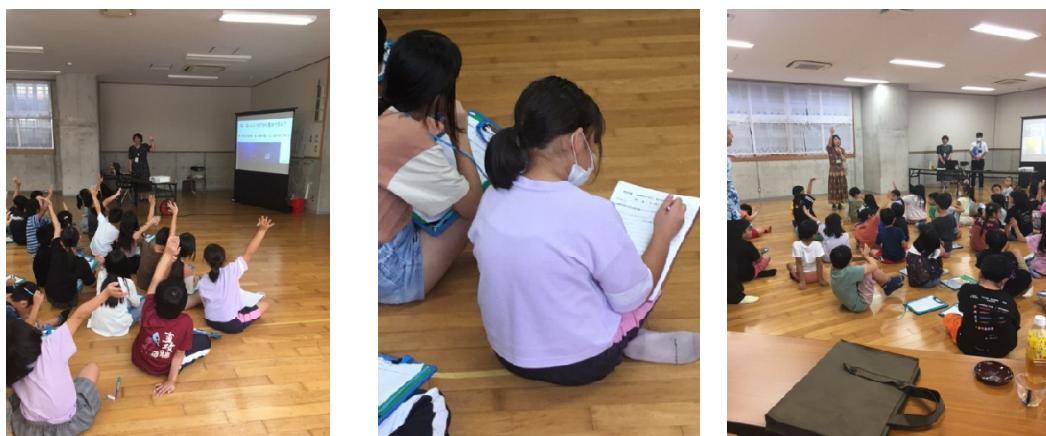
●めあて「みんなの素敵なかたについてもっとよく知ってみよう」

1. 那覇市の産業・経済・仕事についての講話 (25分～30分)
 - ↳那覇市が力を入れている産業や那覇にしかない仕事、技術
 - ↳経済面における那覇市の課題
 - ↳未来の那覇市を担っていく児童に伝えたいこと
2. 質疑応答 (10分)

＜当時の様子と所感＞

- ・今回の学習は、社会科と総合的な学習の時間を横断して取組むプログラムとして「町博士になろう！」をテーマに実践した初回の事前学習である。小学3年生の学習段階や集中力も考慮し、1コマ45分の構成にて実践。
- ・「働くこと」「産業」について身近に捉えるにはまださまざまな体験の機会も少なく、未修学の内容も多いことを考慮し、まずは「知ること」「知るって楽しい」「もっと知りたい」という意欲に繋がるような内容を意識した。自分たちが住む那覇市の成り立ち、力を入れている産業や仕事、昔からあるモノやコト、文化や歴史などを講話内容に取り入れたことで、これから本格的に始まる町探検や文化産業の理解に繋がる学習への意欲を高めることに繋がった。

＜写真資料＞



■産業教育プログラム① 町博士になろう！町探検を通して那覇市の歴史やいまを知る

日時：令和5年11月7日(火) 1～4校時 8:40～12:15

場所：那覇市国際通り、公設市場

講師：那覇市街角ガイド6名

＜ねらい＞

- ・学校区をガイドと共に探索することを通して、地域の歴史、文化、成り立ちについて学び、地域への愛着形成を図る。
- ・地域の伝統文化「壺屋のやちむん」の歴史や魅力を知る。
- ・沖縄独特の文化や地域の繋がり、地域の特産物について知る。
- ・地域で働く人と産業（仕事の種類）について知ることで、地域を支えるヒト・モノ・コトについての理解を深める。

<内容>

- ・探検コースは地域の歴史・文化・産業理解の観点から講師と打ち合わせを重ねて2種類用意
 - ①第一牧志公設市場・国際通りコース
 - ②壺屋・やちむん通りコース

●①第一牧志公設市場・国際通りコース詳細

第一牧志公設市場・国際通りコース	
9:35	<p>(1) 那覇大綱引きの綱のモニュメント (3分)</p> <p>※ギネスブックによって「世界一のわら綱」認定</p> <p>※ハイアットホテルなどホテルが立ち並ぶ様子から、沖縄県や那覇市の観光産業について知る</p> <p>(2) 壺屋うふシーサー (3分)</p> <p>※琉球王国時代から300年以上続く壺屋焼きの巨大シーサー。</p> <p>壺屋の陶工達により作られた。</p> <p>※市場中央通りから公設市場へ向かう際にアーケード街について触れる アーケードの再整備が進められている</p> <p>(3) 公設市場 (15分)</p> <p>※沖縄ならではの食材（魚、貝、豚肉など）や特産物を知る 正月や旧盆などは多くの買い物客が訪れるなど沖縄県の行事に欠かせない市場であることを知る</p> <p>※1階の店舗で購入した食材を2階の食堂で調理し食べることができる「持ち上げ」サービスが観光客に人気。お店の方が工夫していることなど知る</p>
9:45	<p>(4) てんぶす館 那覇市伝統工芸館 (15分)</p> <p>※那覇、沖縄の伝統工芸について知る 後継者不足の課題なども意識</p>
10:05	<p>(5) 国際通りの店舗 (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塩の専門店 塩屋（まーすやー） ・お土産品店
10:20	

●②壺屋・やちむん通りコース詳細

壺屋・やちむん通りコース	
9:35	<p>(1) 那覇大綱引きの綱のモニュメント (3分) ※ギネスブックによって「世界一のわら綱」と認定 ※ハイアットホテルなどホテルが立ち並ぶ様子から、沖縄県や那覇市の観光産業について知る</p> <p>(2) ニシヌメー【北の宮】(3分)：土地の神様土帝君を祭っているが現在では焼き物の神、壺屋の守り神として崇められている</p> <p>(3) 南(フェー)ヌ窯(3分)：壺屋に唯一残った荒焼の登り窯</p> <p>(4) 昔の形のシーサーと石敢當(1分) 戦火の影響が少ない土地のため昔の形で残っている</p>
9:45	<p>(5) 育登園：焼き物工房(5分) 工房の様子や職人さんの焼き物を作る姿を見学</p> <p>(6) 東(アガリ)ヌ窯：国の重要文化財(10分) 壺屋に残った数少ない上焼の登り窯と新垣家の屋敷見学</p>
10:00	<p>(7) 東(アガリ)ヌカー：壺屋の村の共同井戸(5分) →地域の生活や焼き物を作るために重要な井戸。ポンプで水をだしてみる</p>
10:05	<p>(8) 焼き物を販売している店舗やカフェなど(5分)</p>
10:10	<p>(9) 壺屋焼き物博物館(15分)</p>

＜当日の様子と所感＞

- ・那覇小学校区である国際通り、壺屋やちむん通りを選定したことで、見慣れている地域の生活の様子や、仕事をしている人たちの背景や歴史を具体的な内容と共に改めて学ぶ機会となった。
- ・今回講師となつていただいた那覇市街角ガイドの方と探索コースの内容を構築する際、小学3年生の実態を踏まえた内容とすることや、学校での学びと関連づけることを目的に、学校教員と事務局含めた3者での打ち合わせも実施した。普段、大人（観光客）を対象としているプログラム内容を小学3年生版に変更するにあたり、双方アイディアを出し合い、懸念点を事前に洗い出して対策を立てていったことで、学校の学びと連動したプログラム内容となり、今後児童生徒を対象とした実施でも応用できるプログラムが構築できた。
- ・ガイドの方々は要所要所ポイントとした場所で立ち止まり、丁寧に解説を加えてくれた。その際、「なぜここにこのような建物があるのか」「なぜこの地域にこの仕事があるのか」など、「なぜ」と問うことを大切に児童に関わつていただいた。通学路で普段見ているモノやコト、人々の生業に対する価値や意味を改めて知った児童からは、その後質問が止まらなかった。戦後、公設市場の活性を起点として復興していったあゆみや、壺屋やちむん通りを中心に発展していった焼き物文化と今の時代に繋がる継承の取組み、そしてそこで生活を営む人々が受け継いできた今も大切にしているお祭りや祈りの文化にも触れることができた。
- 自分たちが生きているいまに繋がる、過去の歴史や営みを知ることができた児童からは、改めて、地域へのまなざしが変わり、もっと知りたいという意見や考えが出ていた。

＜写真資料＞

●①第一牧志公設市場・国際通りコース



●②壺屋やちむん通りコース



■産業教育プログラム② 那覇市の伝統文化に触れる～親子体験プログラム「紅型染体験」～

日時：令和5年11月29日(水) 2～3校時 9:35～11:20

場所：那覇小学校 体育館

講師：琉球びんがた事業協同組合 10名

参加者：児童 65名、保護者 39名（計 104名）

<ねらい>

- ・那覇市の伝統文化に触れることを通して、歴史や職人の技術力の高さに気づく
- ・文化が守られ、受け継がれた歴史を知ることで、継承していく一員としての気づきや、関心を高めるきっかけにする。
- ・職人との出会いを楽しみ、体験することに喜びをもって参加することで新しいことを知る・触れることへのワクワクを高めてもらう。
- ・保護者参観のプログラムにすることで、保護者の教育活動への参画のきっかけにすると共に、学習が終わってからも児童と共に関心を寄せてもらう

＜内容＞

- ・体験プログラムは紅型のコースター作りを行った。事前に4つの絵柄を準備いただき、アンケートを実施して希望する絵柄を選択してもらい準備を進めた。
- ・保護者参観日を活用し、親子での体験活動とした。1班10名の11班グループを用意してそれに講師が配置につき、丁寧に指導とサポートを行い進行した。

＜当時の様子と所感＞

- ・保護者参観日を活用したことで39名の保護者に参画いただけた。開始前には、事務局から事業説明を行う時間も設けたことで、学校と那覇市が連携して体験機会の創出を行っていることを周知啓もうすることができた。参加した保護者からは、「学校で実施してくれて子どもと参加できる機会は大変嬉しい」と好評であった。また、直接参加できることで、学校の教育活動について知る機会になったことにも肯定的な意見が寄せられた。

- ・今回連携した琉球びんがた事業協同組合は、文化継承の観点から積極的に周知広報の活動や体験の機会を企画されている。今回、組合の活動理念と一致したことで10名もの講師を派遣いただき大規模実施が実現できた。実施当日、体験前に講師から紅型の歴史や、紅型の基本色についての解説なども行っていただいた。沖縄らしい文化と、それを継承してきた職人の技術や知識などについて伝えていただいたあとに実際の体験活動へと移行した。
- ・児童からは「紅型ってこんなに色んな色を、順番に重ねていくって知らなかった」「またやりたい！見てみたい！」など興味関心が高まっている様子だった。実際にやってみると、色がにじんだり、うまく発色しなかったりと、さまざまなつまづきがあった。そのたびに、講師に質問したり、講師から指導いただくなど関わり合いをもって体験活動を進めた。体験といつても、見通しをもって進めていく計画性や、正確さも必要となることを体感したことで、紅型の作品の精度の高さや、色鮮やかさを表現するためにはそこに人の高い技術や知識が必要となることに気づいている様子が、講師との質問のやりとりから伺えた。
- ・那覇市は文化産業の発展や継承にも力を入れているが、首里に新しく開館したsuikara館についても周知を行った。体験や講話を聞いたあとに、児童が自ら探究を進めていくきっかけとなるように、情報を提供すると共に、施設の活用についても呼びかけることができたことで、講師にとっても今後の活動を後押しするきっかけとなる実施となった。

<写真資料>



■古蔵中学校 実施報告

・実施校概要

◆那覇市古蔵中学校	
所 在 地	〒900-0024 沖縄県那覇市古波蔵4丁目8-1 TEL: 098-917-3409 / FAX: 098-917-3429
学 校 長	新地 康秀
担 当 教 諭	上原 貴江
対 象	1学年(6クラス)
人 数	203名
学校教育目標	礼儀正しく心豊かな生徒 自ら進んで学ぶ生徒 心身ともに健康で明朗な生徒

■事前学習① 自分たちの街や企業を知る

日時: 令和5年11月15日(水) 5校時 13:15~14:05

場所: 古蔵中学校 1学年各教室

進行: ケイオーパートナーズコーディネーター

<ねらい>

- ① 生徒のワクワクのスイッチを押し、学習意欲を高める。
- ② 働くことの意味や価値を考え、多様な産業や職業があることに触れる。

<内容>

- ① これから始まる探究学習について
- ② 学習のねらい、スケジュール、課題等
- ③ なぜ人は働くのか? (ワーク)
 - ・日本にある職業の数、職業と仕事の違い
 - ・那覇市長よりミッションを伝えるビデオメッセージ
 - ・どんな那覇市に住みたいですか? (ワーク)
 - ・本事業の振り返り

<当時の様子と所感>

- ・本プログラムの初回の授業として、ねらいやスケジュール感を伝え、生徒が自身の意見を考え、伝えることや、意見を共有することができるようグループワークを中心に進めた。
- ・「働いている人を見たことあるか? どんなことをしていた?」の問い合わせに「コンビニの人」「先生」など身近で働く人の職業があがった。次に日本にある職業の数について質問すると、「300」「1,500」など答えがあがったが、約17,000種類あると伝えると驚く様子が見られた。
- ・人はなぜ働くのかについて考えるワークを行った。まずは一人で考え、その後グループワークで自分の考えを伝えた。グループワークではしっかりと自分の意見を伝えている姿やグループの

意見を聞いて理解を深めている様子だった。生徒は「お金を稼ぐため」「社会の役に立つため」「充実した生活を送るため」と沢山の意見があがった。

・これから 10 年後の那覇市を考えていく生徒に対し、知念市長からビデオメッセージを通じてミッションをいただいた。知念市長からは「皆さんのが社会に出るころは現在の働き方よりも変化してきていること。今ある産業や職業、仕事の何が課題なのか、それをどう解決していくことで、みんなが幸せになるか、そのためにどんな職業や企業、産業、仕事が必要かを具体的に考えてください。その考えをまとめたものをみなさんができる 10 年後の那覇市として那覇市に提案をしてください。古蔵中学校のみなさんが提案する未来の那覇市が、どうなるのかが楽しみです。」と応援メッセージと共にいただいた。生徒は知念市長のビデオメッセージをいただけ、とても驚いている様子であり、これから取組についてワクワクしている姿も見られ、第 1 回目の授業を終えた。

＜写真資料＞

【授業で使用したパワーポイント】

今日の目標
NAHA ミライ City in school の
活動の中で
①これからどんな活動を
していくかを知ろう
②自分達が住む将来の那覇市
について考えてみよう



「職業」と
「仕事」の
違いって
何だろう？ 

【知念市長からのビデオメッセージ】



【授業の様子】



■事前学習② 那覇市について理解を深めよう！」

日時：令和 5 年 12 月 8 日（金） 5 校時 13:15～14:05

場所：古蔵中学校 体育館

講師：那覇市役所 経済観光部 商工農水課 産業政策グループ 比嘉 拓 氏

＜ねらい＞

- (1) 10 年後の那覇市の課題を自分の将来と重ねて考えることで、社会と自分の幸せが繋がっていることを知る働くことの意味や価値を考え、多様な産業や職業があることに触れる。

(2) 那覇市の産業が抱えている課題や現状の理解とともに、地域への愛着と誇りを深め、次の世代の那覇市（沖縄県）を担うという意識を持つ。

＜内容＞

講話「那覇市について理解を深めよう」

- ・那覇市の概要（人口、位置、面積）
- ・那覇市の産業（企業数、就業人数、産業の割合、特産物など）
- ・那覇市の課題（①市民所得、②中心市街地活性化、③伝統工芸品の利用促進と価値の向上）
- ・那覇市の未来について考える

＜当時の様子と所感＞

- ・那覇市のことについて知るため、那覇市商工農水課より講話をしていただいた。「那覇市役所に行ったことがある人？」「どんなイメージ？」など生徒に問いかけながら講師の仕事について伝え、生徒も楽しそうに答える様子が見られた。
- ・那覇市の人囗や面積、産業、企業数など質問やクイズを交えて説明した。クイズの正解が伝えられると「やったー」「え～」などの声とともに拍手が起こるなど、興味関心を持って参加する様子が見られた。
- ・講話を踏まえて「どんな課題があったか」「なぜその課題が起きているのか」「課題解決のためにどうしたらしいか」を個人で考えた後、5人ほどのグループになり、意見を共有した。「伝統工芸品について興味が薄いから、日常で使える物をつくる」「所得が低い地域に観光施設などをあって地域を盛り上げる」「市街地には若い人が好むお店がない。若者にも人気のものをつくる」などさまざまな意見があがっていた。グループで出た意見に「うんうん」と頷くなど他者の意見に興味を持って聞いている様子も見られた。
- ・意見に対し、「テーマパークを作るのはいいけれど自然が減るのは悲しい。ちゃんと市民に知らせ、考えていく必要がある」「市民が所得のことや伝統工芸、産業について興味を持ってみんなで改善できるように考えて行くことが大事」などの意見もあった。那覇市の課題についての理解と、課題解決に向けて当事者意識を持って考えていることが窺えた。
- ・講師の仕事に就いた理由ややりがいについて伝えてもらった。「最初に目指していた仕事ではないが、那覇市に関わる仕事がしたいと思い挑戦した。市民に寄り添い、暮らしを支える仕事にやりがいを感じている。」と生徒に伝えた。

＜写真資料＞

【比嘉氏の講話の様子】



【グループワークの様子】



■事前学習③ 「企業について知る」

日時：令和5年12月22日(金) 3校時 10:30～11:20

場所：古蔵中学校 体育館

講師：株式会社かねひで総合研究所 企画営業部 次長 金城 桃子 氏

金秀ホールディングス株式会社 総務本部 人事部 採用課 次長 須賀 拓人 氏

＜ねらい＞

- ① SDGsとは何か知る。
- ② 企業の活動が社会問題の解決と豊かな暮らしに繋がっていることに気づく。
- ③ 学校の学びが社会と繋がっていることを知る。

＜内容＞

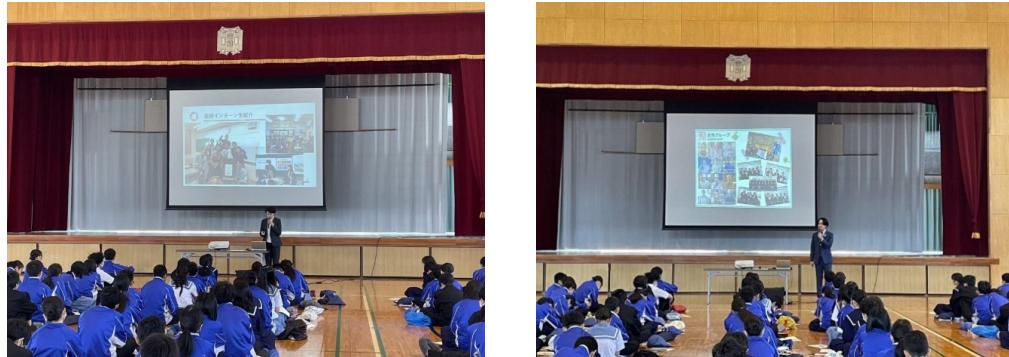
- ① 講話「なぜ、産業や企業があるのか？」
 - ・自社の仕事について（どんな企業？どんな職種？どんな力が必要？）
 - ・企業が社会に果たす役割について
 - ・地域のため社会のため行っている取組
 - ・SDGsに取組む理由

＜当時の様子と所感＞

- ・金秀グループとかねひで総合研究所による、企業の存在意義として広くテーマを持ち講話をしていただいた。
- ・生徒が金秀と聞いてイメージする「スーパー」以外にもその他小売・流通関連事業・観光事業・建設関連事業など幅広く活動していることを伝えた。どの分野も生活に欠かせない産業であり、社会の貢献となることひいてはお客様のためになることが企業活動の一つであることを伝えていただいた。
- ・金秀グループの会長が古蔵中学校の卒業生ということもあり、古蔵中学校近くの金秀スーパーにも足を運ぶことも多くあるということで、生徒は「え～そうなの？！」「いつも行っているスーパーなのに」といった驚きの言葉もあり、金秀グループに親近感が沸いた様子が見受けられた。
- ・金秀グループ SDGsの活動について話を聞いていただいた。SDGsの取組む目的は、社会貢献活動の一環として、沖縄のために、地域のためにできることを取組んでいる。今世界が抱えている課題を提示しながら SDGsの目標をあげ生徒に分かりやすく説明をしていただいた。
- ・生徒からは「金秀グループの SDGs の取組内容を理解して SDGs の内容も知ることができた」「2名の女性の社長登用といった女性が活躍しやすい環境を実践していることが分かった」「未来の子どもたちのために良い環境を今の内から作っていることがすごい」という声があがった。

＜写真資料＞

【須賀氏と金城氏の講話の様子】



■事前学習④ 「お金と幸せの関係」

日時：令和6年1月16日(火) 5校時 13:50～14:40

場所：古蔵中学校 体育館

講師：SMBC コンシューマーファイナンス株式会社 高田 大輝 氏

＜ねらい＞

- ① 学校の学びが社会と繋がっていることを知る
- ② 社会の幸せと自分の幸せが繋がっていることに気づく
- ③ お金と生活について考え、“働く”というイメージを具体的にしていく

＜内容＞

大人になったら叶えたい夢や目標を考えよう

- ・個人ワーク（事前課題）
- ・グループワーク、全体に向けての発表

＜当時の様子と所感＞

- ・“大人になったら叶えたい夢や目標を考えよう”をテーマでワークを行い、将来必要なお金について考えた。
- ・生徒は事前課題として自分が何をしたいのかを考えてきた。「運転免許を取りたい」「1LDKで一人暮らししたい」「アメリカに旅行に行きたい」などそれぞれの想いを考えていた。グループで一人一人の意見を伝え合い、あがった意見から5つやりたいことを絞っていった。絞ったやりたいことに対して、「何歳までに実現したいのか」を考え、その夢や目標を達成するのはどのくらいのお金が必要なのかタブレットを活用して調べていった。20歳から働いたと仮定し、目標達成年齢までに毎年いくら貯金が必要なのか計算した際、生徒からは「こんなにお金がかかるんだ」「貯めてやる！」「計算が難しい」などグループと会話しながらワークシートを進めている様子が見られた。
- ・1クラスにつき代表1グループを選抜し、全体に向けて発表を行った。生徒からは「高級な万年筆を買いたい」「30歳までに世界の絶景を見るツアーに行きたい」等の意見が発表された。

- ・沖縄県新規学卒者初任給（月給）を高校卒～大学卒の平均値を見させていただき、初めて見る初任給の額に生徒から「意外と低い」「お金貯められない」といった声があがっていた。今のうちからお金の知識と貯金するなど準備をしていく必要があることを学ぶ機会となったと考える。
- ・「自分のやりたいこと、欲しいものにはとてもお金がかかると分かった」、「お金があっても幸せになれるとは言い切れないけど、お金があればできることが沢山広がるということが分かった」「やりたいことや欲しいものを買ったりするためには、ローンを組んだりと色々な手段があるのだと分かった」といった意見があがった。

＜写真提供＞

【高田氏の講話の様子】



【グループワークの様子】



■当日 NAHA ミライ City in school

日時：令和6年1月18日(木) 1, 2, 3, 4校時 9:30～12:20
 場所：古蔵中学校 1、2学年 教室
 出展ブース：12事業所・団体

＜ねらい＞

- ①那覇市を代表する産業界・企業の正しい産業理解を促し、多様な職種や仕事があることや、働く想いややりがいに触れることで、勤労観および職業観の醸成を図る。
- ②社会で求められる資質・能力について知ることで、学校の学びが社会とつながっていることが分かる。

③産業や企業は何のために存在するかを学び、未来の那覇市の課題解決につながるヒントを主体的に探す。

＜内容＞

- ・計 12 社の団体・事業所の教室を生徒がグループごとに計 2 回回り、下記のプログラムを体験する
- ② ミニ講話：産業や自社の役割、業務内容、抱える問題、働く想いを伝える。
- ② 体験プログラム：各社業務等の疑似体験を通して、産業や職業、仕事について学ぶ。
- ③ インタビュー：生徒から事業所の方にインタビューを行い、理解を深める。

＜企業出展一覧表＞

○出展企業者：12 社（順不同）なお、企業開拓は 25 社に対して行った。

No.	事業所 名称	産業
1	那覇市ボランティア・市民活動センター (社会福祉法人那覇市社会福祉協議会)	医療・福祉業
2	株式会社よしもとエンタテインメント沖縄	その他（エンタメ）
3	公益社団法人 沖縄県看護協会	医療・福祉業
4	株式会社薬正堂/すこやか薬局グループ	医療・福祉業
5	SMBC コンシューマーファイナンス株式会社 那覇お客様サービスプラザ	金融業
6	金秀ホールディングス株式会社	卸売・小売業
7	株式会社ロワジール・ホテルズ沖縄 (ロワジールホテル&スパタワー那覇)	飲食店・宿泊業
8	アルティウスリンク株式会社	情報通信業
9	拓南グループ	製造業
10	沖縄ヤマト運輸株式会社	運輸業
11	スカイマーク株式会社	運輸業
12	学校法人 KBC 学園	サービス業

＜タイムスケジュール＞

時間	企業様の動き	生徒の動き
9:00～ 9:05	集合時間。校長先生のあいさつ 本日の動き確認	
9:05～ 9:30	準備	生徒各教室に移動
9:30～ 10:50	1回目体験プログラムスタート (90分)	ブースへ移動

10:50～ 11:00	1回目終了。休憩。	
11:00～ 12:20	2回目体験プログラムスタート (90分)	休憩。移動（15分）
12:20～ 12:25	終了。ブースの片付け、解散	
12:25～ 13:10	企業同士の懇親会	

＜当時の様子と所感＞

- ・講話では、主に企業概要やどのような部署があるのか、その仕事で必要となるスキルや資格、働いている方の思いなどを話いただいた。
- ・体験活動では、実際に事業所が行っている業務の一端を体験できるプログラムを実施した。医療・福祉業は、採血体験や防護用具といった施術着を試着できる体験。運輸業は、実際に業務で使っている端末の使用体験や、指定の箱に重さ2キロぴったりチャレンジ。その他では、芸人の漫才を実際にやってみよう。情報通信業では、電話での注文受付やチャットでの相談対応といった普段体験できない業務体験などを行い、生徒はどの体験にもとても興味関心を持ち、積極的に講師に質問しており、体験活動を進めた。
- ・まとめの時間では、質疑応答を行った。「仕事をしていて一番大変なことは？」「何時から何時まで働いているの？」など仕事に関する質問や「芸大に入るにはどうしたらいいの？」「給料はいくらもらっているの？」「体力をつけるために必要な食べ物は？」といった生徒がプログラムを通して疑問に思っていることを率直に質問があがっていた。
- ・多種多様な産業のお仕事の一端を体験することで、身近な職業から普段目にする少ない職業に触れることができたこと、職業の幅が広がっただけではなく、かつていい働く大人を通して自分の未来を想像する魅力的で刺激的な時間になったと考える。
- ・プログラム終了後は「楽しく仕事について勉強できて良かった」「気になっている会社さんだから今日の体験は貴重な時間だった」と活き活き話していた。教員も「学校内で職場体験のような実施ができて安全面でも良かった」という声があがった。
- ・今年度は協力いただいた事業所同士で給食を食べながら懇親会を行い28名の方々が参加した。各々のプログラム内容や生徒の様子、各社の課題など、情報交換を行う場となり、事業所同士横との繋がりを強くする機会となった。

＜写真資料＞

【事業所同士の懇親会】



【体験の様子】

＜那覇市ボランティア・市民活動センター＞



＜（株）よしもとエンタテインメント沖縄＞



＜（公社）沖縄県看護協会＞



＜（株）薬正堂＞



<SMBC コンシューマーファイナンス（株）>



<（株）ロワジール・ホテルズ沖縄>



<拓南グループ>



<スカイマーク株式会社>



<金秀ホールディングス（株）>



<アルティウスリンク（株）>



<沖縄ヤマト運輸株式会社>



<学校法人 KBC 学園>



【琉球新報より】

■ 事後学習（学校で実施）

日時：令和6年2月22日(木) 5校時 13:30～14:20

場所：古巣中学校 体育館

ご見学企業様:公益社団法人 沖縄看護協会／SMBC コンシューマーファイナンス株式会社／沖縄ヤマト運輸株式会社／拓南グループ

〈ねらい〉

- ① 自分たちで考えた提案内容を発表することで、学びの共有を図るだけではなく、伝える力（プレゼン資料の作成や言葉）を育む。
 - ② 自分や周りが幸せになるために自分はこれから何を行動していくかを考え、宣言することで、他力本願ではなく自分自身も意思・役割を持って関わっていくことを決意させる。

〈内容〉

- ・クラス代表発表会: 「私たちが考える 10 年後の那覇市について」友達に向けて発表

＜当時の様子と所感＞

- ・これまでの学びを経て、各クラスの代表グループが、10年後の那覇市について提案発表を行った。

〔今・古〕

- 運動する意図をもつて運動するよりは、運動する意図をもつて運動する方が運動効率が高くなる。

支那の運動場

- ・インターネットから検索した内容や、今まで学習した内容を上手く活用し、提案した内容の対

家者・目的・私たち達が今できることなども提示しながら、息兒を述べていた。

- ・クラス代表に選ばれた生徒たちは、学年と事業所の前でとても緊張している様子が見られた。スライド作成もイラストやスライドショーを上手く使っており、見ている側に惹きつられるよう作成をしていた。
- ・事業所や外部の方にフィードバックを貰った。「想像以上の仕上がりで驚いている。この取組は終了するが、10年後の那覇市をよくするためにそれぞれ考えた意見を今後の学校生活にぜひ取組んでほしい」と感想を述べていた。生徒たちはフィードバックを真剣に耳を寄せている様子であった。

<写真資料>



2. 起業家教育プログラム

会社をつくり経営するという一連のプログラムを通して、起業家精神と起業家の資質・能力を育成し、将来的に那覇市の産業発展やブランディング、地域振興を児童生徒と共に考えていくプログラムになるよう内容構築し実施している。本プログラムで育成を目指す力である、起業家精神は、高い志で他者と協働しながら新しい価値を創造する力、チャレンジ精神、創造性、探究心としている。また、起業家の資質・能力とは、情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力としている。本プログラムの流れは以下の図の通りである。



※プログラム監修：(株)セルフウイング

【実施対象校】

- ①那覇市立曙小学校 6学年 47名
②那覇市立松川小学校 6学年 74名

■曙小学校 実施報告

・実施校概要

◆那覇市立曙小学校	
所 在 地	〒900-0002 那覇市曙 2-18-1 TEL : 098-917-3332／FAX : 098-917-3372
学 校 長	又吉 元晃
担 当 教 諭	比嘉 一貴
対 象	6学年 (2クラス)
人 数	47名
学校教育目標	心豊かで魅力的な曙っ子をめざして ○心豊かな子 ○よく考える子 ○たくましい子 ・凡事徹底：思考力、思いやり、運動能力、きれいな環境

・実施のねらい

- ① 那覇市の未来について深く考え、自分たちの地域社会に対する興味関心を高める
- ② 現在の課題を発見し、課題解決のプロセスを体験することで、自分たちが暮らす曙地域の活性化を考える
- ③ これからの中学生・曙地域のために、自分ができることはなにか、考え、悩み、実践することで地域社会の一員としての自覚を育む
- ④ 学校と地域社会が連携したプログラムを実践することを通して、持続可能な地域探究学習の基盤を築く
- ⑤ 自分の働き方など児童の量的・質的・能動的・創造的な発展に繋げる

・関連教科

総合的な学習の時間

・目指す育成能力

未来のビジョンの創造(キャリアプランニング能力)	小学6年生は、自分たちが理想とする那覇市の未来像を創造し、そのビジョンを明確に描くことが、自分の将来とどのように繋がるのかを学び、体感することで、目標に向かって努力するモチベーションを高める。
現状の把握(情報収集・分析・提案力)	児童は、現在の那覇市や曙地域の課題や問題を調査・分析するスキルを磨き、地域の特性や社会的な側面を理解し、課題の本質を見極める力を養う。
チームワークと協力(コミュニケーション能力)	チームで協力し、異なる意見やアイディアを尊重しながら共同作業する方法を学ぶ。他のメンバーとのコミュニケーションや協力を通じて、共同の目標を達成するスキルを身につける。
課題対応能力・見通す力・実行力	発見した課題に対して創造的な解決策を考案し、実行可能な方法を学び、実践に向けた行動計画を立て、チームで協働しながら目標を達成するまで主体的に粘り強く考え実行する態度を養う。
プレゼンテーション力・伝える力・表現力	一連の学習の最後には、学んだことを発表。自分たちのアイディアや提案を効果的に伝えるスキルを磨きながら、他人に対して自信を持ってプレゼンテーションすることで、伝える、表現することの楽しさや、自分が経験したことに対して承認される経験から自己肯定感を育む。

・実施スケジュール

実施日	テーマ	主な内容	担当
事前学習① 9月 14 日 (木) 5, 6校時	動機づけ／働くことについて考える	○「働く」について考える ・働くって何だろう? ・みんなが大人になるころの社会ってどうなっている? ○那覇市の仕事・産業・経済について学ぶ	事務局 那覇市商工農水課
事前学習② 9月 21 日 (木) 3, 4校時	どんな会社を作るか考える	①どんな会社を作るかを決める ・会社名 ・どんな思い(理念)、目標を持った会社にするか	事務局
	どんな商品にするか考える(企画)	②どんな商品(コト、モノ)を作るか決める ・ターゲットにするお客様は誰か?どんな人? ・お客様が喜んでくれる、求めているものはなに?→タブレットなどを活用して調べる(ニーズ調査) ・商品名を決める ・デザイン画や、必要なものまで考えられると良い。難しい場合、また追加などは4回目までに考えておく	
	講話	曙小学校区まちづくり協議会 ・曙地域の歴史、現状、課題、今後の展望	曙小学校区まちづくり協議会
起業家育成 プログラム① 9月 28 日 (木) 5, 6校時	①会社をつくろう(役割を決める) ②考えた商品のコンセプト設定 ③考えた商品を具体的にイメージする	①会社をつくる(役割を決める) 自分の得意なことを生かして会社内での役割を決める	事務局/ 学校
		②考えた商品のコンセプト設定 自分たちが作る商品ができたら、誰がどんな風に幸せになるのか考える ・曙っこ祭りが、地域がどう盛り上がるのか ・どんな人が購入して、幸せになってくれそうか	
		③考えた商品を具体的にイメージする ・デザイン画、必要なものなどを考える(どんなものが、どのぐらい必要かなど) ・提供するサービス(アクティビティ)のチームは、サービス内容を考える ・周知広報としてチラシ、CM作成などもできる。当日をイメージして必要か否か考える。ポスターなどもOK	
起業家教育プログラム②	①事業計画を立てる ②お金を借りる	①金融機関にお金を借りるための事業計画書を作る ・お店の装飾も考えて事業計画を立てる	外部講師/事務局

10月20日（金） 1～4校時	③仕入れをする	☆いくらで仕入れて、いくらで売ると利益はいくらか考える ②お金を借りる ・融資スペースで待っている金融機関の方々へ、各社事業計画、内容をプレゼン、フィードバックをもらう ・無事に審査を通過して、お金を借りられたグループから、問屋で商材を買うことができる（仕入れ）※要相談 ・購入したグループから時間があれば、製造を開始する	
起業家教育プログラム③ 11月2日（木）～ 11月16日まで	●商品を製造する ●お店を作る	●商品を製造する、お店を作る ※グループ内で商品製造チームと、店舗創造チームに分かれる 「仕入れられた商材で考えた商品を具現化する 「お店の装飾を考える（お客様のニーズをとらえた店づくり・商品づくり）	学校
起業家教育プログラム④ 11月19日（日） 曙っこまつり	●会社を運営する ●商品を売る	曙っこまつりにて販売実践	学校
起業家教育プログラム⑤ 11月28日（火）	●決算報告書を作って 報告しよう	●収支を計算する、利益を明らかにする ●銀行へ返済をする ●実績を報告する	外部講師/事務局
事後学習① 12月17日（日） 学習発表会	○振返り	全体の振り返り ●今回の一連の活動を通して得たこと ●今回の一連の活動を通して得た学びを、次はどのようにどう活かしていくか考える ●発表 ○6学年2クラスがそれぞれの役を演じて、起業家教育プログラムで学んだことを演劇を通して発表	学校

■事前学習① 動機づけ／働くについて考える

日時：令和5年9月14日(木) 5、6校時

場所：曙小学校 6学年教室

講師：那覇市役所 経済観光部 商工農水課 産業政策G

進行：事務局

<ねらい>

これから始まる探究活動を通して、

- ①子ども達のワクワクのスイッチを押し、学習意欲を高める。
- ②働くことの意味や価値を考え、多様な産業や職業があることに触れる。
- ③これから社会がどのように変化していくのかを知り、自分たちが当事者としてどのような社会を創造していくべきか、いきたいかを、「働くこと」や「必要な仕事」という軸にそって考える。

<内容>

○「働く」について考える

- ・働くって何だろう？（ワーク）
- ・みんなが大人になるころの社会ってどうなっている？

○那覇市の仕事・産業・経済について学ぶ

<当時の様子と所感>

・働くを考えるワークでは、1人1字で働くことに関するイメージを書き出してもらった。楽しそうだから「楽」、生きるために必要なことだから「生」、笑顔が大切だから「笑」、お金と関連するから「金」といった内容もあれば、大変そうだから「変」、苦しそうだから「苦」などもあがつた。そこから、考えた漢字とその理由についてグループワークで共有を図り、自分の考えを伝えながら、他者の考えにも触れ、いろいろな考え方、捉え方があることを体感していた。大人でも働くことの理由はさまざままで1つではないことや、理由は人それぞれであることなどを解説しながら、多様な考えがあることを学んでいた。

・働くことについて全体で考えたあとに続いた、那覇市商工農水課からの講話では、那覇市の産業の実態や、那覇市の仕事のこと、力を入れている政策などについて学んだ。自分たちが住んでいる那覇市について、改めて知ることは、地域を知ることにも繋がり、地域理解を促進できた。

<写真資料>



*ワークシート

事前学習1回目
ワークシート2

・働くについて考える
・沖縄の産業や仕事について学ぶ
年　組　番　名前

1 働くってなんだろう？「働く」からイメージする漢字一文字を考えてみよう！

■自分が選んだ漢字　■グループのメンバーが選んだ漢字

2 これからの社会はどうなる？

3 いまの沖縄の現状は？

グループ選んだ漢字一文字！

→

事前学習1回目
ワークシート3

・働くについて考える
・沖縄の産業や仕事について学ぶ
年　組　番　名前

4 那覇市役所の方の話をきいて、気になったことや、大切だと思ったことをメモしよう！！

今日の授業を振り返ろう

①今日の授業を通して、感じたことはなんですか？

②今日の授業を通して、もっと知りたい・調べてみたいと思ったことはなんですか？

■事前学習② 曙地域について知る、会社を作るにあたっての事前準備・動機づけ

日時：令和5年9月21日(木) 3、4校時

場所：曙小学校6学年教室

講師：曙小学校区まちづくり協議会

進行：事務局

<ねらい>

- ①今後本格的に始動する起業家教育プログラムを前に、事前準備としての動機づけと、会社設立に向けてどのような理念で取組むのか、などを考えていく事前準備の時間を取り、子ども達の主体性を引き出す。
- ②曙地域の現状や、実際に街づくりに携わる活動を行っている方の話を聞くことで、自分達がこれから地域を担う当事者として何ができるか、すべきか考えるきっかけにする。

<内容>

□起業家教育始動にあたっての動機づけ、事前準備

①どんな会社を作るかを決める

- ・会社名

- ・どんな思い（理念）、目標を持った会社にするか

②どんな商品（コト、モノ）を作るか決める

- ・ターゲットにするお客様は誰か？どんな人？

- ・お客様が喜んでくれる、求めているものはなに？→タブレットなどを活用してニーズ調査

- ・商品名を決める

- ・デザイン画や、必要なものまで考えられると良い。難しい場合、また追加などは4回目までに考えておく

□職業人講話

曙小学校区まちづくり協議会

- ・曙地域の歴史、現状、課題、今後の展望

<当時の様子と所感>

- ・これから会社をつくり、一人ひとりが役割をもって活動していくにあたり、会社には立ち上げにあたっての理念があることを伝えた。その理念はさまざまであるが、注目すべきは、その会社がどのような課題を解決したいのか、どのような願いをもって活動しているのか、どのようなことを成し遂げたくて活動しているのか、などを調べることが、その会社を知ることに繋がることを伝えた。タブレットなどを通して調べていきながら、自分たちがこれから立ち上げる会社で掲げる目標や理念を、全員が考えるきっかけとなった。

- ・講話では、曙小学校区まちづくり協議会の担当者に来ていただいた。普段から学校活動にもよく参加していることもあり、子ども達とも顔なじみだ。実際に、曙小学校区の街づくりに関わ

る当事者の方の講話は、子ども達の日々の出来事や場面と繋がるため、「身近な事象」として興味深く聞いている様子が見られた。特に、課題に関する話題では、子ども達の生活に密着することも多く、街灯やごみ箱が少ないとか、居場所支援に関する運営費や担当者が不足していることなども取り上げられると、真剣に聞いていた。これから総合的な学習の時間を通して学ぶことを通して、どうしたら地域課題を解決できるか、考えを巡らせていました。

■事前学習③ 起業家教育プログラム1：会社をつくる、役割を決める

日時：令和5年9月28日(木) 5、6校時

場所：曙小学校 理科室

講師：(株)セルフウイング ※本事業における起業家教育プログラム監修

<ねらい>

- ①これまでの事前学習を通して一人ひとりが考えてきた、本プログラムに臨む気持ちや目標をもって、会社を作るための初動の準備を進める。
- ②チームでの活動を基本とした学習形態を通して、自分の考えを伝えること、諦めずに最後まで言葉にすること、他者の考えを最後まで大切に聞くこと、そして、いろいろな考えを踏まえてグループの意見をまとめることに取組む。

<内容>

- ①会社をつくろう（役割を決める）
- ②考えた商品のコンセプト設定
- ③考えた商品を具体的にイメージする

<当時の様子と所感>

- ・昨年度に引き続き、起業家教育プログラムは(株)セルフウイングの監修をいただき、実施運営は連携して行う。講師となる平井氏からの第1回目の授業である本学習では、まず「会社をつくる」ことを進めた。具体的には、会社の理念を決めることと、役割を決めた。理念を決めるときには、自分達がどのような活動をすることが曙地域を豊かにするのかを考えながら進めていった。役割を決める際には、キャリア発達を促すうえで重要な「役割を果たすこと」に重きを置き、自分の得意なことを生かして会社内での役割を決めていった。立候補もあれば、他己推薦もあり、自分の強みや得意なことを改めて自ら伝えたり、他者から伝えてもらうことで、一人ひとりが役割も持つて取組めるきっかけとなった。
- ・会社の理念や役割が決まったあとには、今回の学習テーマである「曙っこ地域を盛り上げる」ということに沿って、商品のコンセプト設定を進めていった。自分たちが作る商品ができたら、誰がどんな風に幸せになるのか、地域がどう盛り上がるのか、などを考えていった。自分を軸として、周りのことを意識して、考えをまとめていく過程では、合意形成が難しいこともあつ

たが、諦めずに最後まで話し合い、考え抜く様子が見られた。そのような過程も会社経営のひとつであることを補足した。

・次にそれぞれの会社で考えた商品を、具体的にイメージしていった。デザイン画を作成したり、製作のために必要なものを考えた。その際、漠然と考えるのではなく、何がどの程度必要になるのか、どのような見た目のデザインかも具体的に考えていった。

■事前学習④ 起業家教育プログラム2：事業計画を立てる、融資を獲得する、仕入れ

日時：令和5年10月20日(金) 1～4校時

場所：曙小学校 理科室

講師：(株)セルフウイング、沖縄振興開発金融公庫、琉球銀行、海邦銀行

＜ねらい＞

一人ひとりの役割を果たしながら、チームで絶えず合意形成を図ることで協調性や主体性を育む。

＜内容と当日の様子・所感＞

・この日の学習は、各社が考えた理念や販売する商品について、具現化していくために事業計画を立て必要な経費の計算を行い、収支の見立てを経て、最終的に得られる利益の計算までを行う活動とした。事業計画立案にあたっては、本プログラムを監修している講師以外にも、沖縄振興開発金融公庫、琉球銀行、海邦銀行からそれぞれ2名の講師に対応いただくプログラムにつき、4コマを総合的な学習の時間にあて集中的に取組んだ。

・講師から、会社経営には事業計画が重要であることが伝えられ、いくら想いと行動力があつても、それを数字と連動して考えることができなければ経営はできないことが伝えられた。販売価格はどのような根拠で決めたのか、得られる利益はいくらで、必要な経費はどのようなものがあるのか、など、具体的に数字にも表しながら考えていった。

・実際に事業計画を立てていくと過程で「根拠」の大切さに気づく児童が多かった。「なんとなく」ではない明確な「理由」を「言葉」と「数字」にして伝えていくとき、たくさんのつまづきがあった。根拠を説明できるように「調べる」過程が多く発生するが、役割分担をしながら調査をし、見つけた情報から自分達の考えをまとめていく工程がいくつもあった。一筋縄ではいかない事業計画の策定に、だんだんと疲れと焦りが見えてくる。そのような雰囲気のとき、発揮されるのが「役割」である。それが与えられた役割でいかにチームに貢献できるか、みんなが疲れてくるときに、いかに希望をもって前に進んでいけるかなど、リーダーシップや協調性、決断力などが試された。

・次に、たくさんの苦労を経て完成した事業計画を金融機関の方々にプレゼンし見事審査を通過

すれば、融資を得られる工程へと進む。根拠を求められればその説明、できなければまたグループ活動に戻り再構築して、またプレゼンする。各社数回の工程を経て、やっと融資を得られたときには喜びと達成感で満ち溢れた。金融機関の方々の質問のなかには、数字の根拠の参照はもちろんのこと、どうしてその価格にしたのか、なぜその商品を売ろうとしているのか、得られた利益はどう使うのか、など、たくさんの本質に迫る質問があった。そのたびに児童達は、今日までの学習を振り返り、自分達の考え方や想いを伝えていった。子ども扱いしない、金融機関の方々の本気の関わり方を通して、児童達の対応力はより一層磨かれた。

<写真資料>



■事前学習⑥ 起業家教育プログラム4：会社を運営する、商品を販売する

日時：令和5年11月19日(日)

場所：曙小学校運動場

曙っこ祭りでの実践販売

<内容と当日の様子・所感>

- ・曙地域行事「曙っこまつり」と連携した実践販売を行った。これまで準備してきたことを実際に検証していく。各社前半・後半に分かれて販売活動を行った。来場者をいかに自分達のブースに呼び込むかという点では集客のスキルが問われた。黙っていては誰にも伝わらない、かといって、過剰な働きかけはお客様に怪訝な顔をされる、など、接客のリアルを体感しながら各社が各社らしい対応を模索している様子が見られた。その過程では、即決即断が求められた。授業とは異なる実践販売にあたり、瞬時の合意形成は難しさも伴うが、これまで以上に対話が見られ、「どうする？」「こうしようか！」など積極的にアイディアを交わしながら実践している様子が印象的であった。
- ・実践販売では接客以外にも、さまざまな予想外のことが起こる。たとえば、予定していたよりも売れ行きの見通しが乏しいときには、各社さまざまな工夫に乗り出していた。とある会社は、歩きながらの販売を行い、お客様一人ひとりにアプローチして販売していた。はたまた、別の会社は“値引き”を行い、完売を目指していた。スムーズにはいかない会社運営を実際に体感して、児童達は多くのことを学んでいる様子が見られた。

<写真資料>





■事後学習① 起業家教育プログラム5：活動を振り返り、決算報告書を作成する

日時：令和5年11月28日(火) 3、4校時

場所：曙小学校 理科室

講師：(株)セルフウイング、沖縄振興開発金融公庫

＜ねらい＞

- ①これまでの会社の活動を決算報告書を通してまとめることで、数字の結果と照らし合わせて、成果、課題について振り返る。数字の結果を踏まえて、数字の読み方、捉え方、考え方を学び会社経営の視点を知る。
- ②一人ひとりがどのように役割を果たしたかを考えることで、それぞれのキャリア発達を促すことに繋げる。
- ③活動を通して得られた気づきや、体験したこと、達成したことなどをまとめ、今後それらを経験に変えていくことを伝え、キャリアプランニング能力の育成に繋げる。

＜内容と当日の様子・所感＞

- ・これまでの学習内容と、曙っこ祭りでの実践販売体験を振り返り、決算報告書にまとめていった。当初計画から実践を経て、どのような変化があったのか、想定よりも良かった点、悪かった点

などを数字の結果と共に見ていった。まとめるなかで、講師からは「良かった点はなぜ良かったのか」「計画と異なる点はなにが原因なのか」と繰り返し問い合わせがあった。問われることで考えが深まり、言語活動を通して伝える力が磨かれている様子が見られた。

- ・また、一人ひとりが持っていた役割ごとの成果・課題もまとめていた。自分なりに頑張ったこと、もう少し頑張れたことなどをまとめて発表するなかで、自分自身で成長を感じ取ること、そして、一人ひとりの働きがあってこそチームでのパフォーマンスが上がることなどの気づきが見られた。社会でも会社でも、それぞれに役割があるように、学校や家庭でも自分の役割があることを改めて考えることで、自分にできることを果たしていくことの大切さに気づき、自己有用感の向上にも繋がるきっかけになったと考える。
- ・決算報告書をまとめたあとには、金融機関から得た融資の返済を行う活動へと移行した。各社の結果が明らかになったあとには、沖縄振興開発金融公庫から講評をいただいた。赤字だから悪い、黒字だからいい、という安易な見方ではなく、「なぜ黒字になったのか、それは当初計画の時点でこのような戦略が立てられていたからではないか」「赤字になったのは、実践当日に行った値引きを大胆に行ったからではないか」など、さまざまな角度から講評いただいた。数字は揺るがない結果ではあるが、その結果の前には人の考え方や動きがある。そこに迫る講評をいただいたことで、児童達にもさまざまな見方・考え方を持つきっかけになったように思う。

■事後学習② 学習発表会

日時：令和5年12月17日(日) 学習発表会
場所：曙小学校 体育館

＜ねらい＞

- ①総合的な学習の時間で取組んできた起業家教育プログラムの内容を、児童達が演劇を通して伝えることを通して、表現力を磨くと共に、学習したことを追体験することで学びや気づきを深める。
- ②保護者や地域の方々へ伝えることで、地域課題解決のために取組んできた児童たちの活動を広く周知することに繋げる。

＜内容と当日の様子・所感＞

- ・演劇のシナリオは、担任の教員が構成した。その際、昨年度実施校であった石嶺小学校の教員とも連絡を取り、演劇内容構築にあたり連携を図った。実施校同士の交流促進がこのような場面で果たされることも、事務局として学びとなつた。
- ・児童は一人ひとりに配役があり、セリフも暗記して堂々と発表していた。配役のなかには、プログラムの監修も担ってくださった(株)セルフウイングの平井氏や、金融機関の方々も登場するなど、ユーモアが溢れ、取組みの詳細がよく分かり、保護者の方々も熱心に見ていた。

- ・学習発表会当日を迎えるまでには、最高学年としてさまざまな行事が並行していたが、クラス担任の強力なリーダーシップと、児童達への対応のお陰で、9月から取組んできた長期プログラムを完結することができた。本プログラムを通して事務局や講師が関わるポイント以外に、教員の働きかけがあることで、児童のモチベーションも維持することができたと考える。子どもの将来に向けた学びの手立てを、学校・事務局・講師が連携して取組めたからこそ、ダイナミックな実践ができた。次年度も、他校で実施する際には、曙小学校の今回の連携体制を参考にして横展開を目指していきたい。

＜写真資料＞



■松川小学校 実施報告

・実施校概要

◆松川小学校	
所 在 地	〒902-0062 沖縄県那覇市松川1丁目7-1 TEL: 098-917-3309 / FAX: 098-917-3309
学 校 長	有銘 盛和
担 当 教 諭	豊里 先生
対 象	6学年(3クラス)
人 数	74名
学校教育目標	「自ら学び みんなとともに伸びる 心豊かでたくましい子」

■事前学習 動機づけ／働くについて考える

日時: 令和5年11月17日(水) 3・4校時 10:35~12:15

場所: 松川小学校 6学年フロア

<ねらい>

- ・子ども達のワクワクのスイッチを押し、学習意欲を高める。
- ・働くことの意味や価値を考え、多様な産業や職業があることに触れる
- ・これから社会がどのように変化していくのかを知り、自分たちが当事者としてどのような社会を創造していくべきかを「働くこと」や「必要な仕事」という軸にそって考える。

<内容>

1. アイスブレイク
2. 「働く」について考える
 - ・“働く”というイメージを漢字一文字で表してみる
 - ・将来大人になった時の社会について考える
3. 那覇市についてもっとよく知つてみる
 - ・那覇市の概要
 - ・那覇市が力を入れている産業や那覇市しかない仕事、技術
 - ・那覇市の経済面における那覇市の課題

<当時の様子と所感>

- ・事前学習①では、働くということについて考える時間を持つことで、今後起業家教育プログラムを進める上での職業観の土台を作ることを目指した。
- ・「働く」について考えるワークを行った。児童から「働く」という言葉からイメージする漢字1文字を考え、なぜその漢字を選んだのか発表した。いろんな人が協力して働くから「協」を選んだ児童や、夢があるから働くの意味で「夢」と選んだ児童などがいた。改めて「働く」についてイメージを膨らますことで、働くということはさまざまな側面があることに気づいた様子だった。今後のプログラムを通して、自身の中でどのようなイメージに変化するか注目するよう伝えた。
- ・これから社会がどうなっていくのか、Society5.0を例にし、動画を視聴しながら学んだ。児

童は、AIが普及されることにより予想させる未来について気づいたことや知ったことを、「AIが普及することで便利になる」など、AIと共に生活が豊かになれると考える児童が多くいた。テクノロジーが発展した未来を考え、自分たちが生きる将来を具体的にイメージするきっかけとなったと考える。

- ・那覇市の基礎知識や特産品、課題などを学んだ。那覇市は第三次産業の労働人口が多いこと、マグロが特産であることなどの基礎知識を説明した。また、那覇市の課題は「全国よりも所得が少ない」「国際通りの活性化」「伝統工芸品の後継者不足」であることを伝えた。児童からは「伝統工芸品の後継者や利用者を改善するにはどうしたら良いか」などの質問があがり、那覇市の課題を理解し、課題解決のためにどう取組んだら良いのか関心を持って聞いている様子が伺えた。
- ・児童は真剣な表情でワークシートにメモをとり、その他、沖縄県がモノ作りに力を入れていること、地理的優位性、伝統文化や自然が豊かななどさまざまなことを学ぶ機会とした。

<写真資料>



■起業家プログラム

日時：令和5年11月21日(火) 1～4校時 8:40～12:10

場所：松川小学校 6学年フロア

講師：セルフティング 平井 由紀子 氏

フィードバック提供者：

・沖縄振興開発金融公庫 安里 秀樹 氏 阿嘉 博文 氏 ／ 保護者3名

＜内容＞

- ① ビジネスアイディアを考える
- ② 市場調査
- ③ アイディアをまとめる
- ④ ポスターーション
- ⑤ フィードバック
- ⑥ お金の使い方

＜当時の様子と所感＞

- ・本事業の監修である株式会社セルフティングの平井氏の進行のもと、沖縄振興開発金融公庫から 2名、保護者 3名、事務局にて授業に取組んだ。
- ・事前学習の振り返りとして那覇市の課題を踏まえ「那覇市の伝統文化を PR する商品を作ろう」というテーマで商品サービスのアイディアを考える授業とした。
- ・各グループを企業として捉え、「社長」「宣伝マネージャー」「仕入れマネージャー」「販売マネージャー」「会計マネージャー」「製造マネージャー」の 6つの役職を設定し、それぞれが役割を認識し、協働する仕組みで構成した。役職を決める際は、自身の希望や各々の個性に合った役職を話し合い決めた。
- ・友達や大人に質問をしてどのような商品・サービスが求められているかの市場調査を元に各社ごとにアイディアを考える企画会議、アイディアをアピールするためのポスター作成など、それぞれの行程を、役割を意識しながら進めていった。
- ・児童は「いくらだったら商品を買いたいなと思うのか」「Tシャツかキーホルダーだったらどちらを買いたいのか」「那覇市といえばどんなイメージがあるのか」といったように真剣に情報収集している様子が見られた。
- ・インターネットから検索したキャッチコピーに使われる言葉や広告の方法をリサーチ、文字を大きく書いて分かりやすいように、イラストなどをカラフルに仕上げて目立つようなどお客様の視点を持ちながら宣伝ポスターを作成していた。
- ・作成したポスターを元に、1社につき 1分の広告時間として発表を行った。普段目にするキャッチコピーではどんな言葉を使われているかを考えることで、商品の良いところをアピールすることを意識し、各社発表をしていた。PRのやり方はグループの個性を活かして歌を歌ったり、定価から割引する宣伝などインパクトがあるように発表していた。
- ・ポスターーションの形式を取り、一番買いたい商品のグループに投票を行った。ポスターをみて良い点だと思った点を付箋紙でコメントを送った。児童はもちろん保護者や沖縄振興開発金融公庫担当の方、事務局も参加し、付箋紙でコメントを残した。
- ・発表後は沖縄振興開発金融公庫の安里氏より、総評をいただき、金融機関の視点からそれぞれの結果に対しての優れた点と改善点をお話いただいた。コピーの秀逸さや商品アイディアの斬新さなど、本物の金融機関からのコメントに児童は真剣に聞いていた様子が見られた。
- ・1日型のプログラムでの試みだったが、児童は講義や大人たちと話しをする時間は、メモをとり意見を聞き集中している様子が見受けられた。金融機関の安里氏や講師の平井氏の視点からもご意見をいただけたことで多角的な視点で振り返りができたのではないかと考えられる。

<写真資料>

【講義の様子】



【ポスター制作の様子】



【ポスターセッション、投票結果の様子】



【安里氏の総評】



【プレゼン用紙】



■事後学習 動機づけ／働くについて考える

日時：令和5年12月18日(月) 3・4校時 10:35～12:15

場所：松川小学校 6学年フロア

<内容>

- これまでの学習の振り返り
- ワーク「ドリームツリー」将来の自分を描く

<当時の様子と所感>

- ・事前学習について「働くって何だろう」「これからの社会」「沖縄県の仕事について」「沖縄県の特色」「那覇市の産業について」「那覇市の課題」などについて、写真を用いながら振り返りを行った。どんな内容だったか質問していくと、児童からは間を置かず元気な声で返答があった。
- ・「起業家教育プログラム」では、役割分担を行ったこと、どのようなアイディアを出して、どのようにまとめたか、その過程のグループ活動について振り返った。楽しかった点、大変だった点など、それぞれの想いを振り返り、この学びを将来に活かすために今日の時間でまとめていくことを伝えた。
- ・これまで学んできたことを踏まえ、将来どんな自分になりたいかまとめる「ドリームツリー」というワークを行った。ドリームツリーでは、なりたい自分のテーマを設定し、「土に今の自分」「幹に今から何をしたらいいか」「実や枝にはなりたい自分になった時にはどんなことをしたいか」「太陽には自分を応援してくれる人」を書いた。
- ・将来を具体的にイメージしている児童とそうでない児童がいたが、コーディネーターからは「今将来を描けていなくても、今回の取組をしたことでぜひ考えるきっかけとしてほしい」ということを伝えた。
- ・また、「今は将来なりたい自分になるために、一歩を踏み出したところ。今度は一つずつ具体的に行動し、描いた将来に向かっていってください」と言葉を送り、事後学習を終えた。

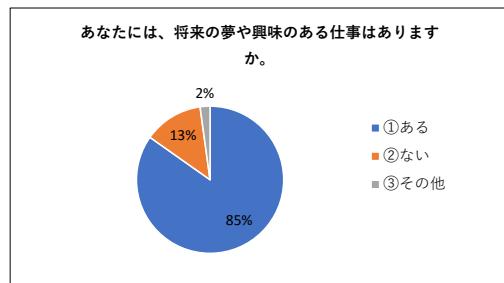
<写真資料>



那覇小「事前アンケート」

(1)あなたには、将来の夢や興味のある仕事はありますか。

項目	回答実数	構成比率
①ある	39	85%
②ない	6	13%
③その他	1	2%
合計	46	100%



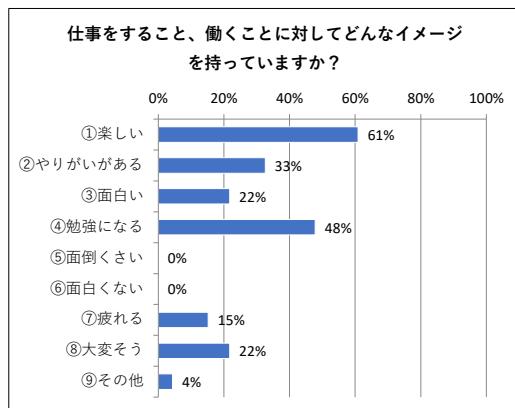
(2) (1)であると答え方へ。そう思ったきっかけへ教えてください。

- ・ 野球が楽しいから
- ・ 料理が作れなかったら子供を育てられないと思うから
- ・ 風邪をひいたときにお医者さんが治してくれたことがきっかけです
- ・ 楽しいことをしたいから
- ・ 建築家になって安全に住める家を作りたいからです
- ・ 作っているのをみて楽しそうと思ったから
- ・ 歌が好きだから
- ・ youtubeを見てyoutuberになりたいと思いました。
- ・ お母さんの病気を治すため
- ・ お母さんがやっている仕事がかこよかったです
- ・ 仕事が好きだからです。
- ・ 人を1人でも多く救いたいから。
- ・ かっこいいと思ったから。
- ・ テレビで見たから
- ・ 将棋がすきだから将棋プロ9段になりたい
- ・ サッカーをしている人達がとても楽しそうにやっていたから
- ・ お父さんに、楽しいと言われたから
- ・ 野球をやってるからスポーツ選手になりたい
- ・ お菓子を作ることが、とっても大好きだから。
- ・ 楽しいからプロ野球になりたい
- ・ 小さい頃から「諦めない」と決めていた夢だから。
- ・ お父さんに手が器用といわれたから。
- ・ 東宝が好きだから
- ・ 見てて凄いなあと思ったから
- ・ イルカショーを見て楽しそうだったから
- ・ サッカーが好きで、2年生の頃に、日本代表になるという夢をたてた
- ・ 野球部に入って、楽しいからプロ野球選手になりたい
- ・ 介護をやると楽しいから
- ・ 自分に合った仕事があったから
- ・ 絵が上手って言われていたから。
- ・ 絵が書きたいから

那覇小「事前アンケート」

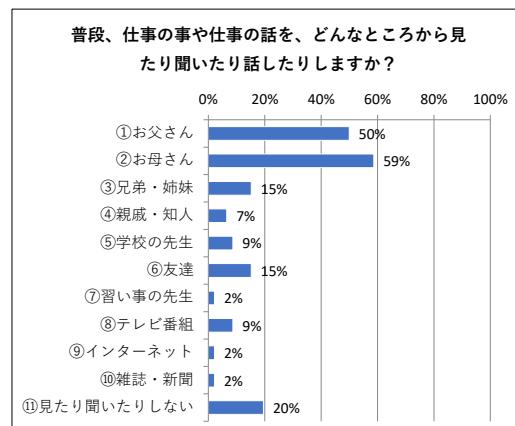
(3)仕事をすること、働くことに対してどんなイメージを持っていますか？(複数回答可)

項目	回答実数	構成比率
①楽しい	28	61%
②やりがいがある	15	33%
③面白い	10	22%
④勉強になる	22	48%
⑤面倒くさい	0	0%
⑥面白くない	0	0%
⑦疲れる	7	15%
⑧大変そう	10	22%
⑨その他	2	4%



(4)普段、仕事の事や仕事の話を、どんなところから見たり聞いたり話したりしますか？(複数回答可)

項目	回答実数	構成比率
①お父さん	23	50%
②お母さん	27	59%
③兄弟・姉妹	7	15%
④親戚・知人	3	7%
⑤学校の先生	4	9%
⑥友達	7	15%
⑦習い事の先生	1	2%
⑧テレビ番組	4	9%
⑨インターネット	1	2%
⑩雑誌・新聞	1	2%
⑪見たり聞いたりしない	9	20%



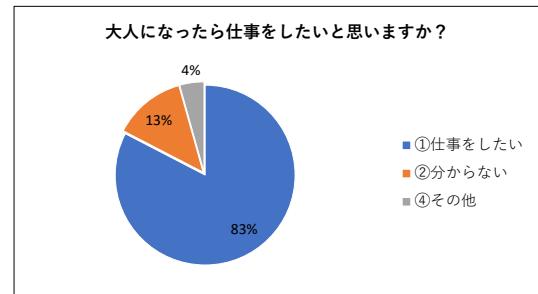
(5) (4)で①～⑩にチェックをした方へ。具体的にどんな話をしたり、どんな内容を見たり聞いたりしていますか？

- ・ どこで仕事をしているか。
- ・ どういうことをするか教えてくれる
- ・ 大変だけど役に立てる為頑張ってる
- ・ 仕事での出来事
- ・ 魚を洗ったり切る
- ・ 家族のこと
- ・ 仕事は大変だと聞いた
- ・ 知らない言葉
- ・ お父さんの仕事について。
- ・ 将来はパーティシエになりたいときいている
- ・ こんな風に楽しんだよとかどんな風に面白いんだよとか。
- ・ 外国の人を車で行ったり来たりでいつも大変そう
- ・ 商品の裏にシールをどこに貼ればいいのか
- ・ 介護福祉は難しいけどやってみたら楽しいよと聞く
- ・ 疲れているという話を聞く
- ・ 歌や、動画
- ・ 色んな仕事している
- ・ 今日なにやったの
- ・ 介護は難しい
- ・ ありがとうと言ってもらえると聞いている
- ・ 大変だけど、楽しいから
- ・ お母さんのスマホでみた。

那覇小「事前アンケート」

(6)大人になったら仕事をしたいと思いますか？

項目	回答実数	構成比率
①仕事をしたい	38	83%
②分からない	6	13%
③仕事をしたくない	0	0%
④その他	2	4%
合計	46	100%



(7) (6)で答えた理由を教えてください。

仕事をしたいと答えた人

- 仕事をしたら、お金などがもらったりするから。
- 仕事をしなかったらお金がなくなつて生きていけないかもしれないから
- 勉強になると思うから
- お金がもらえるし楽しそうだから
- 家族が今働いてきた分は働きたいから。
- 仕事をしないと生きれないから。
- 大変そうだけどやってみたら面白そうだから。
- お金をかせいで、家とか、車とかを買うため。
- 人の役にたちたいから
- 仕事をしたら稼げるしお母さんも喜ぶと思うから
- 人を1人でも多く救いたいから
- 家庭を支えたいから
- プロ野球選手
- 貧乏になるから
- みんなが喜んでくれるから
- 仕事はどんなことかわからないから、仕事をしてみたい
- 仕事をして見に来たひとを笑顔にしたいから
- 仕事をしないとお金も稼げないし餓死をしてしまうから
- 楽しそうだから

分からないと答えた人

- どうやって入るかわからないから
- どんな仕事があるかわからないから
- 仕事が楽しいか分からないから
- 色々あるから

その他と答えた人

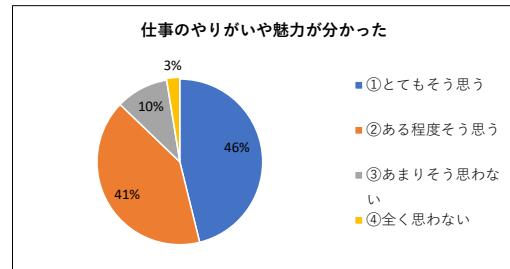
- 縫いぐるみが好きだから
- 先生に教えたい

那覇小「事後アンケート（取組準拠）」

1. 総合的な学習の時間の取組みを通して、下記1~9についてそれぞれどのように思いますか。

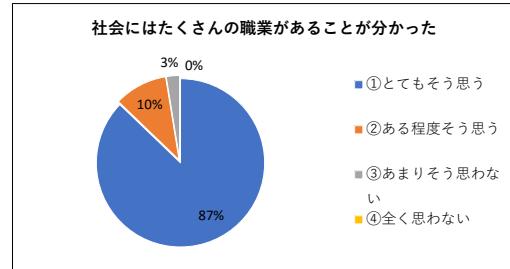
[仕事のやりがいや魅力が分かった]

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	18	46%
②ある程度そう思う	16	41%
③あまりそう思わない	4	10%
④全く思わない	1	3%
合計	39	100%



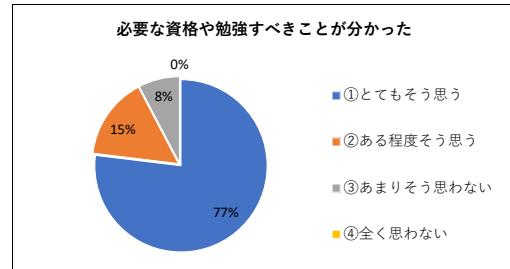
[社会にはたくさんの職業があることが分かった]

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	34	87%
②ある程度そう思う	4	10%
③あまりそう思わない	1	3%
④全く思わない	0	0%
合計	39	100%



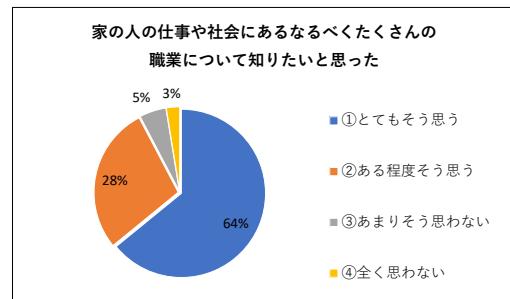
[必要な資格や勉強すべきことが分かった]

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	30	77%
②ある程度そう思う	6	15%
③あまりそう思わない	3	8%
④全く思わない	0	0%
合計	39	100%



[家の人の仕事や社会にあるなるべくたくさんの職業について知りたいと思った]

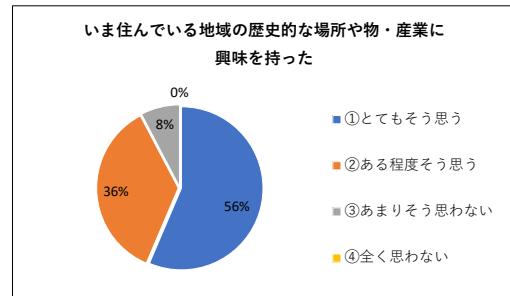
項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	25	64%
②ある程度そう思う	11	28%
③あまりそう思わない	2	5%
④全く思わない	1	3%
合計	39	100%



那覇小「事後アンケート（取組準拠）」

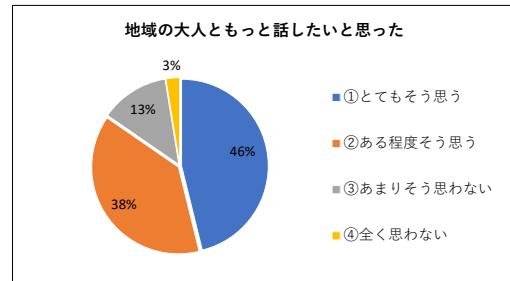
[いま住んでいる地域の歴史的な場所や物・産業に興味を持った]

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	22	56%
②ある程度そう思う	14	36%
③あまりそう思わない	3	8%
④全く思わない	0	0%
合計	39	100%



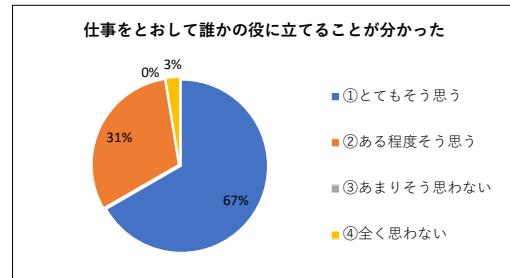
[地域の大人ともっと話したいと思った]

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	18	46%
②ある程度そう思う	15	38%
③あまりそう思わない	5	13%
④全く思わない	1	3%
合計	39	100%



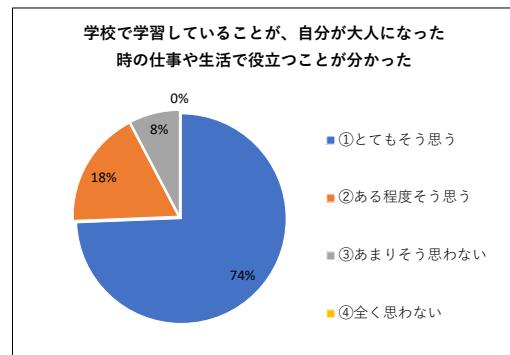
[仕事をとおして誰かの役に立てることが分かった]

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	26	67%
②ある程度そう思う	12	31%
③あまりそう思わない	0	0%
④全く思わない	1	3%
合計	39	100%



[学校で学習していることが、自分が大人になった時の仕事や生活で役立つことが分かった]

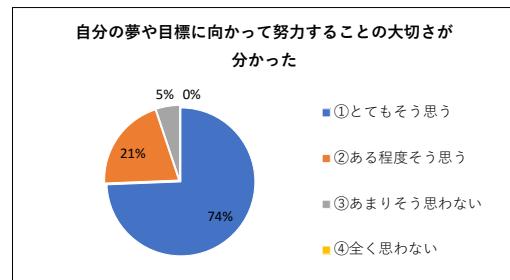
項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	29	74%
②ある程度そう思う	7	18%
③あまりそう思わない	3	8%
④全く思わない	0	0%
合計	39	100%



那覇小「事後アンケート（取組準備）」

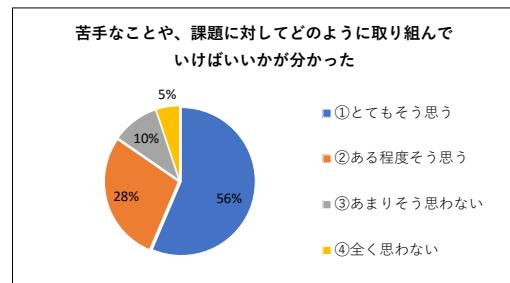
【自分の夢や目標に向かって努力することの大切さが分かった】

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	29	74%
②ある程度そう思う	8	21%
③あまりそう思わない	2	5%
④全く思わない	0	0%
合計	39	100%



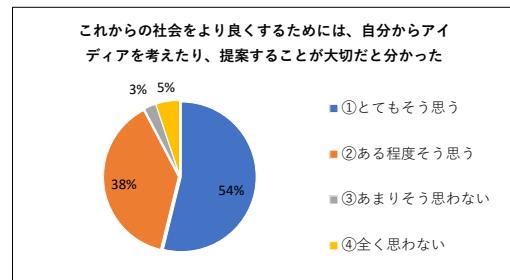
【苦手なことや、課題に対してどのように取り組んでいけばいいかが分かった】

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	22	56%
②ある程度そう思う	11	28%
③あまりそう思わない	4	10%
④全く思わない	2	5%
合計	39	100%



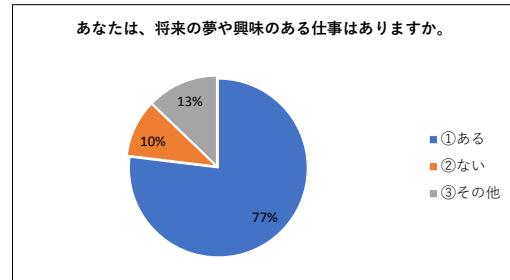
【これからの社会をより良くするために、自分からアイディアを考えたり、提案することが大切だと分かった】

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	21	54%
②ある程度そう思う	15	38%
③あまりそう思わない	1	3%
④全く思わない	2	5%
合計	39	100%



2. あなたは、将来の夢や興味のある仕事はありますか。

項目	回答実数	構成比率
①ある	30	77%
②ない	4	10%
③その他	5	13%
合計	39	100%



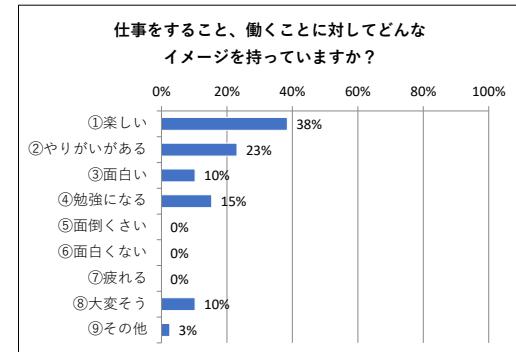
※「その他」と答えた人

- まだ考え中
- ぬいぐるみ屋さん
- プログラマー
- プロレス
- 分からぬ

那覇小「事後アンケート（取組準備）」

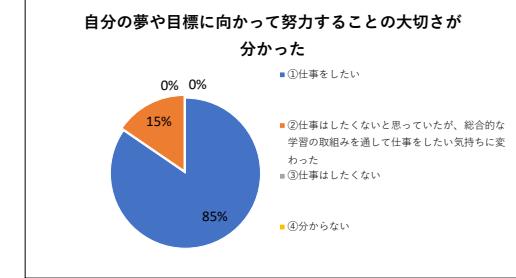
3. 仕事をすること、働くことに対してどんなイメージを持っていますか？（複数回答可）

項目	回答実数	構成比率
①楽しい	15	38%
②やりがいがある	9	23%
③面白い	4	10%
④勉強になる	6	15%
⑤面倒くさい	0	0%
⑥面白くない	0	0%
⑦疲れる	0	0%
⑧大変そう	4	10%
⑨その他	1	3%



4. 大人になったら仕事をしたいと思いますか？

項目	回答実数	構成比率
①仕事をしたい	32	84%
②仕事をしたくないと思っていたが、総合的な学習の取組みを通して仕事をしたい気持ちに変わった	6	15%
③仕事をしたくない	0	0%
④分からぬ	0	0%
合計	38	100%



5. 今回の学習を通して、那覇市の産業や職業、仕事について、もっと知りたいと思うことはありますか？

- 紹介された仕事以外にもどんな仕事があるのか知りたい
- 大人になっても必要であれば知りたい
- 皆のために役立つ仕事はもっとないのかと気になる
- 那覇に将棋のプロはいるのかを知りたい
- 那覇市の人はどんな仕事をしているのか
- 仕事はどのようにでき、どのように働いているのか
- 他の仕事の種類
- 仕事の魅力について知りたいです。

6. 今回の学習を通して、将来の那覇市がこうなっていたら良いな！と思うことはありますか？

- みんなが平等になつたらいいと思う
- 交通事故や危険なことのない那覇市
- 人口が減らない平和な那覇市
- みんなが平和にくらしていること
- 那覇の文化をもっと世界に教える
- ずっと優しい所がいいな
- もっとみんなが快適に過ごせるようにしたい
- みんなが心やさしい人になって那覇を大切にする
- 観光地がもっと増える
- 地域が協力して幸せな場所になってほしい
- 草がたくさんあるといい
- もう少し賑やかになって欲しい
- 今よりもお店を増やして、もっと人気のある街にしていきたいです。
- SDGsの目標達成
- 真面目な社会になって、犯罪を減らしてほしいです。
- プロレスのお店を増やしてほしい

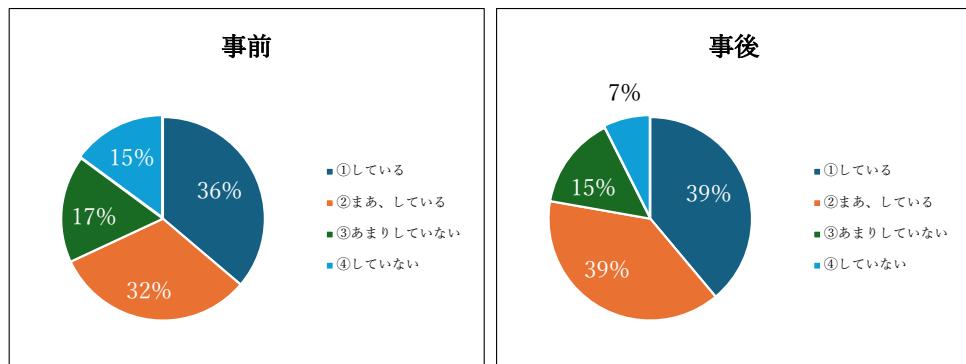
那覇小「事後アンケート（取組準拠）」

7. 今回の学習に参加してこれからの学校生活で頑張りたいことはありますか？

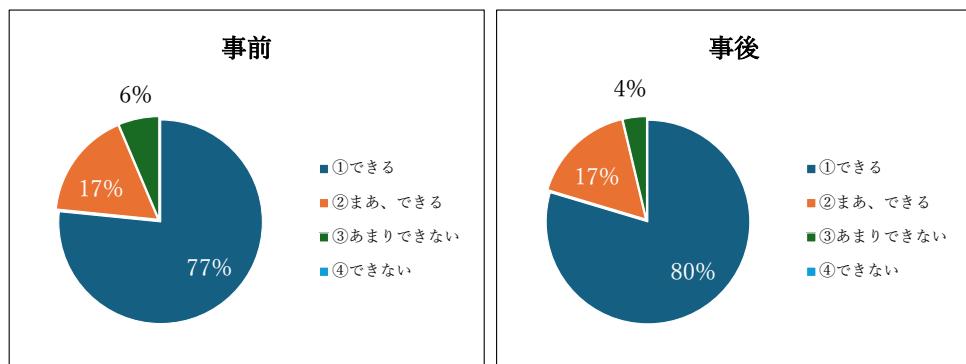
- ・みんなと一緒に協力して頑張りたい
- ・好きなことを頑張ります。
- ・人に伝えるときは分かりやすくしたい。
- ・授業
- ・社会の勉強で、色々なことを学びたいです。
- ・那覇市以外のところも知りたいです
- ・自ら色々なことをしたいです
- ・給食を残さず食べる
- ・給食当番
- ・将来を変えたい。
- ・先生に言われたことを頑張りたい
- ・学校のルールを守っていきたいです。
- ・自分がやっていることについて考える
- ・色々な勉強もしたいし、地域のことも知りたい
- ・野球
- ・勉強や、かかり活動を頑張りたいです。
- ・友達ともっと仲良くなれたり、意見や提案を発表できるようにしたい。

那覇小学校「能力準拠型アンケート」

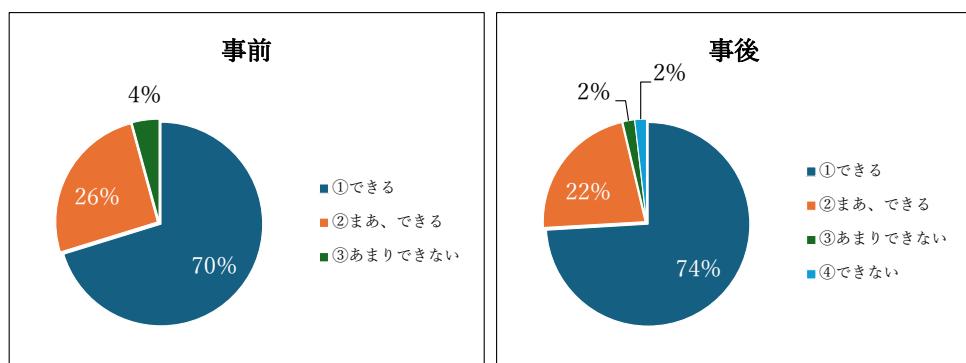
(1)自分の住んでいる地域のことについてよくわかり、地域の活動や人と関わろうとしていますか？



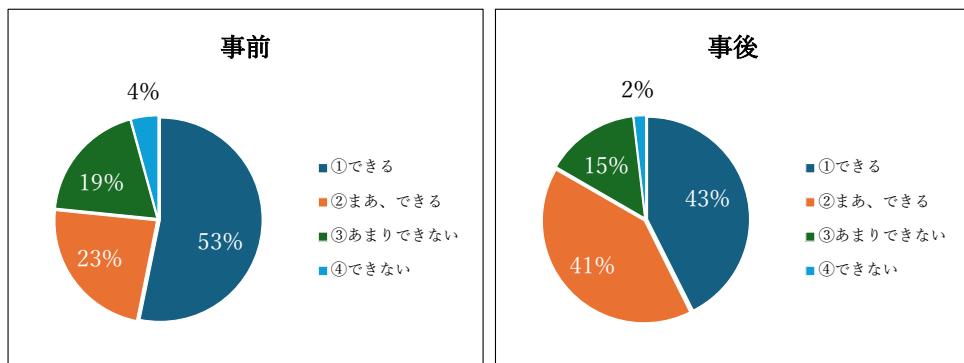
(2)自分から進んで返事やあいさつができますか？



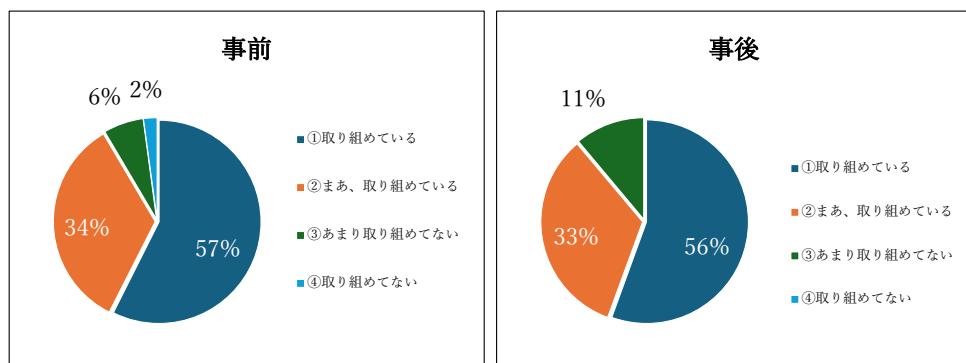
(3)友達（相手）を思いやり、協力し合って学習や活動することができますか？



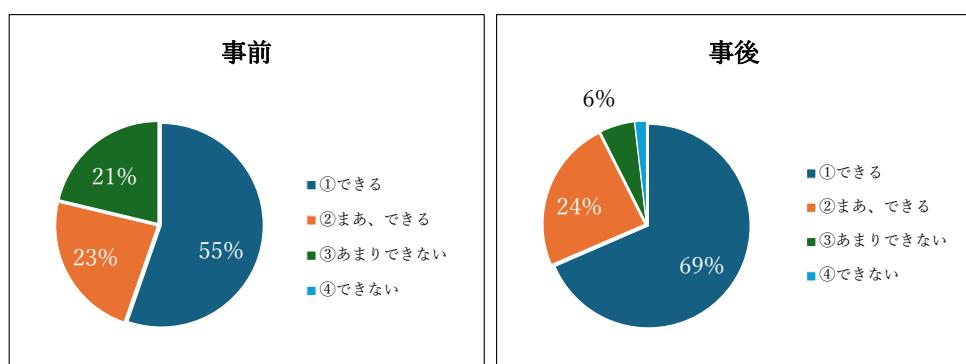
(4)友達（相手）の意見を聞き、自分の考えをわかりやすく伝える事ができますか？



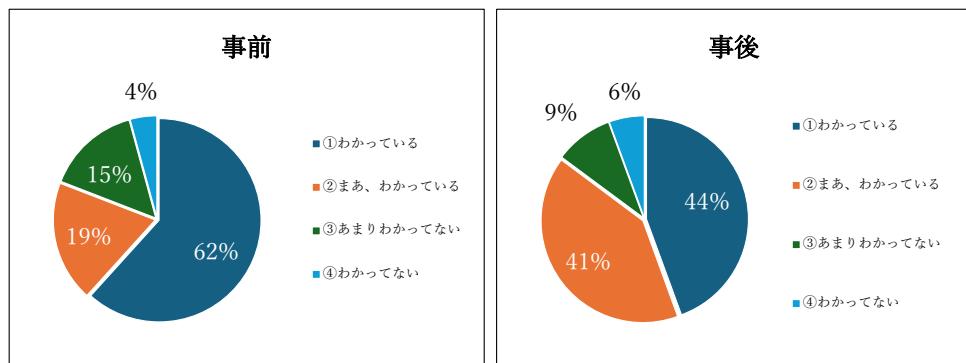
(5)自ら進んで授業に取り組んだり、係り活動や当番活動、委員会活動等の役割に取り組めていますか？



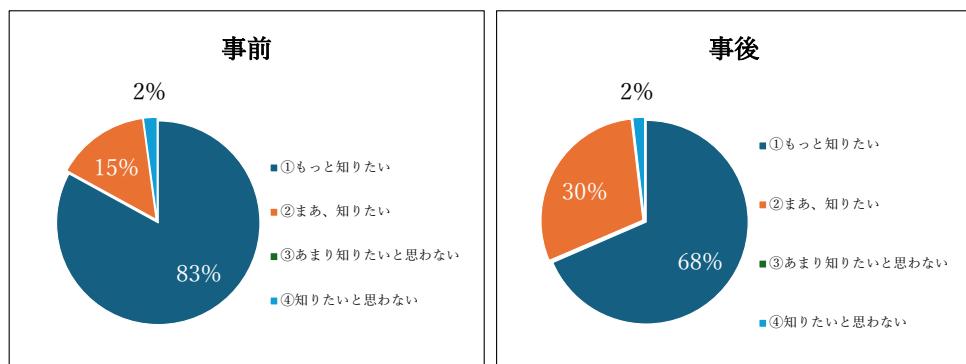
(6)自分で「やる」と決めたことは最後まで続けることができますか？



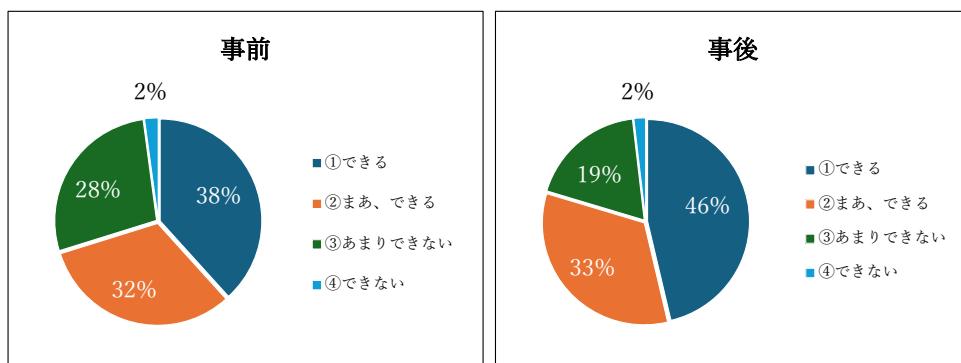
(7) 自分の長所や自分らしさがわかっていますか？



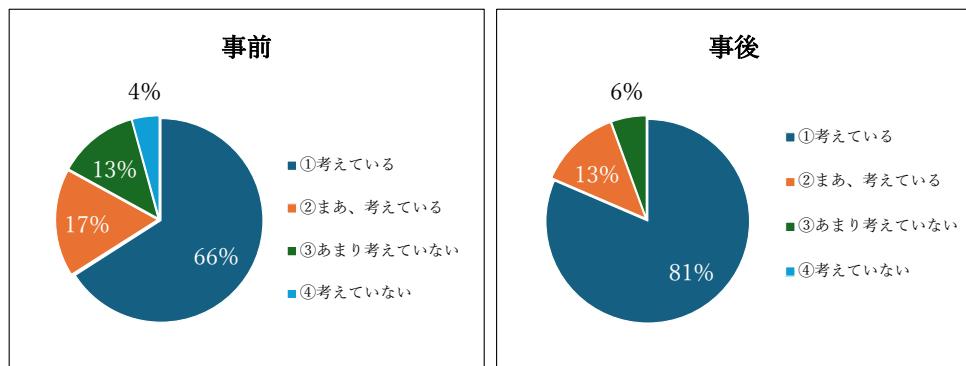
(8) 授業で学んでいることを「もっと知りたい」と思いますか？



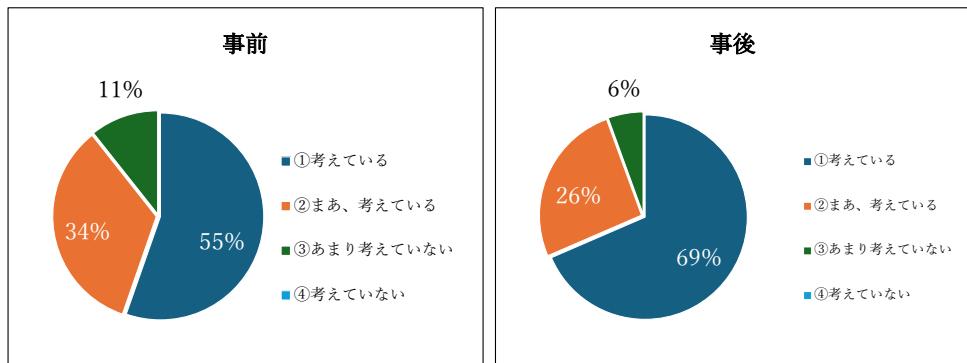
(9) 「もっと知りたい」と思うことを先生に質問したり、調べたりすることができますか？



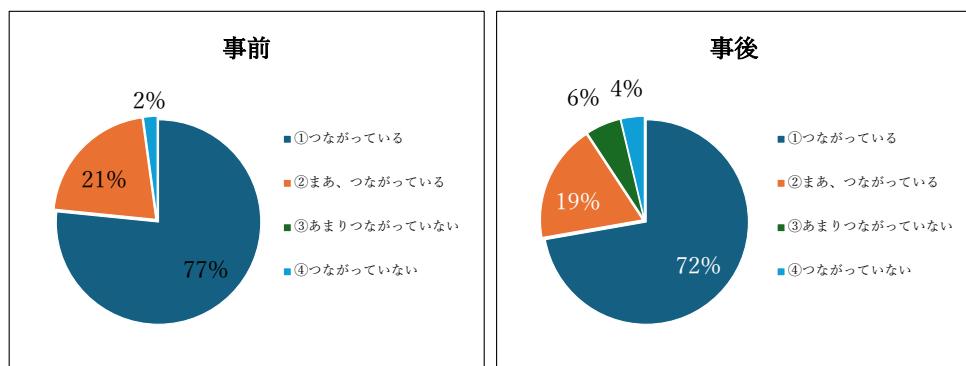
(10) 将来の夢や、なりたい（就きたい）仕事について考えていますか？



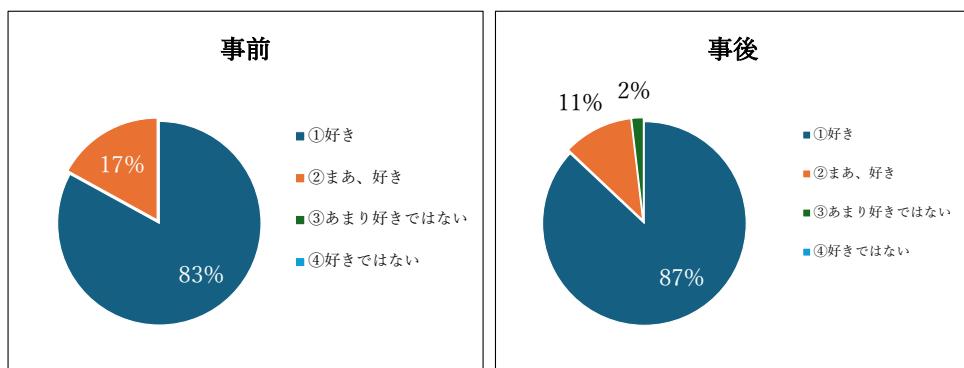
(11) 将来の夢や目標に向けて、今しなければならないことを考えていますか？



(12) 学校での学習や様々な活動は将来仕事をすることにつながっていると思いますか？



(13) 自分が住んでいる那覇市が好きですか？



(14) (13)でそう答えた理由を教えてください。

【事前】

■好きと答えた人

- ・那覇だけにしかないものがあるか
- ・地域の人が優しいから
- ・那覇市は綺麗な街で、有名な建物があるから好き。
- ・自分に充分いいと思う環境だから
- ・安心できるから
- ・色々なお店や貴重なものがあるから
- ・優しい人が多いから
- ・那覇市の地域の人はみんな優しいから
- ・都会で、映画がいっぱい見れるから
- ・那覇市にしかない物や那覇のでんとう文化などさまざまな物があるから
- ・楽しいから

■まあ、好きと答えた人

- ・三角公園やいろんな所で遊べるから
- ・国際通りとか色々あるから
- ・みんなが、優しいから。
- ・公園が近いから。
- ・色々な場所がきれいで、大きな都会だから。
- ・那覇市は広くて遊ぶ場所があるけれど果物や自分の好きな食品があまり売っていないので

■まあまあ、好きです。

- ・店も近いし、国際通りもあるし、何より楽しいから

【事後】

■好きと答えた人

- ・楽しいし面白い場所だから
- ・自分の生まれた土地だから
- ・那覇市は、いろいろなことがあるから
- ・みんな優しくて面白いから
- ・良い人も居るから
- ・那覇市は自分の故郷だし、とても住みやすいところだから。
- ・平和でとてもいい街だから
- ・自分と他の人たちの大切な町だから
- ・色々な料理があって縁が多い
- ・ぬいぐるみがたくさん売っているから
- ・那覇市はやさしい人もいるから、那覇市がいいなと思った
- ・いろいろなものが、那覇市にあるから。
- ・色々な観光地があるから
- ・親切な人がいるから
- ・ユニオンの値段がやすくて住みやすい。
- ・安全で過ごしやすいから。
- ・お店やスーパーが多く、すぐに行けるし、友達の家も近いから。
- ・明るく、住み慣れていて活気に溢れている街だからです。
- ・楽しいことがたくさんあるし、きれいな町だから。
- ・那覇の美味しい食べ物や昔の物があるから好です。
- ・田舎じゃないから

■まあ、好きと答えた人

- ・あまり那覇のことを知らない
- ・那覇市も好きだし、北谷町のホテルが好きだから。
- ・市にはあまり興味がない
- ・嫌いでもないし、好きでもない
- ・店(コンビニエンストアなど)が多いという理由
- ・自分が生まれた場所だから

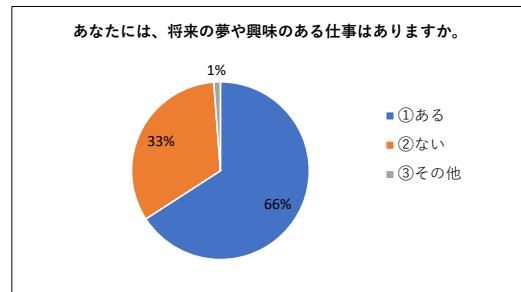
■あまり好きではないと答えた人

- ・あまりスシローが美味しいなくて、美味しいお店があまりないのでそこまで好きではないです。

古蔵中学校「事前アンケート」

(1)あなたには、将来の夢や興味のある仕事はありますか。

項目	回答実数	構成比率
①ある	110	66%
②ない	55	33%
③その他	2	1%
合計	167	100%



(2) (1)であると答え方へ。そう思ったきっかけへ教えてください。

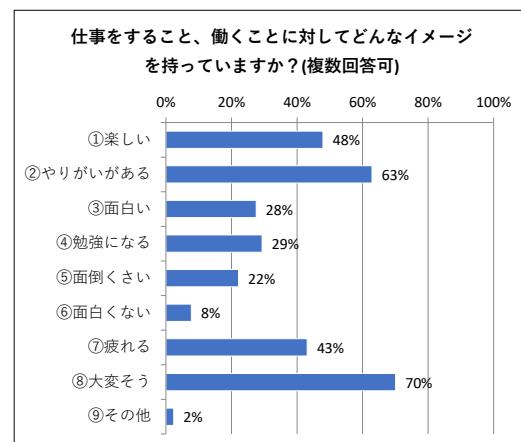
- ・ 身近な人でそういう仕事をしている人がいて自分もやってみたいと思ったから。
- ・ 自分が夢中になれるから好きなことを職業にしたい
- ・ 保育士 子供が可愛いから
- ・ 亡くなったおばあちゃんが持病を持っていて、おばあちゃんと病院に行く時に見る看護師さんに憧れたから
- ・ 将来就きたいから
- ・ わからない
- ・ ゲームが好きだから
- ・ その職業をしている人を見て、すごと思ったから
- ・ 楽しいから
- ・ 面白そうだから
- ・ まだ見つかってない
- ・ お世話になっているから
- ・ ヘアアレンジで喜んでる姿を見たいから
- ・ スポーツに関する職業につきたいから
- ・ 自分が好きなものだから
- ・ 給料が高いから
- ・ 昔洋服屋で見た洋服のデザインがカッコよく、自分もこんな服を作りたいと思った
- ・ サッカーが好きで自分の得意なことで、やっていて楽しいから。
- ・ 辛い時とかに元気をもらえるから
- ・ ネットや映画などで一度見て面白そうだと思った。
- ・ 小学校の先生に憧れたから。
- ・ プロ野球
- ・ ワールドカップ見て自分も試合に出たいと思ったから。
- ・ 母の手伝いやYouTubeなどで見て楽しそうだと思ったから
- ・ 水泳選手。4歳から水泳をやっているから
- ・ お姉ちゃんと料理をすることがあって、楽しいなと思ったから。
- ・ 楽しそうだと思ったし、みんなが笑顔になれる仕事にしたかったから。
- ・ 自分の好きなことでやってみたかったから。

古賀中学校「事前アンケート」

- ・親の仕事やテレビを見て、やってみたいなと興味をもったことがきっかけ。
- ・自分の好きでやっていることに「すごい」と言われたとき。
- ・コミュニケーション力がつくと思うし、ボランティアをした事がきっかけ
- ・昆虫関係のしごとにつきたい。好きだから
- ・将来の夢はプログラマー。ゲームが好きだから。
- ・テレビや本などを見てなりたいと思ったり、興味を持ったりしたから。
- ・ダンスクラブの先生。仕事と趣味を両立して楽しんでいた。
- ・お父さんやお母さんと一緒に職業に就いたら、色々とその事について教えてもらえると思った。
また、お父さんやお母さんに実力で勝ちたい！
- ・動物が好きだし、人を助けたいと思ったから
- ・皆んなのために頑張っている人たちに憧れを持ったから。
- ・絵を描くのが好きだから
- ・介護士をやってみたい。おじいちゃんなどを助けてみたいから。
- ・プログラミングが好きですし、未来でも残りそうな職業だから。
- ・将来の夢はパティシエ 理由は人を笑わせることが好きだからこれにつきたいと思った
- ・親の友達がしていて、楽しそうだと思ったから。
- ・親が「いい職業についてほしい」とよく言うから。
- ・お兄ちゃんからの影響
- ・通訳者の人に憧れたから
- ・夢を見つけるとそれのために向かっていける
- ・公務員

(3)仕事をすること、働くことに対してどんなイメージを持っていますか？(複数回答可)

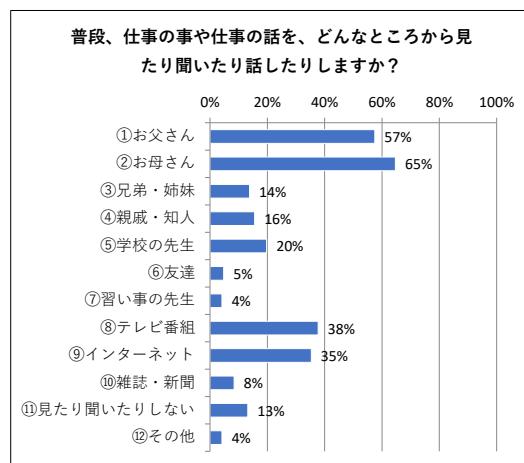
項目	回答実数	構成比率
①楽しい	80	48%
②やりがいがある	105	63%
③面白い	46	28%
④勉強になる	49	29%
⑤面倒くさい	37	22%
⑥面白くない	13	8%
⑦疲れる	72	43%
⑧大変そう	117	70%
⑨その他	4	2%



古賀中学校「事前アンケート」

(4)普段、仕事の事や仕事の話を、どんなところから見たり聞いたり話したりしますか？(複数回答可)

項目	回答実数	構成比率
①お父さん	96	57%
②お母さん	108	65%
③兄弟・姉妹	23	14%
④親戚・知人	26	16%
⑤学校の先生	33	20%
⑥友達	8	5%
⑦習い事の先生	7	4%
⑧テレビ番組	63	38%
⑨インターネット	59	35%
⑩雑誌・新聞	14	8%
⑪見たり聞いたりしない	22	13%
⑫その他	7	4%



その他の回答

- ・漫画の最後辺りにあるオマケ等
- ・おばあちゃん
- ・自分の理想の仕事であるかわからなかったから、調べた
- ・家族やいとこ先生デーのこと

(5) (4)で①～⑩にチェックをした方へ。具体的にどんな話をしたり、どんな内容を見たり聞いたりしていますか？

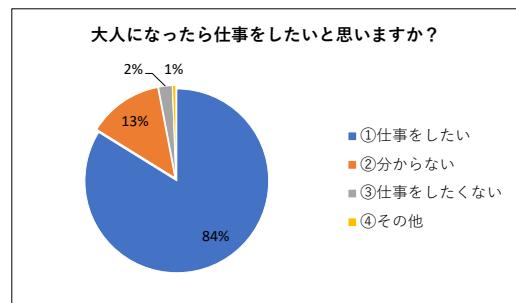
- ・高校から行ける看護学校はどこにあるかなど、看護に関すること
- ・「こういった仕事もあるよ」とか聞いた
- ・お父さんは船に関する仕事をしている。など
- ・親の仕事の大変さや仕事の内容
- ・事務の仕事がどんなものか、港系の仕事がどんなものかを聞いている
- ・どういうふうに料理をするか、魚の切り方
- ・仕事は、学校でちゃんと勉強しなかったらうまく働いていけないと言うこと！
- ・今勉強しないと将来困る
- ・具体的には覚えてないけどマイナスなイメージがある
- ・クレームが多い
- ・お父さんが教員だから生徒の話を聞いている！
- ・小中学校で働く殆どの先生が長時間労働をしていること
- ・仕事内容のいいところと悪いところ
- ・仕事の内容、どこに行ってなんの仕事をしているのか。どんなことをお願いされるのか
- ・忙しいくて疲れる。人と接するのが大変。人間関係が難しい。
- ・「忙しすぎて眠れない」や「大変」
- ・幼稚園ではこんなことをしなければならない、こんなに色んな可愛い子がいて面白いとかやりがいを感じること
- ・税金や物価が高くなるなど
- ・仕事で今日会った人の話を聞いたり、仕事で作っているスライドを見た。

古蔵中学校「事前アンケート」

- 就きたい職業について調べたりしている
- 会社を立ち上げたりする本を読んだり、看護師の仕事をきいたりする事
- インターネットだったら給料とか仕事の内容
- 仕事ですごく疲れていたりしていることを見たり聞いたりすると心配になるし、不安になる
- 子供の頃たくさん勉強してきたから大学も合格して仕事につけたんだよ。
- 職場の雰囲気や関わり
- お金の話や活動内容など色々聞いている。
- その仕事はどういうことをするのかとか、楽しい面や大変そうな面を話している
- 将来どんな職業に付きたいか、そのためにどうするか。
- 髪の毛をきれいにしたり、メイクをする。フリーでも働けるし、事務所の人に施すのもある

(6)大人になったら仕事をしたいと思いますか？

項目	回答実数	構成比率
①仕事をしたい	140	84%
②分からない	22	13%
③仕事をしたくない	4	2%
④その他	1	1%
合計	167	100%



(7) (6)で答えた理由を教えてください。

仕事をしたいと答えた人

- お金を稼げるから
- 親がやっている姿を見てカッコいいと思ったから。
- 友達と遊びたいから
- お金が欲しいし、使ってくれた人が良い気持ちで帰れるようにしたいwinwinな仕事
- めんどくさい。でもお金は必要だし。まだ考えてない。
- 自分が今夢中になれることがあるから
- 楽しそうで勉強になりそうだから
- 小児科の看護師になって病気で苦しんでる子供を1人でも元気にして助けてあげたいから
- 働くがざる者食うべからずの精神に則って社会のために働くことは大切だと思うから
- 仕事をしないと将来困ると思うからです。その為に出来る限り勉強をしていきたいです。
- お金を稼いで親孝行したい！
- 稼げるから、働くこと生きていけないから
- 国民の義務だから
- 仕事をしないと生活も大変になるし自分の好きなこともできなくなるから
- 働く分やりがいが出るし、仕事をしないと暇だし、ニートという社会的地位にいたくないから

古蔵中学校「事前アンケート」

- ・沢山の経験をしたい。お金をもらいたい
- ・ニートになりたくないから、いい家庭を持ちたいから。
- ・頑張ったあの休みの達成感を感じたいから
- ・仕事をすることで色々な人とコミュニケーションを取れるし、色々なことを経験できるから。
- ・かっこいい仕事に就いてみんなに認めてほしいから
- ・お金が無いと生きていけないし、親孝行したり、自分の好きな物とか好きな事に使うため
- ・生活していくうえでお金や知識は大切だから
- ・みんなが自分に頼ってくれる人になりたいから
- ・自分で生きられる力をつけていきたいし、家族に心配や不安をかけたくないのと、自分がやりたいことをするため。
- ・自分がやりたいことをするため、自分が幸せになるため仕事をしてお金をもらうことは大切だと思ったからです。
- ・やりがいがあると思うし、家庭を支えるためにも必要だと思う。
- ・なぜなら、画家になってテレビに出たいからです。

分からないと答えた人

- ・めんどくさい。でもお金は必要だし。まだ考えてない。
- ・働いたことがないから
- ・就きたい仕事がない
- ・まだ今の状態だと、仕事をしても自分にプラスになる事ならない事が分からなさ過ぎるから。
- ・その時に考えるし、今を楽しみたいから今は考えない
- ・親から聞いた話は大変で疲れると聞いたから
- ・友達とめっちゃ遊びたいし、仕事をしてお金も稼ぎたい
- ・仕事をしても大変そうだし、仕事をしなかったら自分が困るから。
- ・仕事には興味があるけど、不安になる。
- ・どんな仕事をするのか分かんないし、年齢の違う人と関わることが増えるし、不安だから。
- ・どの仕事が自分に合うのかがわからない
- ・楽しくないかもしれないおから
- ・大人になって自分が今やりたい仕事を将来やりたがっているかわからないから。

仕事をしたくないと答えた人

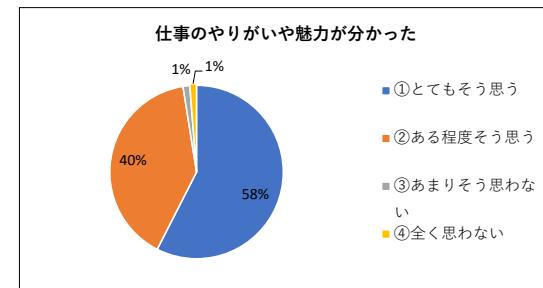
- ・友達と遊びたいから
- ・めんどくさいから、生活保護でどうにかなるから。
- ・税金とか嫌いだから
- ・仕事しないといけないという義務感があるから

古蔵中学校 事後アンケート（取組準拠）

1. NAHAミライCity in school の取組みを通して、下記1~9についてそれぞれどのように思いますか。

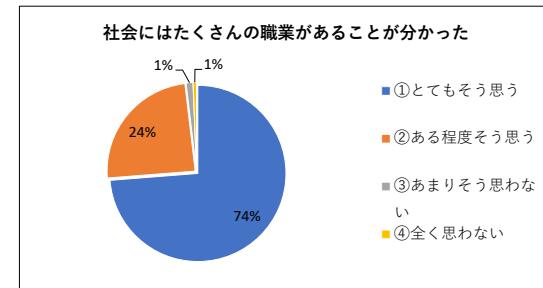
[仕事のやりがいや魅力が分かった]

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	92	58%
②ある程度そう思う	64	40%
③あまりそう思わない	2	1%
④全く思わない	2	1%
合計	160	100%



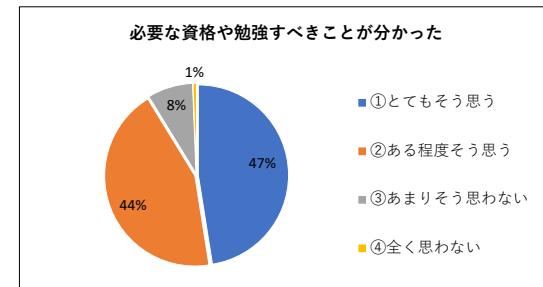
[社会にはたくさんの職業があることが分かった]

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	118	74%
②ある程度そう思う	39	24%
③あまりそう思わない	2	1%
④全く思わない	1	1%
合計	160	100%



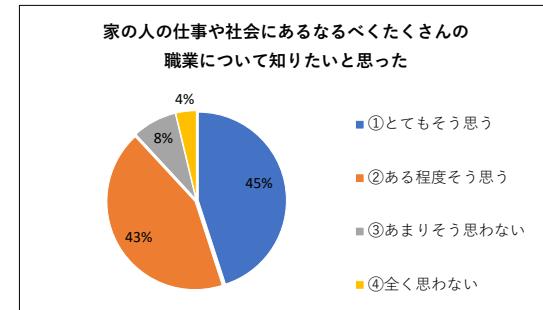
[必要な資格や勉強すべきことが分かった]

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	76	48%
②ある程度そう思う	70	44%
③あまりそう思わない	13	8%
④全く思わない	1	1%
合計	160	100%



[家の人の仕事や社会にあるなるべくたくさんの職業について知りたいと思った]

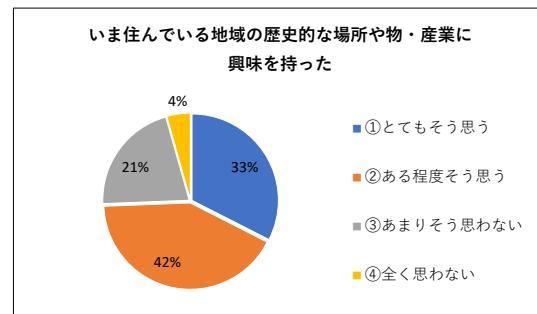
項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	72	45%
②ある程度そう思う	69	43%
③あまりそう思わない	13	8%
④全く思わない	6	4%
合計	160	100%



古蔵中学校 事後アンケート（取組準拠）

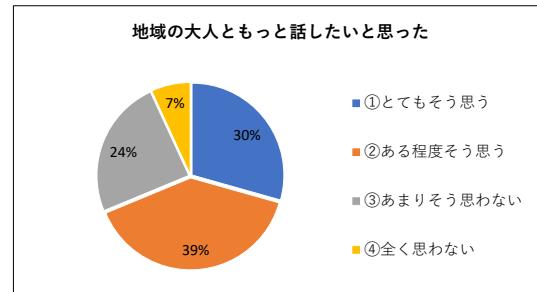
[いま住んでいる地域の歴史的な場所や物・産業に興味を持った]

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	52	33%
②ある程度そう思う	67	42%
③あまりそう思わない	34	21%
④全く思わない	7	4%
合計	160	100%



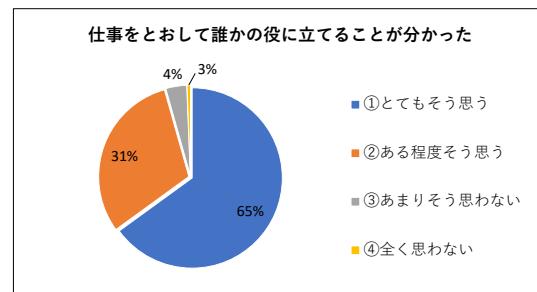
[地域の大人ともっと話したいと思った]

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	47	29%
②ある程度そう思う	63	39%
③あまりそう思わない	39	24%
④全く思わない	11	7%
合計	160	100%



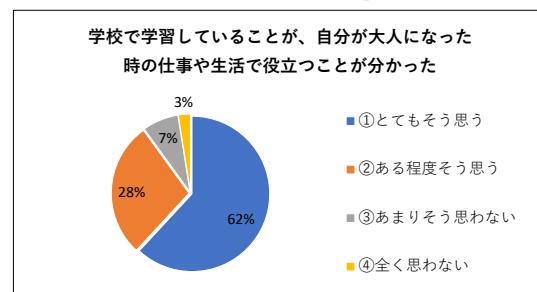
[仕事をとおして誰かの役に立てることが分かった]

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	104	65%
②ある程度そう思う	49	31%
③あまりそう思わない	6	4%
④全く思わない	1	1%
合計	160	100%



[学校で学習していることが、自分が大人になった時の仕事や生活で役立つことが分かった]

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	99	62%
②ある程度そう思う	45	28%
③あまりそう思わない	12	8%
④全く思わない	4	3%
合計	160	100%

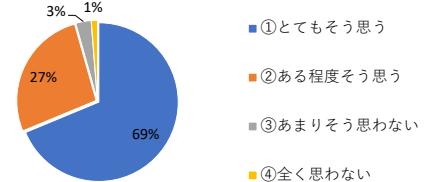


古賀中学校 事後アンケート（取組準拠）

【自分の夢や目標に向かって努力することの大切さが分かった】

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	110	69%
②ある程度そう思う	43	27%
③あまりそう思わない	5	3%
④全く思わない	2	1%
合計	160	100%

自分の夢や目標に向かって努力することの大切さが分かった



【苦手なことや、課題に対してどのように取り組んでいけばいいかが分かった】

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	78	49%
②ある程度そう思う	59	37%
③あまりそう思わない	20	13%
④全く思わない	3	2%
合計	160	100%

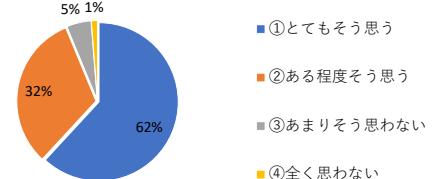
苦手なことや、課題に対してどのように取り組んでいけばいいかが分かった



【これからの社会をより良くするために、自分からアイディアを考えたり、提案することが大切だと分かった】

項目	回答実数	構成比率
①とてもそう思う	99	62%
②ある程度そう思う	51	32%
③あまりそう思わない	8	5%
④全く思わない	2	1%
合計	160	100%

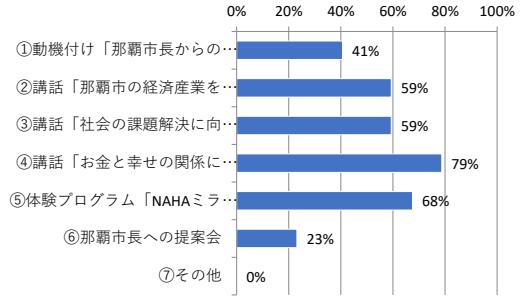
これからの社会をより良くするために、自分からアイディアを考えたり、提案することが大切だと分かった



2. 今回のNAHAミライCity in schoolの中で、勉強になったと思うプログラムを教えてください。（複数回答可）

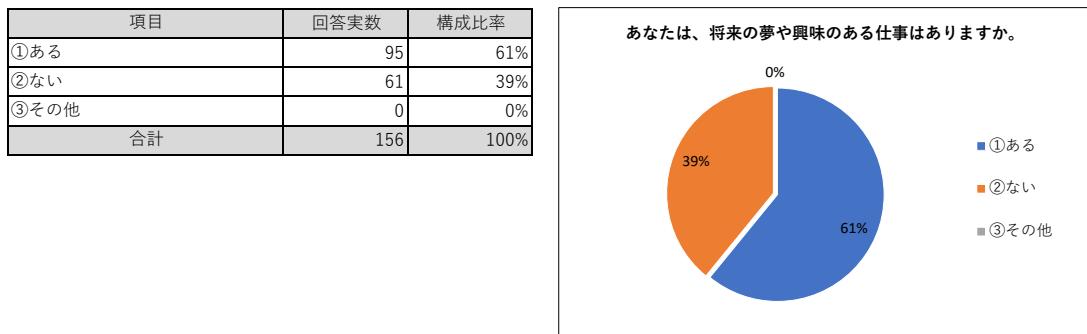
項目	回答実数	構成比率
①動機付け「那覇市長からのビデオメッセージ」「なぜ人は働くのか？」	65	41%
②講話「那覇市の経済産業を知る」「那覇市の課題について」	95	59%
③講話「社会の課題解決に向けて企業が取り組んでいることを知る」	95	59%
④講話「お金と幸せの関係について」	126	79%
⑤体験プログラム「NAHAミライCity in school」	108	68%
⑥那覇市長への提案会	37	23%
⑦その他	0	0%

今回のNAHAミライCity in schoolの中で、勉強になったと思うプログラムを教えてください



古賀中学校 事後アンケート（取組準拠）

3. あなたは、将来の夢や興味のある仕事はありますか。



3-2. (3)で「ある」と答えた方へ、そう思ったきっかけを教えてください。

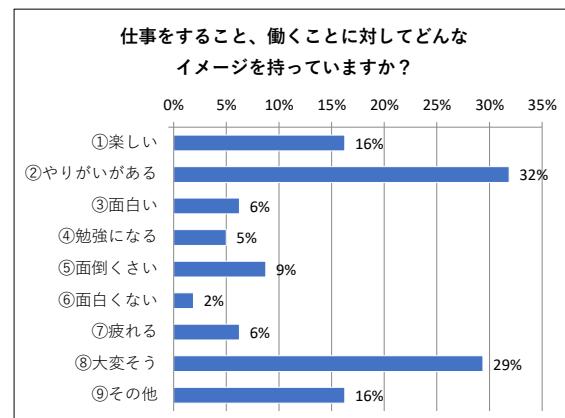
- ・好きなことと向き合うと知ったこと
- ・楽しそう
- ・サッカー選手
- ・面白そだから
- ・有名になって自分が好きなことを広めたいと思ったから
- ・このプロジェクト
- ・他のグループの話を聞いていたらしいなと思ったから
- ・モデルになってみたいと思ったから
- ・子供の頃から好きだから。
- ・かっこいいと思ったから
- ・経験を積みたい。
- ・やりがいもあって楽しそうな仕事だったから
- ・テレビでファッショントレーナーのことを知った。
- ・水泳が好きだから
- ・出会い
- ・お兄ちゃんが働いてて楽しそうと思ったから
- ・自分の特技が引き出せると思ったから
- ・その職業についている人を見て、すごいと思ったから
- ・snsで興味を持った
- ・人の役に立ちたいから
- ・実際に見たときにかっこいいし自分もこの人達みたいになりたいと思ったから。
- ・自分が思った喜びをみんなにも感じてほしかったし、好きなことを仕事にしたいと思ったから。
- ・家族が大学生で職業の話をしていたから。また今回のみんなの職業体験の話を聞いて楽しそうだったから
- ・国のためにになりたいから
- ・もともとやりたい仕事がたくさんあった。
- ・私は歌手になりたいです。自分がつらいときとかも音楽が自分を支えてくれました。
- 次は自分が気持ちが辛いとか悲しんでいる人とかに自分の音楽をその世界中の人に届けて少しでも元気が出くれたらいいな～と思いました！！
- ・小学校の頃優しくて面白い先生に憧れたから、小学校の先生になりたいと思った。

古賀中学校 事後アンケート（取組準備）

- 誕生日の時にケーキを買いに行き、おめでとうなど言われてとても嬉しかった。
- 笑顔で渡されるのがとても嬉しかったから
- モノレールの運転手
- みんなを幸せにしたい
- 画家になりたいです。そして、みんなを助ける人になりたいです。
- 絵を書くことや歌を歌うことが好きでそれを職業にして働きたいなと思ったことがきっかけです。
- 英語が好きで英語が使える仕事に興味を持った
- 憧れたから。自分の頑張りがそのまま結果に出るから
- 人はお金や生活がないと生きていけないから
- 自分が仕事をすることによって那覇市がよくなるかもしれないと思ったから
- 友達が夢を追っているのを見てかっこいいと思ったから
- 子供が好きなので保育士をやりたいと思いました
- 母が趣味としてやっていて楽しそうだと思ったから。
- テレビで活躍している人みたいになりたいと思ったから
- 本が好きで、職業の中でも関わりたいと思ったから

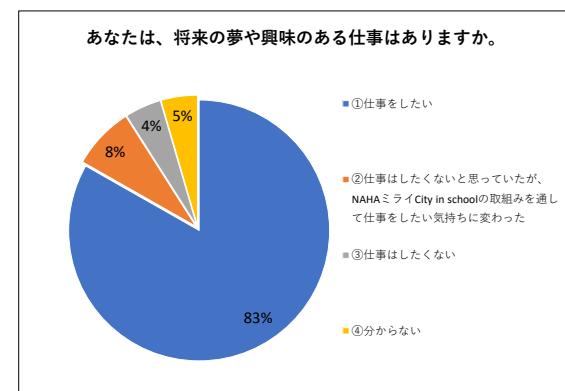
4. 仕事をすること、働くことに対してどんなイメージを持っていますか？（複数回答可）

項目	回答実数	構成比率
①楽しい	26	16%
②やりがいがある	51	32%
③面白い	10	6%
④勉強になる	8	5%
⑤面倒くさい	14	9%
⑥面白くない	3	2%
⑦疲れる	10	6%
⑧大変そう	47	29%
⑨その他	26	16%



5. 大人になったら仕事をしたいと思いますか？

項目	回答実数	構成比率
①仕事をしたい	129	87%
②仕事はしたくないと思っていたが、NAHAミライCity in schoolの取組みを通して仕事をしたい気持ちに変わった	12	8%
③仕事はしたくない	7	5%
④分からない	7	5%
合計	148	100%



古蔵中学校 事後アンケート（取組準拠）

5-2. (5)で答えた内容について、その理由を教えてください。

仕事をしたいと答えた人

- ・ お金を稼いでその金を貯金して大切なときや、使いたいときに使いたい
- ・ 生活するためにお金が必要、色々な経験をしたい
- ・ もとから興味のある仕事があるから
- ・ 社会の一員として県や国に貢献したいから
- ・ お金稼いでたくさん好きなことしたい
- ・ 働いて、素晴らしい家庭を持ちたいから
- ・ 仕事をすることでやりがいを感じたりして楽しそうだから
- ・ どんなふうに社会が動いているのかが気になるから。
- ・ 豊かな生活を送りたいから
- ・ 色々な人間関係が学べる
- ・ 長い間の目標であり、夢だから。
- ・ 色んなことを体験したい
- ・ 誰かの役に立ってみたいと思ったから
- ・ 自分がやりたいのにはお金が必要だから
- ・ お金が手に入るし、仲間たちと仲良くなって、楽しい人生を送りたいから
- ・ お金を稼いで好きなことをするため。仕事上で様々な体験をしたいから
- ・ 新しい経験をすることで成長できると思うから
- ・ お金ないと生活できないから
- ・ 講話で話を聞いて仕事をすることを楽しそうに話していたから
- ・ 大人になったら家賃など払うためにお金が必要だから
- ・ 仕事をしたら自分のできることが増える、仕事をしないと分からないこともあると思ったから
- ・ 親に迷惑かけないため
- ・ 人のために動けるような大人になりたいから
- ・ みんなが過ごしやすい那覇市になるならしっかり働いてみんなの役に立ちたい
- ・ 自分が仕事をすることで家族も安心してくれるし、何より自分の好きなものや好きな暮らしをしていくためにもお金は必要になってくるのでそのためにも仕事をしたいと思った。
- ・ 仕事をしてお金をもらって親孝行や自分のやりたいことを実現したいと思ったからです。
- ・ 家庭を支えるため。
- ・ 達成感を味わいたいから
- ・ お世話になった地域に貢献したい
- ・ 自分の力で生活をしてみたい
- ・ お金が欲しいし那覇市を今よりも良くしたいから
- ・ 親が仕事を頑張っている姿がカッコいいと思ったから
- ・ 自分の仕事で誰かを笑顔にしたいから。
- ・ 那覇市のお金の事情に関するもっと知りたいと思いました。

古賀中学校 事後アンケート（取組準拠）

仕事はしたくないと思っていたが～ と答えた人

- ・ 仕事について詳しく知れたから
- ・ 楽しそうだから
- ・ 那覇市をもっと豊かにできることがたくさんあると思ったから。
- ・ とても楽しそうなのが多かった
- ・ このプロジェクトに取り組む前は、めんどくさいし大変そうだから、あんまり仕事したくないと思っていたけど、自分が住む地域のために働きたいと少し思うことができたし、自然にも配慮したりしていきたいと思った
- ・ 周りの人が大変そうでやりがいとかもよく分からなかったけど今回の職業体験ではやりがいとかも聞けたからしてみたいと感じた
- ・ 仕事のやりがいなど感じたから
- ・ 仕事についてよく学ぶことができ、仕事に興味を持つことができた
- ・ 実態のメリットやデメリットなどを種類は少ないですが、細かく知れたのでしたいと思いました。
- ・ 面倒くさそうだと思っていたがこの体験を通して仕事はやろうと思いました。
- ・ 企業の人が話をしているときに楽しそうに話していたから

仕事はしたくないと答えた人

- ・ 仕事はしたくないけど、生活するためには労働の対価としてお金をもらえる仕事をしないといけないから
- ・ 面倒くさそうだから。

分からないと答えた人

- ・ 仕事のいい面も悪い面もわかったから。
- ・ 仕事したい、したくないがどっちもどっちだから
- ・ どうすればいいかわからないから。
- ・ 疲れるし大変そうでやりたくないけど、仕事をしないと生きていけないから
- ・ 仕事が場所によって変わるから
- ・ まだ社会人じゃないから

6. 今回の学習を通して、那覇市の産業や職業、仕事について、もっと知りたいことや、こうなったら良いのにと思うことはなんですか？

- ・ 経済のことについて深く知りたい
- ・ やりがいがある仕事がいっぱいあって欲しい
- ・ 子ども食堂をもっと増やす
- ・ 色々な企業がどんなSDGsに取り組んでいるのか
- ・ 職業が増えてほしい
- ・ 最低賃金を引き上げ
- ・ 北部の都市化ができない
- ・ 僕が働くときに会社員の給料が上がること
- ・ 小さい頃学ぶ環境が整ってなくて学べなかつた人たちがまた学べるような環境を作ること

古蔵中学校 事後アンケート（取組準拠）

- ・人手不足をなくす
- ・沖縄にもっと電車とかを使えるようにすればいいと思いました。
- ・もっとたくさんの企業が沖縄にできたら良い
- ・沖縄の人口を増やす
- ・那覇市にある珍しい職業を次は調べてみたい。
- ・もっとAIを活用し暮らしやすい社会になって欲しい。内地がどのように発展したのか
- ・貧困がなくなったらいいと思った。電車やテーマパークがたくさん発展していったらいいと思った
- ・大型商業施設がもっと増えたらいいなと思った
- ・総合の時間を使い、那覇市の伝統工芸について学んだり、体験出来る機会があればいいと思った。
- ・そもそも犯罪は、捕まらないから大丈夫という考えから起こり得ることだから、そのためのセキュリティや防犯機能を設備することで、犯罪が減り、人々が少しでも安心して暮らせると自分は思います。
- ・もっと色んな人に、社会にはいろんな仕事があることを知ってほしい
- ・誰でも働ける職業があつたらいいのにと思った
- ・安定した産業が確立されてほしい
- ・自然環境に配慮して、工夫をしたりすること
- ・どんな人でも安心安全に働ける那覇市になったほうがいいと思う
- ・医療関係についてもっと知りたい
- ・どうやつたら会社を作り上げれるのか知りたい。また、誰もが楽しめる場所があったほうが良いと思う
- ・AIに頼りすぎないで、不便なことにも目を向けたらいいと思う
- ・那覇市で行われているボランティア活動に地域の人がもっと積極的になればいい
- ・那覇市の救急救命は具体的にどうなっているのか
- ・ブラック企業をなくす
- ・医療関係の仕事が増えたらいいなと思いました
- ・今回の話を聞いてもっとみんなが働きやすいように労働時間、仕事環境を改善したらいいと思った。
また今の那覇市の現状をもっと知りたいと思った
- ・質の高い教育
- ・これからの中未来でどんな変化を想定しているのか
- ・市民が沖縄の課題点を知り解決しようと活動をする
- ・那覇市や沖縄の線や海をもっと伝えられる仕事が増えた方がいいと思いました。
- ・県外の企業をもっと取り入れるべきだと思った。
- ・那覇市は医療福祉系に関する大学がないと聞いたのでもっと医療関係の仕事をする人に優しいようになってほしい。
- ・差別をなくしたりゴミが道に落ちていない市になったら良いと思う
- ・もっと若い人たちが好印象でやってみたいと思う仕事が増えたらいいなと思います
- ・もっと道を平らにしてほしい
- ・航空会社のこともっと知りたい
- ・沖縄は給料が少ないのでもっと高くなつてほしいと思いました
- ・保育士の仕事をもっと知りたい。
- ・どの会社がどのように役に立っているかをもっと詳しく知りたい
- ・お金への講話を授業にしてほしい
- ・もっと捨てているものを他の方面に生かせないのかを考えるのが必要
- ・本部とかは、車で道路を走っていると木が植えられている所の下の土にお花がたくさん植えられていて可愛いなあと笑顔になるけど、那覇市はお花じゃなくて雑草ばかりだからあまり

古蔵中学校 事後アンケート（取組準拠）

気持ちがよくないのでお花がいっぱいの町にしてほしいです。

- ・学力をもっと上げてほしい
- ・もっと観光業だけではない他の職業も増えればいいと思う
- ・那覇市ではどのような企業同士が協力して仕事をしているのかをもっと知りたいと思いました。
- ・沖縄にアトラクションを作ったら良いのにと思いました。
- ・好きな日に仕事ができる職業があればいいと思います。

7. 最後に、今回の学習に参加してこれからの中学校生活で頑張りたいことや達成したい目標はなんですか？これからの活動宣言をしましょう。

- ・これまでと同様に仕事のような責任ある生徒会活動や当番を頑張ります
- ・人のために動きたい
- ・提出物をすべて出す！
- ・美術を頑張たい
- ・テスト100点
- ・サッカーで県一位
- ・SDGsにできるだけ協力する
- ・実績をたくさん出す
- ・勉強を頑張りたい
- ・将来「AI」と働きたい
- ・達成したい目標は、ライバルよりうまくなること！
- ・那覇市の課題点をもっと知りたい。
- ・プログラミングなどの将来の夢に向けたことを頑張る
- ・夢を叶えるための目標を立てる
- ・ゴミ拾い
- ・お金に関する事をもっと知る。
- ・必ず夢実現ノートを書く！
- ・落ちているゴミを出来るだけ拾ったり、食べ残しも出来るだけ無くすようにしていきたいです。
- ・委員長やリーダーに積極的に立候補する
- ・なりたい仕事に就くためにできるだけレベルの高い高校に行けるようにする
- ・ポイ捨てや要らないものの利用価値を考える
- ・資格入手や将来に役立つことをしていきたい
- ・もっと学校を引っ張っていけるようになりたい
- ・苦手なことを最後までやり遂げたい
- ・みんなで協力して楽しい学校生活にする。
- ・那覇市が良い街になるようにまずは、自分のことをしっかりしたい。
- ・今よりもみんなが辛いと思わずに学校に来れるような環境を自分ができる範囲で取り組んでいきたい！
- ・苦手なことを攻略する。
- ・私は最近乱れているところが多いので乱れている所を意識し直していきたいです。
- ・ボランティア活動
- ・執行部で資料をデジタル化したりしたいです
- ・これからは私でもできる家族の仕事を手伝って仕事の大変さややりがいを知って

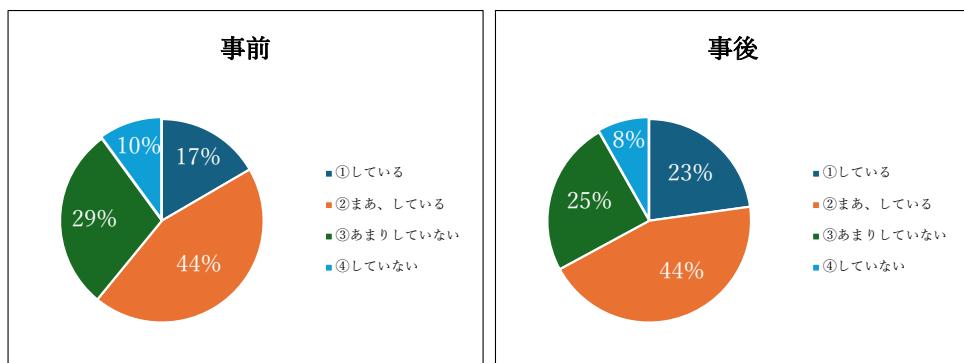
古蔵中学校 事後アンケート（取組準拠）

もっと親に感謝ができるようになりたい

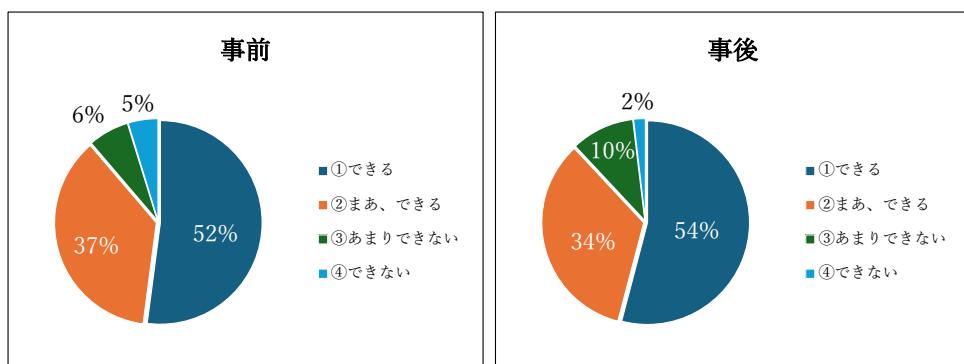
- ・ 英検を3級取ったり将来に役立つようなことを頑張りたい。
- ・ もっと那覇市について知ろうと思うことができました
- ・ 夢が叶えられるように言葉や考え方等をよくできるようにしたい。
- ・ どの会社の人もすごいと思ったから自分も頑張りたい
- ・ これから勉強をもっと努力し、沖縄の魅力を広めていきたいです
- ・ これからは、苦手な教科もしっかり勉強して将来困らないよう積極的に行動していきたいです。
- ・ 私は小説作家になりたいと思っているので、日々の授業・勉強を頑張っていきたい
- ・ バドミントンでの大会で勝利したい

古蔵中学校「能力準拠型アンケート」

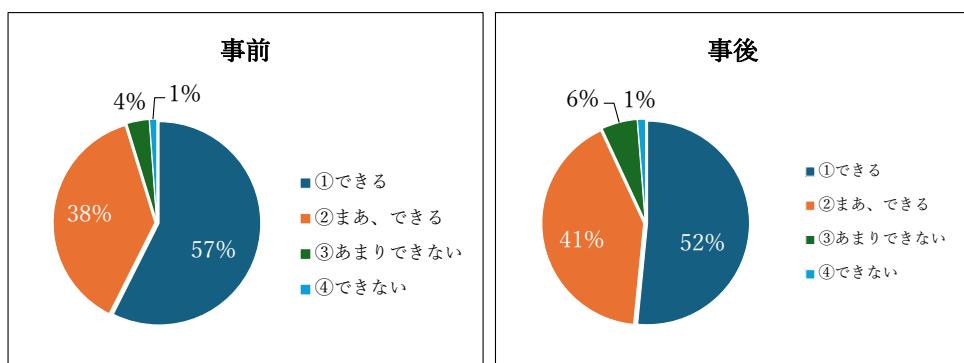
(1)自分の住んでいる地域のことについてよくわかり、地域の活動や人と関わろうとしていますか？



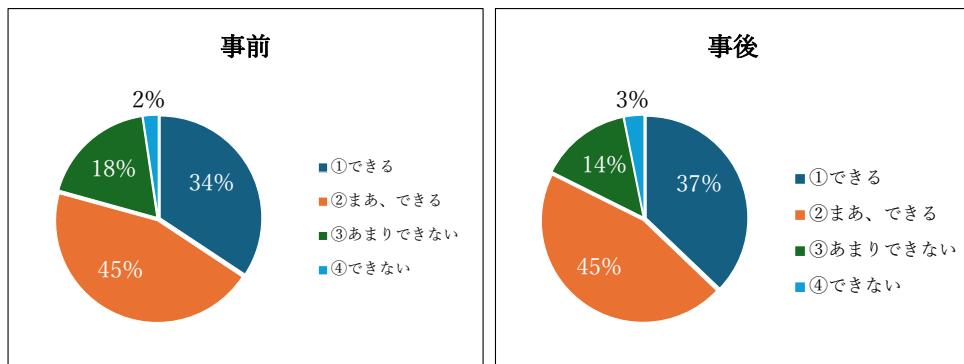
(2)自分から進んで返事やあいさつができますか？



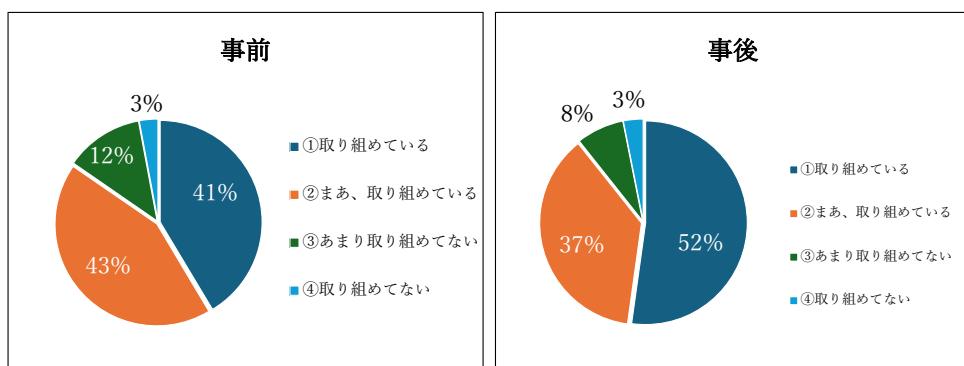
(3)友達（相手）を思いやり、協力し合って学習や活動することができますか？



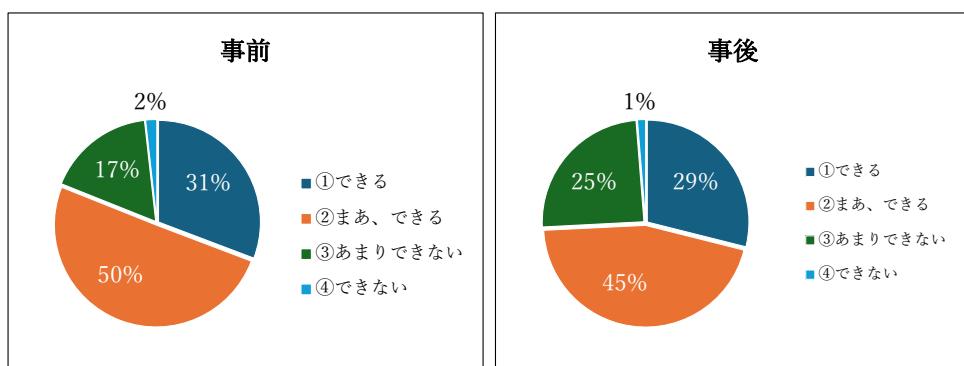
(4)友達（相手）の意見を聞き、自分の考えをわかりやすく伝える事ができますか？



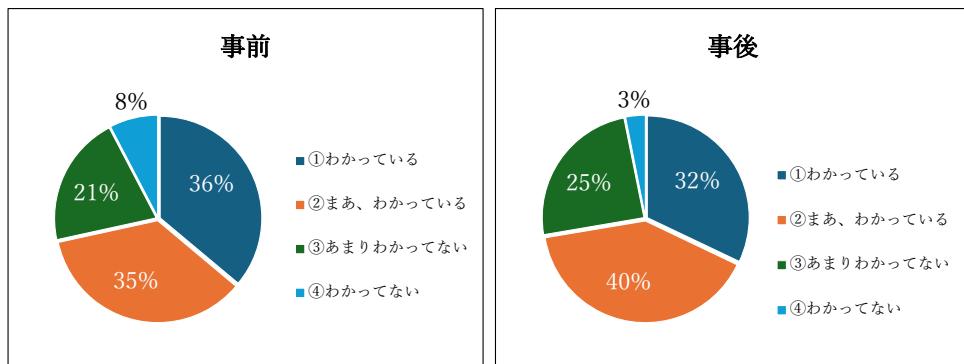
(5)自ら進んで授業に取り組んだり、係り活動や当番活動、委員会活動等の役割に取り組めていますか？



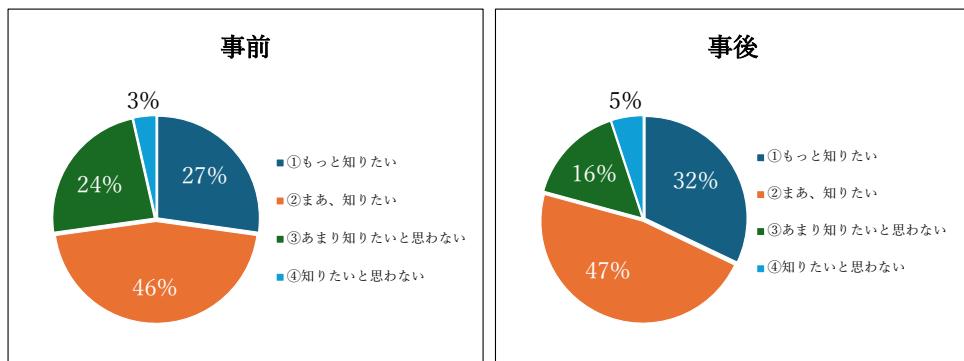
(6)自分で「やる」と決めたことは最後まで続けることができますか？



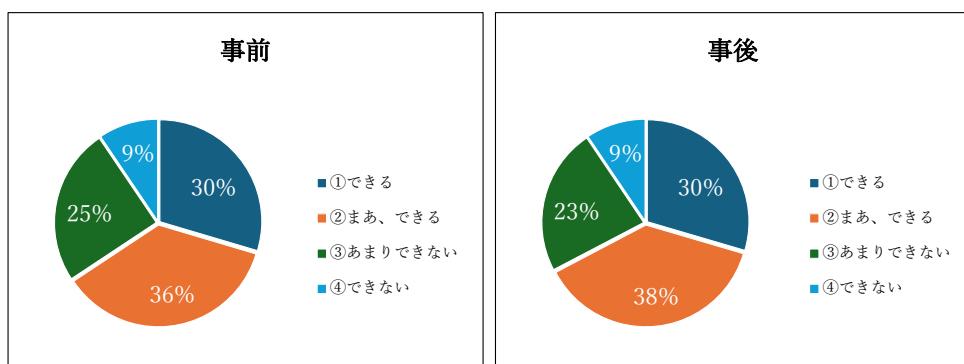
(7) 自分の長所や自分らしさがわかっていますか？



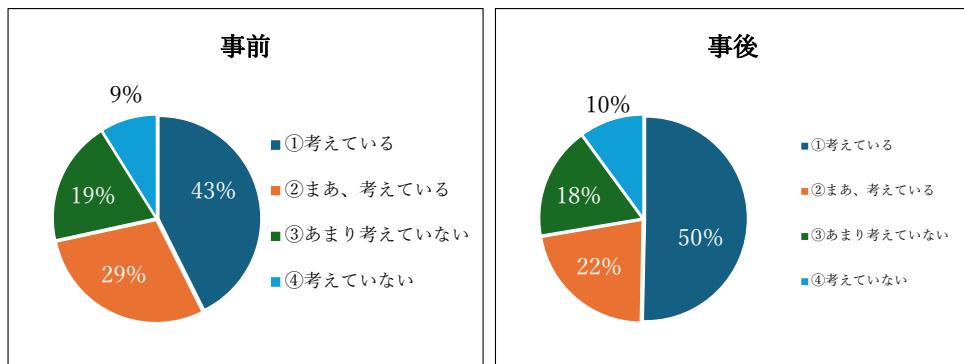
(8) 授業で学んでいることを「もっと知りたい」と思いますか？



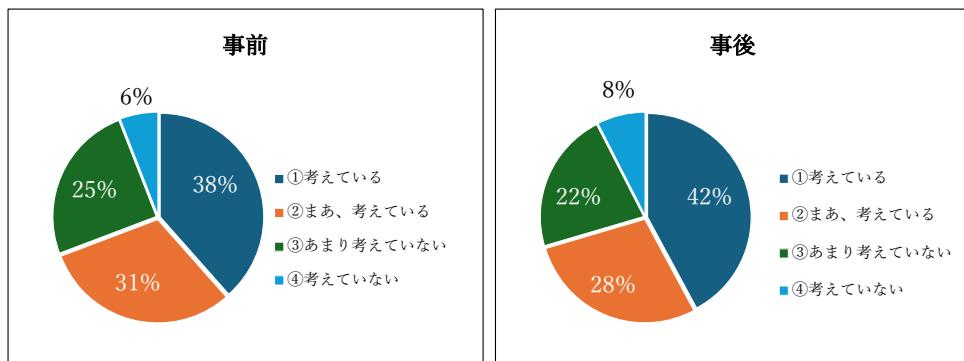
(9) 「もっと知りたい」と思うことを先生に質問したり、調べたりすることができますか？



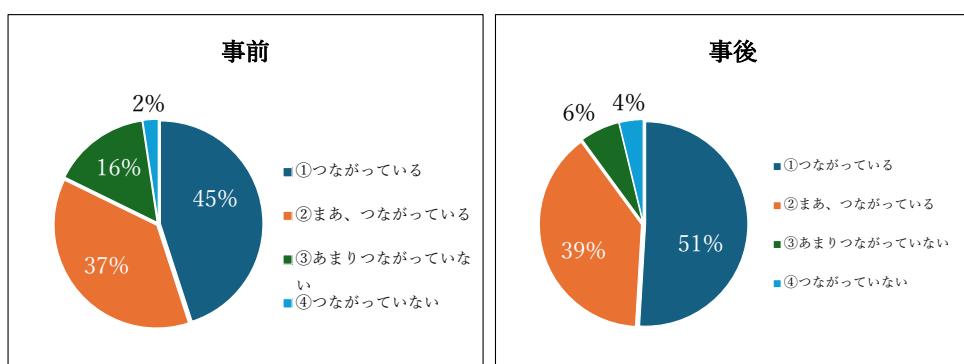
(10) 将来の夢や、なりたい（就きたい）仕事について考えていますか？



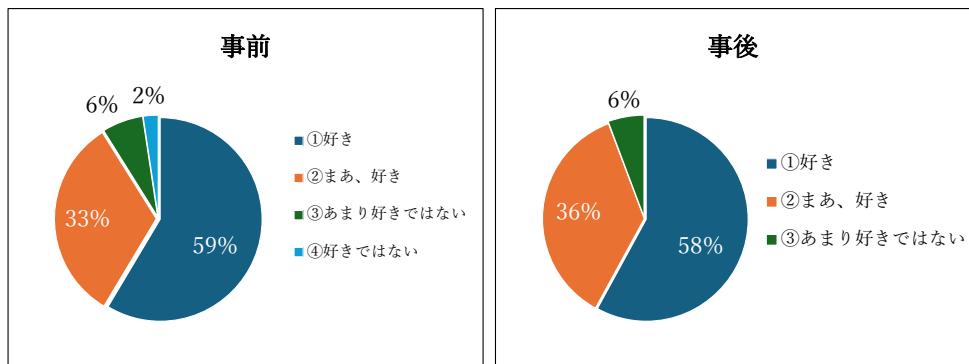
(11) 将来の夢や目標に向けて、今しなければならないことを考えていますか？



(12) 学校での学習や様々な活動は将来仕事をすることにつながっていると思いますか？



(13) 自分が住んでいる那覇市が好きですか？

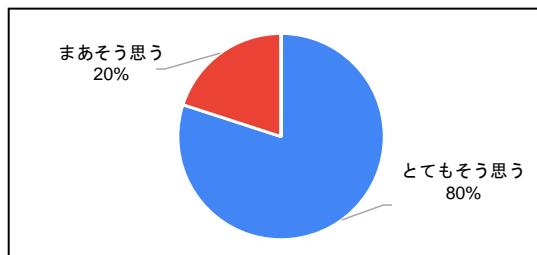


産業体験プログラム「NAHA ミライ City in school」教員向けアンケート／古賀中学校

回答人数:5名

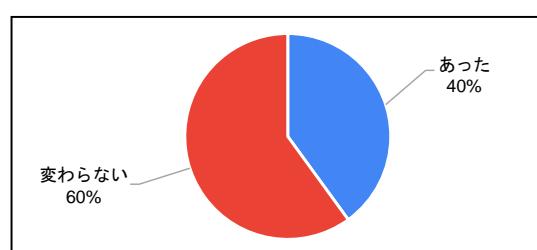
(1)今回の産業教育プログラムに参加し、生徒は那覇市への学びは深まったと思いますか。

回答	人数
とても思う	4
まあ思う	1
どちらでもない	0
あまり思うない	0
全く思わない	0
合計	5



(2)実施前と実施後を比較して、生徒の学校生活での変化はありましたか。

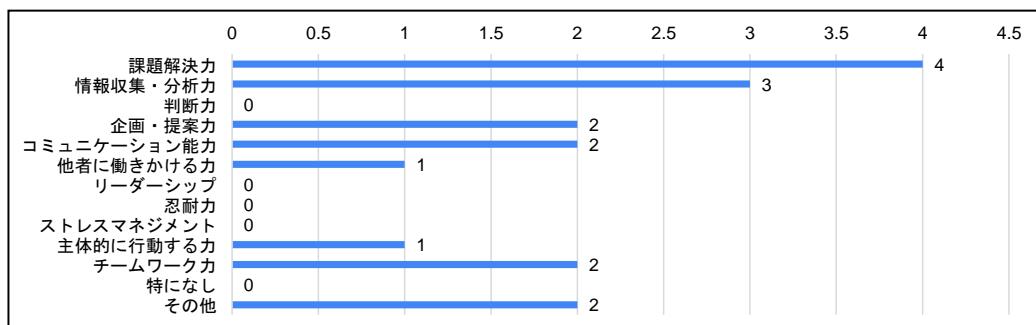
回答	人数
あった	2
変わらない	3
合計	5



(2)で「あった」と答えた方、どのような変化があったか教えてください。

- ・キャリア学習の時の聞く姿勢が変わった
- ・生徒達が職業について真剣に考えていた。

(3)今回のプログラムを通して、生徒が身についたと思う力はありますか。(複数回答可)

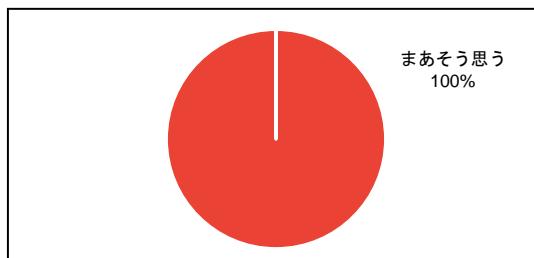


その他の記述:集めた情報を選んでまとめる力、行事に参加する意欲

産業体験プログラム「NAHA ミライ City in school」教員向けアンケート／古賀中学校

(4)産業教育プログラムの授業の中で生徒は積極的かつ主体的に取り組み、自分ごととして10年後の那覇市の未来について考えられていたと思いますか。

回答	人数
とてもそう思う	0
まあそう思う	5
どちらでもない	0
あまりそう思わない	0
全く思わない	0
合計	5



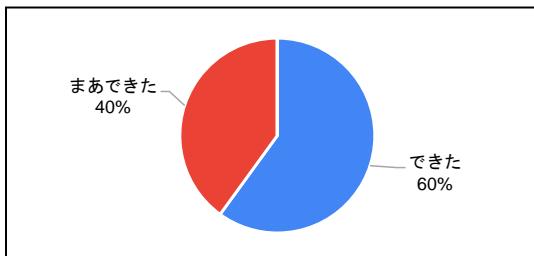
○(5)の回答を選んだ理由を教えてください。

”まあそう思う”と回答した理由

- ・10年後の那覇市を考えることで、未来の自分を想像している様子が見られた。
- ・那覇市の企業に触れる機会ができた
- ・真剣にまたわくわくしながら職場について調べていた。
- ・自分たちの街の将来について考えるきっかけとなった。働く意義や様々な職業について理解しようとする姿勢が多数の生徒から感じることができた。

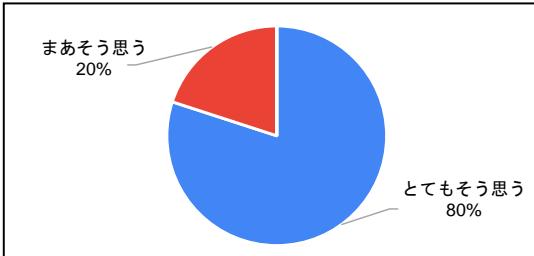
(5)今回実施した産業教育プログラムの流れや趣旨、目的等理解することはできましたか。

回答	人数
できた	3
まあできた	2
分からぬ	0
あまりできなかつた	0
全くできなかつた	0
合計	5



(6)地域のことや、産業について知るためにこれからも産業教育プログラムの様なキャリア教育は必要だと思いますか？

回答	人数
とてもそう思う	4
まあそう思う	1
どちらでもない	0
あまりそう思わない	0
全くそう思わない	0
合計	5



産業体験プログラム「NAHA ミライ City in school」教員向けアンケート／古賀中学校

○(6)の理由を教えてください。

”とても思う”と回答した理由

- ・こういう機会がないと地域の産業や企業について詳しく知ることができない(学校と企業のつながりがないため)
- ・地域に暮らす人材として必要と感じた
- ・教員では分からぬことや伝える事が難しい部分を専門的に携わっている職業人が話してくれると生徒にとっても有意義であると思う

”まあ思う”と回答した理由

- ・昔と違って、間近で職場の見学や仕事内容が実体験できるから。

(7)先生ご自身が、今回のプログラムを通して感じた成果を教えてください。

- ・12の企業が生徒に体験させてくれたのが大きい(職場体験では職場によっては直接の体験ができないままのところもある)
職場開拓や訪問の面で負担軽減 生徒管理が楽
- ・将来へのビジョンが深まった
- ・他種の仕事を知る上で、それぞれの企業が掲げている目標が違うが、SDGsを取り入れている企業が結構多いと感じた。
- ・自分自身、職業に楽しむことができとても良かったです。また、次年度にもつなげていければ幸いです。
- ・講話や資料から自分たちが学んだことをもとに生徒が主体的となって、自分たちの描く未来についてスライドを作成し、発表することができた。他者と協働することで、インプットとアウトプットの両方を上手く行う事ができた。

(8)本プログラムを体験した学校について次年度以降、基本的に学校で自走していく形を目指しています。

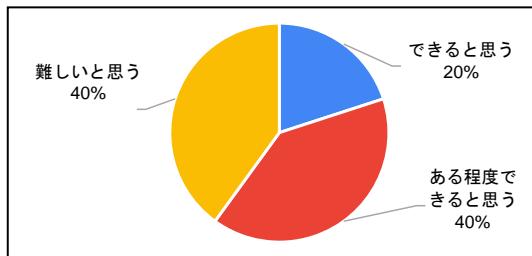
那覇市や産業への理解を深めながら本プログラムを実施できそうか現時点での意見を教えてください。

- ・体験プログラムでもう少し体験を増やしてほしい
- ・特になし(回答数3件)
- ・企業体験においては、体験活動の機会を増やしていただくと、生徒のより深い学びにつながると思う。

産業体験プログラム「NAHA ミライ City in school」教員向けアンケート／古賀中学校

(9) 本プログラムを体験した学校について次年度以降、基本的に学校で自走していく形を目指しています。那覇市や産業への理解を深めながら本プログラムを実施できそうか現時点での意見を教えてください。

回答	人数
できると思う	1
ある程度できると思う	2
難しいと思う	2
合計	5



○(9)で選択した理由を教えてください。

”できると思う”と回答した理由

- ・職場体験が減る中で、産業教育を取り入れていいのかなと感じた。

”ある程度できると思う”と回答した理由

- ・お互いに計画し・協力しながら生徒達の為にできると思います。
- ・企業との連携を手伝ってもらえるなら自走は可能

”難しいと思う”と回答した理由

- ・企業へのアプローチ
- ・教員が他の業務を行なながら、職業人講話や各企業への協業体験の依頼や日程調整等が難しい。

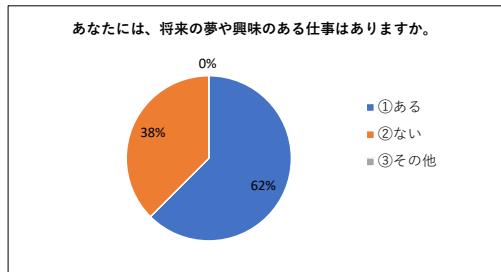
(10) 本事業に関してご意見やご感想等なんでも結構ですのでご記入ください。次年度の参考にさせていただきたいと思います。

- ・今回は本当にいい経験をさせてもらいました。企業体験後の生徒のスライド作成や発表が私が思っている以上に素晴らしい、こういう機会をもう少し増やしていきたいと思った。
- ・今現在、特になし。
- ・生徒達はとてもやりがいを感じていたようです。大変ありがとうございました。
- ・産業教育を取り入れてよいのかなと感じた。

曙小学校「事前アンケート」

(1)あなたには、将来の夢や興味のある仕事はありますか。

項目	回答実数	構成比率
①ある	25	63%
②ない	15	38%
③その他	0	0%
合計	40	100%

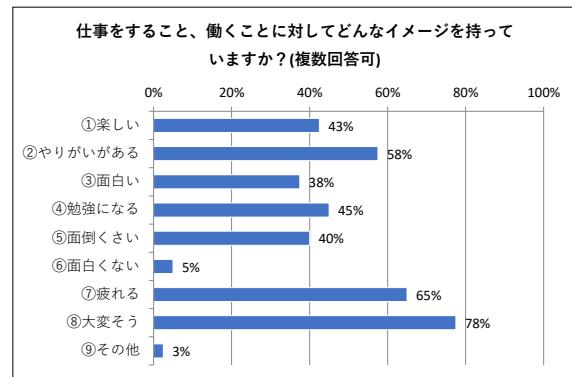


(2) (1)であると答え方へ。そう思ったきっかけへ教えてください。

- ・お母さんが珍しい病気にかかったから
- ・ユーチューブでそういう動画をみてそうなりたいと思ったから
- ・憧れだから
- ・ユーチューブや習い事で
- ・バレー、ボーラーを楽しいと感じたから
- ・面白そう、楽しそう
- ・その職業のすることの1つが分かったから
- ・ドラマをみたことでやりたくなった
- ・楽しそうだと思ったり自分にあっていとを持ったから
- ・趣味
- ・兄がやっていて興味を持ったから
- ・釣り
- ・育児漫画とかを見ているので、お母さんにも勧められたから
- ・自分の気になる仕事は漫画家やお菓子作りなどで自分の趣味は料理やイラストを描くことだからです
- ・その仕事を実際に見に行ったこと
- ・自分がやりたい仕事をやりたいから
- ・家のペットのこと。動物に関わる仕事をしたい。
- ・King Gnuみたいな曲を作ってみたいから。
- ・やっていろいろなことができそうだから
- ・僕の将来の夢は軍隊です。軍人になってたくさんの人を救い出したい。だけど同じ人類でもあるから、お互いに寂しい気持ちにならないように、なるべく戦争は起こさないでほしい

(3)仕事をすること、働くことに対してどんなイメージを持っていますか？(複数回答可)

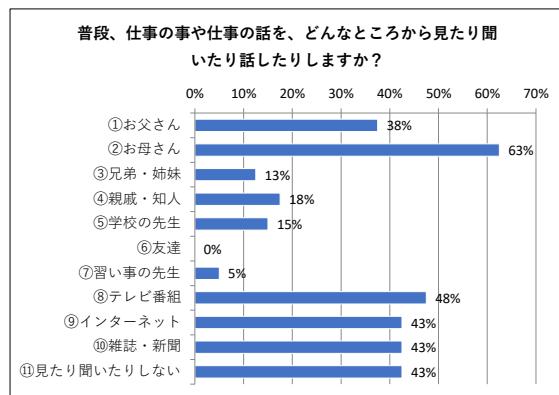
項目	回答実数	構成比率
①楽しい	17	43%
②やりがいがある	23	58%
③面白い	15	38%
④勉強になる	18	45%
⑤面倒くさい	16	40%
⑥面白くない	2	5%
⑦疲れる	26	65%
⑧大変そう	31	78%
⑨その他	1	3%



曙小学校「事前アンケート」

(4)普段、仕事の事や仕事の話を、どんなところから見たり聞いたり話したりしますか?(複数回答可)

項目	回答実数	構成比率
①お父さん	15	38%
②お母さん	25	63%
③兄弟・姉妹	5	13%
④親戚・知人	7	18%
⑤学校の先生	6	15%
⑥友達	0	0%
⑦習い事の先生	2	5%
⑧テレビ番組	19	48%
⑨インターネット	17	43%
⑩雑誌・新聞	17	43%
⑪見たり聞いたりしない	17	43%



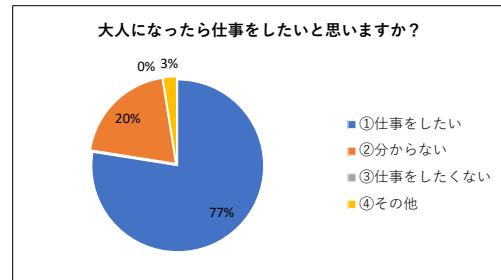
(5) (4)で①～⑩にチェックをした方へ。具体的にどんな話をしたり、どんな内容を見たり聞いたりしていますか?

- ・ 医者について
- ・ 絵を書いている内容
- ・ 大変と聞く
- ・ どんな仕事をしているのか。
- ・ お母さんが保育士の裏を話してくれる
- ・ 商品を並べるのが大変だった。
- ・ 仕事は楽しいかとか、疲れるかとか
- ・ 人との関係を築くのが大変
- ・ お母さんがやっている仕事
- ・ お母さんが疲れたと毎日いっている
- ・ 仕事の現状や社会の現状
- ・ よくお母さんとお父さんが建築の塗装や修理について話していて、どこに相談するかとかどこから話を受けたよとか話している
- ・ 仕事の大変さや楽しさ、やりがいや面白さなど
- ・ 愚痴や不満、正直に報道するべきか否か
- ・ 仕事内容
- ・ 幼稚園、公務員
- ・ お母さんが家でリモートの英会話レッスンをしているから違う部屋から聞こえる。
- ・ お父さんがまるたま（飲食店）をしているから、放課後や、休日に見たり、イベントの手伝いなどもしているから見てる。
- ・ 大変だけど、楽しいと思ってる仕事は、楽しいと聞く
- ・ 仕事内容や給料の話
- ・ 学校のことを聞いたりしている
- ・ 銀行の仕事はたくさん作文を書いたり、美容師はお客様を喜ばせるために間違いをしたらいけないなどを聞いている

曙小学校「事前アンケート」

(6)大人になつたら仕事をしたいと思ひますか？

項目	回答実数	構成比率
①仕事をしたい	31	78%
②分からない	8	20%
③仕事をしたくない	0	0%
④その他	1	3%
合計	40	100%



(7) (6)で答えた理由を教えてください。

仕事をしたいと答えた人

- 仕事をしないと生きていけないから
- お金を貯めて楽しく生活をしたい
- 義務だから
- その好きなもので金を稼ぎたいから
- 人生を成功させたいから
- 楽しそうだから
- 自分で稼いだりしてみたいとい。
- なつてみたい職業だから
- 親になんか買ってあげたいから
- 仕事をやってみたいから
- お金が必要だから
- お金を稼いで生活できるように
- お金を貯めたい
- 暇にならないように
- 自分が稼いだお金で親孝行をしたいから
- バカにされる、暇になる
- 生きるために仕事をしなければならないのと、人と関わりたいから
- 自分の好きな仕事だったら楽しそうだから
- 将来の夢があるから。
- タイピング練習になりそうだから。
- 仕事をしないと厳しい生活を送ることになるからです。

分からないと答えた人

- したいことがない
- まだわからないから
- やりがいがあるか、イマイチ分からないから。
- 自分がその仕事をちゃんと楽しめるか、面白さなどがまだわからないから
- そんなやりたいことがない
- やりたい仕事が明確に見つかってないから
- 仕事は面倒くさそうだけど興味がある仕事があるから
- 仕事はやらないといけないけど面倒臭いから

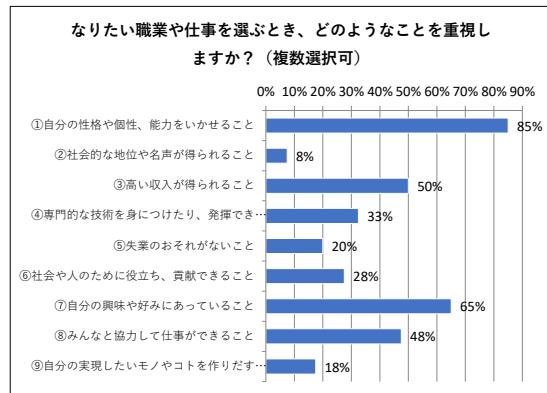
その他と答えた人

- その時の気分

曙小学校「事前アンケート」

なりたい職業や仕事を選ぶとき、どのようなことを重視しますか？（複数選択可）

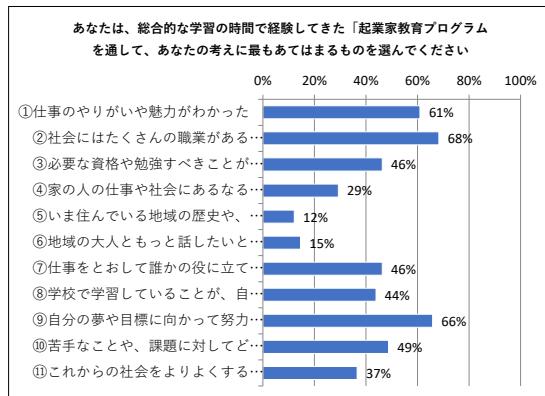
項目	回答実数	構成比率
①自分の性格や個性、能力をいかせること	34	85%
②社会的な地位や名声が得られること	3	8%
③高い収入が得られること	20	50%
④専門的な技術を身につけたり、発揮できること	13	33%
⑤失業のおそれがないこと	8	20%
⑥社会や人のために役立ち、貢献できること	11	28%
⑦自分の興味や好みにあってること	26	65%
⑧みんなと協力して仕事ができること	19	48%
⑨自分の実現したいモノやコトを作りだすことができる	7	18%



曙小学校 起業家教育P「事後アンケート」

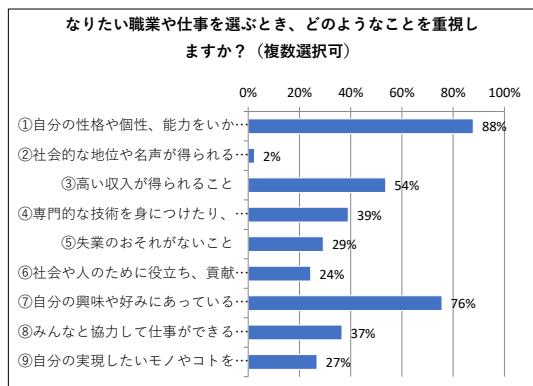
1. あなたは、総合的な学習の時間で経験してきた「起業家教育プログラムを通して、あなたの考えに最もあてはまるものを選んでください。(複数選択可)

項目	回答実数	構成比率
①仕事のやりがいや魅力がわかった	25	61%
②社会にはたくさんの職業があることがわかった	28	68%
③必要な資格や勉強すべきことがわかった	19	46%
④家の人の仕事や社会にあるなることがわかった	12	29%
⑤いま住んでいる地域の歴史や、歴史的な場所やモノ、産業に興味ももった	5	12%
⑥地域の大人ともっと話したいと思った	6	15%
⑦仕事をとおして誰かの役に立てることがわかった	19	46%
⑧学校で学習していることがわかった	18	44%
⑨自分の夢や目標に向かって努力することの大切さがわかった	27	66%
⑩苦手なことや、課題に対してどのように取り組んていけば良いかがわかった	20	49%
⑪これから社会をよりよくするには、自分からアクションをとり、変えることが大切だとわかった	15	37%



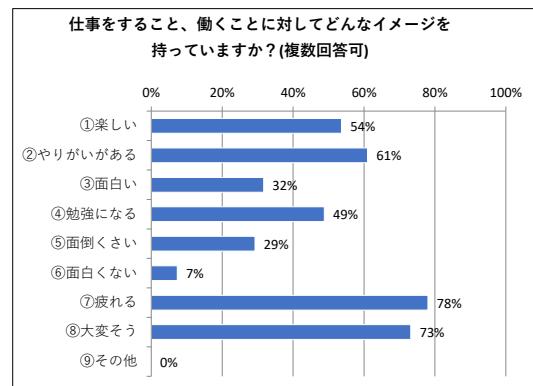
2. なりたい職業や仕事を選ぶとき、どのようなことを重視しますか？(複数選択可)

項目	回答実数	構成比率
①自分の性格や個性、能力をいかせること	36	88%
②社会的な地位や名声が得られること	1	2%
③高い収入が得られること	22	54%
④専門的な技術を身につけたり、発揮できること	16	39%
⑤失業のおそれがないこと	12	29%
⑥社会や人のために役立ち、貢献できること	10	24%
⑦自分の興味や好みにあってること	31	76%
⑧みんなと協力して仕事ができること	15	37%
⑨自分の実現したいモノやコトを作りだすことができる	11	27%



3. 仕事をすること、働くことに対してどんなイメージを持っていますか？(複数回答可)

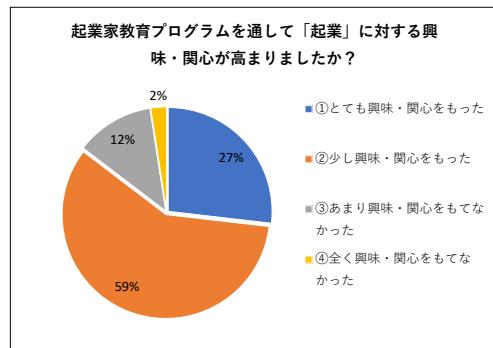
項目	回答実数	構成比率
①楽しい	22	54%
②やりがいがある	25	61%
③面白い	13	32%
④勉強になる	20	49%
⑤面倒くさい	12	29%
⑥面白くない	3	7%
⑦疲れる	32	78%
⑧大変そう	30	73%
⑨その他	0	0%



曙小学校 起業家教育P「事後アンケート」

4. 起業家教育プログラムを通して「起業」に対する興味・関心が高まりましたか？

項目	回答実数	構成比率
①とても興味・関心をもった	11	27%
②少し興味・関心をもった	24	59%
③あまり興味・関心をもてなかった	5	12%
④全く興味・関心をもてなかった	1	2%
合計	41	100%



5. 起業家教育プログラムを通して学んだこと、経験したことを見出しながら、いまあなたが感じている素直な感想を教えてください。

とても興味・関心をもったと答えた人

- ・楽しかった
- ・商品作るのは大変だし疲れるけどとてもやりがいがある。自分の好き、得意の商品を作れるから楽しかった。
- ・仕事の楽しさ大変さなど色々わかったし自分の将来の夢を考えるのが楽しくなった。
- ・自分の将来を考える上で役に立った
- ・1からスタートして面倒臭いなと思ったけど、やってみたら楽しくてすごくやりがいがあるなと思った。
起業家プログラムをやってよかったなと思った。
- ・楽しかった、いい経験になった
- ・自分が働くことについて地域のためになってることが分かった
- ・世の中には沢山の仕事がある
- ・起業家プログラムを通して、将来はあらゆる仕事があることも知った事と、仕事をしていくて大変さが伝わってきたので、お母さんとお父さんはいつも僕のために仕事を頑張って働いた、その稼いだお金を使っているんだと改めて気づきました。
- だから、僕と働くチームを大事にしてお金をたくさん稼いで恩返しをしたいと思いました。

少し興味・関心をもったと答えた人

- ・楽しい
- ・大変だったけど、やりがいがあった。
- ・会社作ることは大変だけどやってみると楽しくなっていきました。けど色々なハプニングが起きて大変でした。
- ・自分が思うことを発言することの大切さを知れた。
- ・自分たちが作ったものが、売られる快楽感
- ・グループ全員で作ったミサンガやアイロンピースが売れてよかったです
- ・頑張ってやってきたことが成功したらとてもたのしかった
- ・グループをまとめるのが大変だったけどみんなで協力しながら何かするのは楽しかった。
- ・会社をつくる仕組みが分かったしグループをまとめることができたので良かったです！
- ・仕事をすること、なにを仕入れて何円で売るか考えるとかも難しかったけど、楽しかったし勉強になった
- ・会社のこと考えたり売ったりするのが大変だった。
- ・起業家教育プログラムを通して、起業しても、重大な責任を負わされると知り、起業をするには、真剣に取り組まないといけないということが分かりました。
- ・会計するのが大変だった

曙小学校 起業家教育P「事後アンケート」

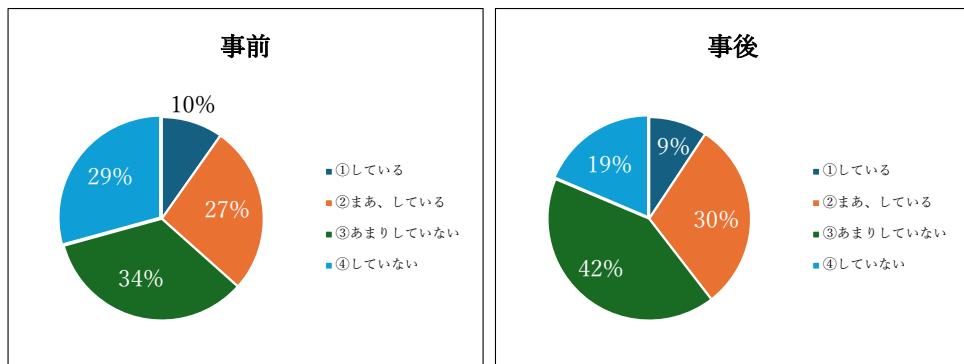
- ・会社を作ることがどれだけ難しいかわかった。
- ・将来色々な職業ができるということがわかった
- ・借りるお金や返すお金を計算するのが大変だった
- ・会社が、どうやって回っているのかがわかった。グループをまとめる人などが、とても大切だとわかった。
- ・会社を作るというのは初めての経験だったから、もし将来会社を立てるときも、会社を立てないとどうしても役に立つと思う
自分が将来やりたい夢に役立つ情報を知れたと、グループで意見を出し合う大切さ、納得の行く意見の難しさ、それらが、想定以上に難しかったのと、会社の大まかな役割を知れた。
- ・商品づくりの大変さがわかった

あまり興味・関心がもてなかつたと答えた人

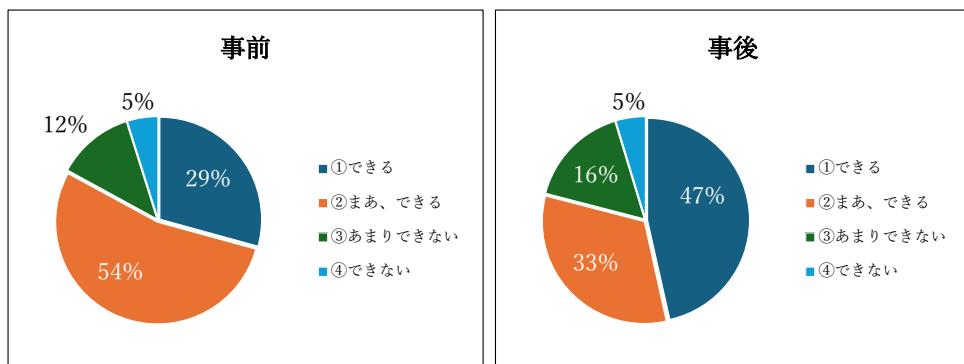
- ・グループで意見をまとめることが大変だった
- ・私は社長に向いていない。平井さんが1回しか言わないと言っていたのに、聞かなかつたらそれでいいみたいなこと言つていて、平井さんの話を聞くように注意してたけど、うざかった
- ・会社や社会では、色々の工程や色々な人の支え、助けなどがあつてやつひとつのこと達成できることを知りました。それも踏まえ、自分にあったことを一つ選ばないといけないので、少し、将来が考えづらくなり不安になりました。

曙小学校「能力準拠型アンケート」

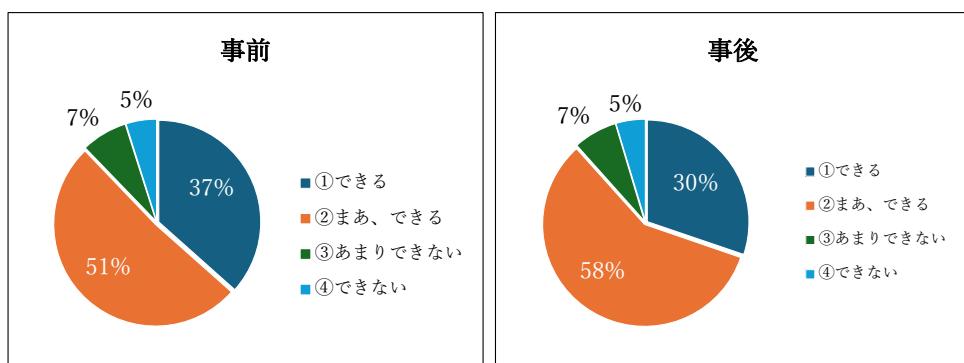
(1)自分の住んでいる地域のことについてよくわかり、地域の活動や人と関わろうとしていますか？



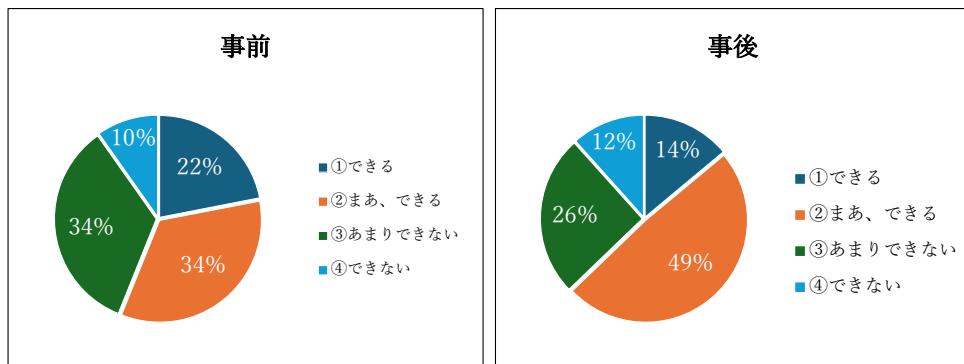
(2)自分から進んで返事やあいさつができますか？



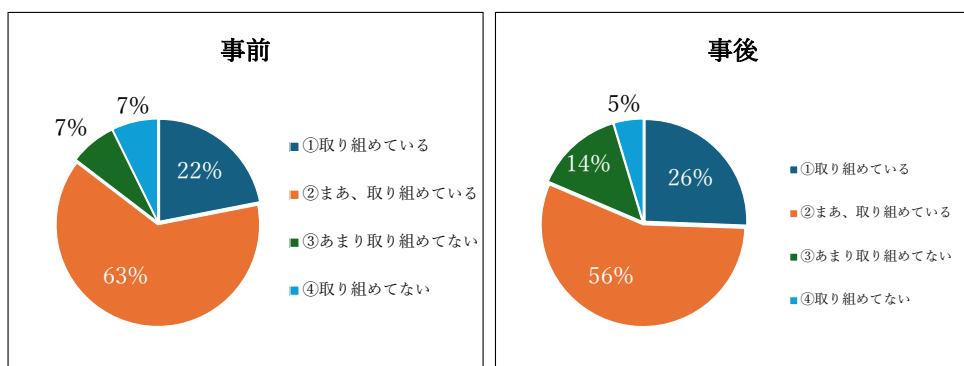
(3)友達（相手）を思いやり、協力し合って学習や活動することができますか？



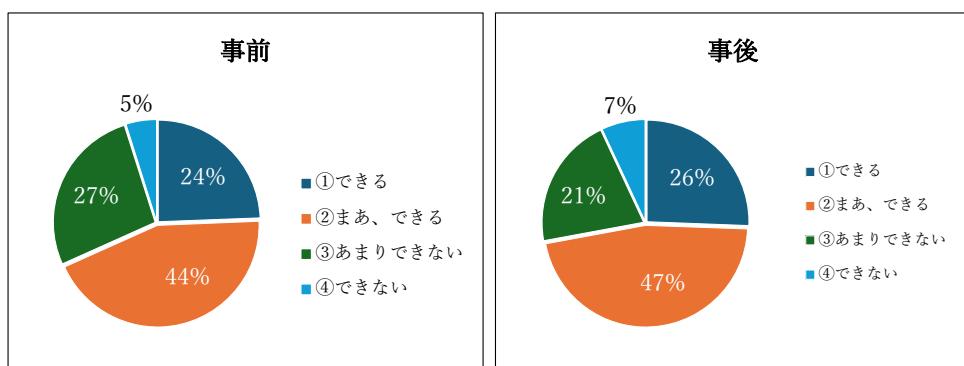
(4)友達（相手）の意見を聞き、自分の考えをわかりやすく伝える事ができますか？



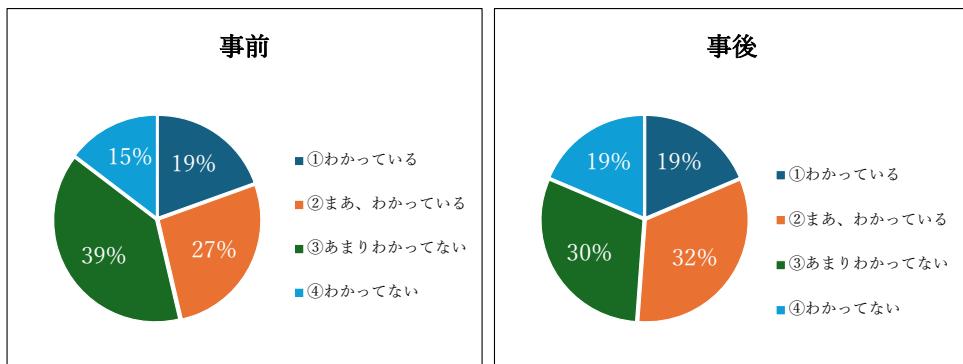
(5)自ら進んで授業に取り組んだり、係り活動や当番活動、委員会活動等の役割に取り組めていますか？



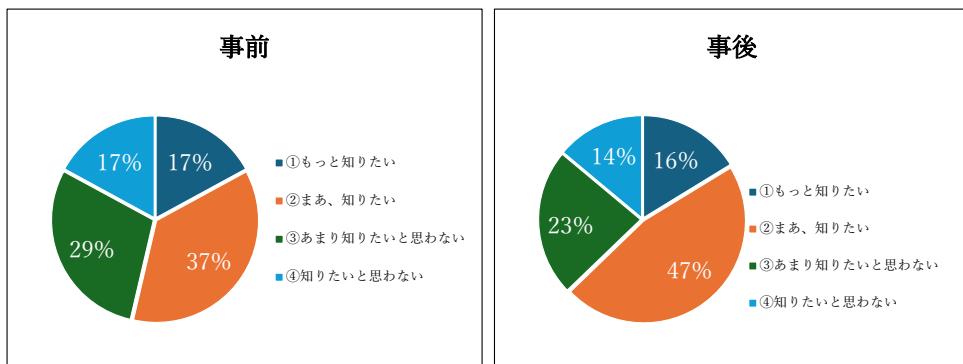
(6)自分で「やる」と決めたことは最後まで続けることができますか？



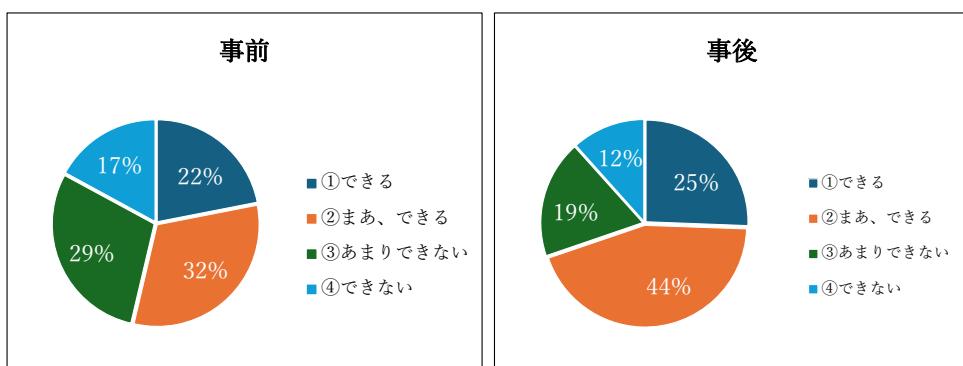
(7) 自分の長所や自分らしさがわかっていますか？



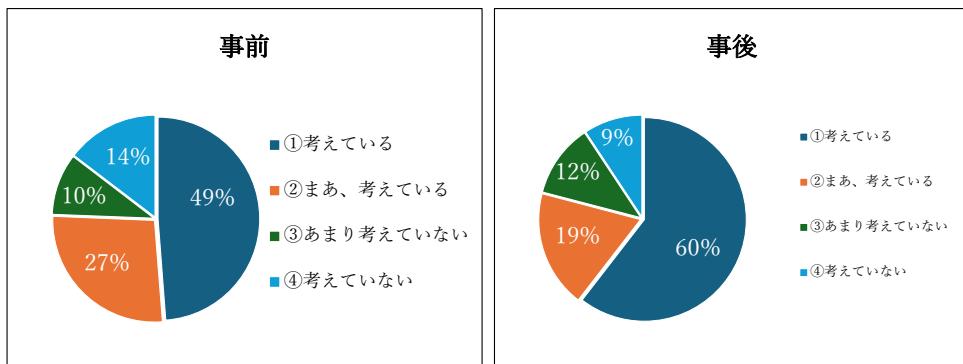
(8) 授業で学んでいることを「もっと知りたい」と思いますか？



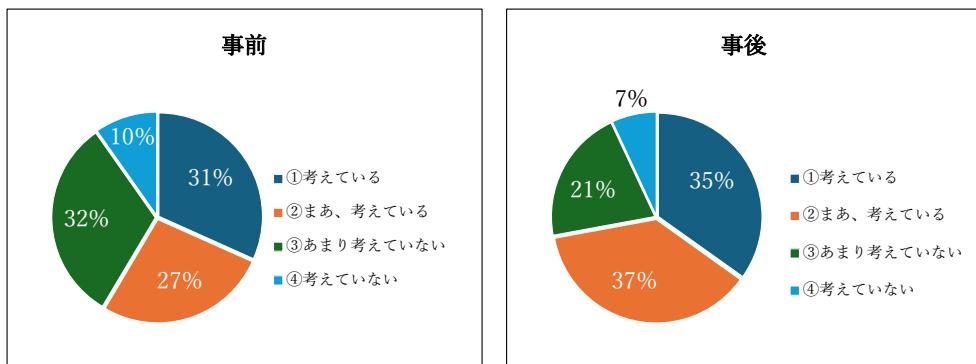
(9) 「もっと知りたい」と思うことを先生に質問したり、調べたりすることができますか？



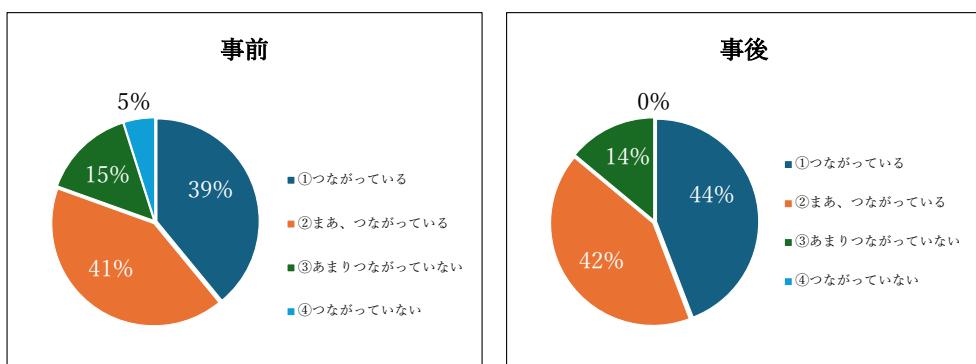
(10) 将来の夢や、なりたい（就きたい）仕事について考えていますか？



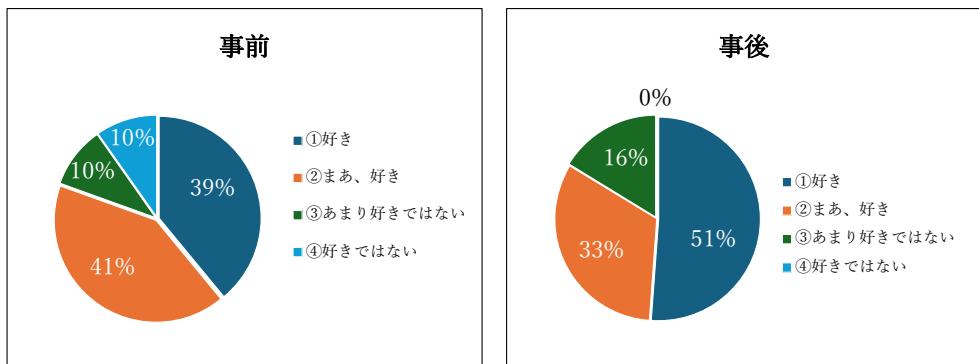
(11) 将来の夢や目標に向けて、今しなければならないことを考えていますか？



(12) 学校での学習や様々な活動は将来仕事をすることにつながっていると思いますか？



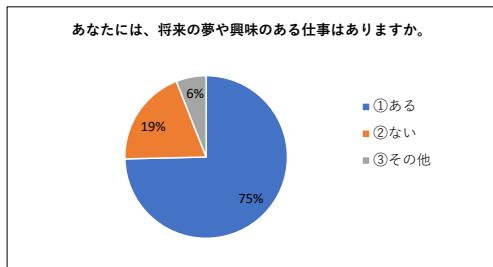
(13) 自分が住んでいる那覇市が好きですか？



松川小学校「事前アンケート」

(1)あなたには、将来の夢や興味のある仕事はありますか。

項目	回答実数	構成比率
①ある	50	75%
②ない	13	19%
③その他	4	6%
合計	67	100%



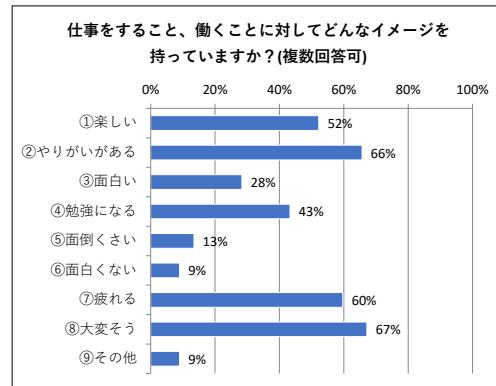
(2) (1)であると答え方へ。そう思ったきっかけへ教えてください。

- お菓子が好きだし、作るのが楽しそうだから
- 絵を書くのが好きだから
- 働かないといい暮らしなどができないから
- 学校やプライベートで子供が好きで、教えるのが楽しいと感じたから
- YouTubeを見てやりたいと思った。
- 今好きなものがあり、それに関する仕事に就きたいから
- おじいちゃんがやっていて楽しそうだと思ったから
- オシャレが好きだから
- 将来の夢がCAだからです
- ケイオーパートナーズでやりたいことをまとめたとき
- 大人になったら好きなことをしたいから
- いろんな病気を直せる人になりたいと思った
- この職業をすると、全部が楽しくなりそう。
- 一生懸命働いているのがかっこいいから
- ゲームを始めて自分もこんなを作りたいと思ったから
- 目標に向かって頑張りたいから
- 親に進められていいなと思った
- お仕事企業プロジェクトで考えた。
- 自分が得意なことに当たはまっているから
- 映画やアニメを見て
- 保育園のときその職業に向いてるねとお母さんに言われた。
- 困っている人を助けたいと思ったから

松川小学校「事前アンケート」

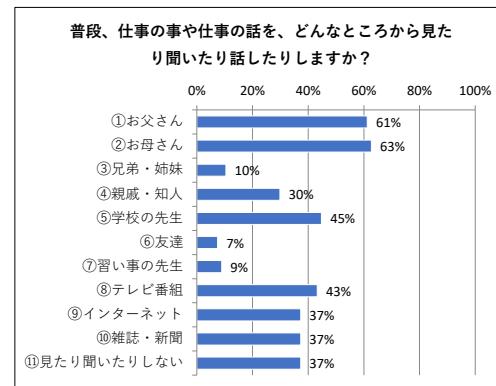
(3)仕事をすること、働くことに対してどんなイメージを持っていますか？(複数回答可)

項目	回答実数	構成比率
①楽しい	35	52%
②やりがいがある	44	66%
③面白い	19	28%
④勉強になる	29	43%
⑤面白くさい	9	13%
⑥面白くない	6	9%
⑦疲れる	40	60%
⑧大変そう	45	67%
⑨その他	6	9%



(4)普段、仕事の事や仕事の話を、どんなところから見たり聞いたり話したりしますか？(複数回答可)

項目	回答実数	構成比率
①お父さん	41	61%
②お母さん	42	63%
③兄弟・姉妹	7	10%
④親戚・知人	20	30%
⑤学校の先生	30	45%
⑥友達	5	7%
⑦習い事の先生	6	9%
⑧テレビ番組	29	43%
⑨インターネット	25	37%
⑩雑誌・新聞	25	37%
⑪見たり聞いたりしない	25	37%



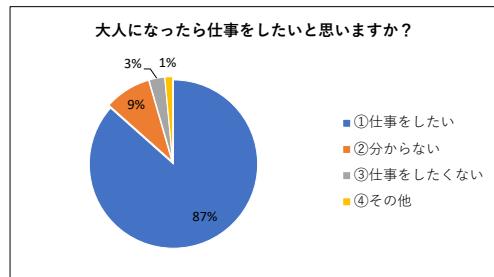
(5) (4)で①～⑩にチェックをした方へ。具体的にどんな話をしたり、どんな内容を見たり聞いたりしていますか？

- ・お母さんの職場にたまに行く
- ・お母さんの仕事でどんなふうにやってるの？など
- ・自分が教える側になったり教えてもらったりした（勉強など）
- ・楽しいと思ってたけど以外と大変
- ・先生とかを見ていたら大変そうだなと思う
- ・仕事の人付き合い
- ・お金のこと
- ・2ちゃんねるでの仕事のトラブル
- ・将来の話をしたり、こんな仕事をしたら何かに活かせるよ～などなど
- ・仕事は大変だと思うときもあるけれど、誰かが笑顔になるとやりがいを感じると言っていた
- ・この仕事は〇〇だよ これあなたにあってるんじゃない？
- ・親同士で話している時見たり、聞いたりしている。
- ・人間関係や失敗したことを聞いてる
- ・仕事の人の関係や提出物の確認のとき
- ・〇〇が大変だったよ。などの仕事であったこと
- ・収入、やりがい

松川小学校「事前アンケート」

(6)大人になったら仕事をしたいと思いますか？

項目	回答実数	構成比率
①仕事をしたい	58	87%
②分からない	6	9%
③仕事をしたくない	2	3%
④その他	1	1%
合計	67	100%



(7) (6)で答えた理由を教えてください。

仕事をしたいと答えた人

- 仕事をしないとお金が貰えないし、家族を支えないといけないから
- 楽しそうだし、生活に必要だから
- 仕事しないと生きていけないから
- これまでの頑張った成果を出したいから
- 金銭的にも将来性を考えて安定してみたいから
- お金が貰えなくて生きていけないし、自分の生きがいが無くなりそう
- 欲しいものがあるから
- 夢があるから
- お金を貯めて好きなものを買いたいから
- 大変なことや楽しことをやってみたい
- 人助けをしたいし、働かなかつたら親が困るから
- お金が必要になるし、会社や仕事でしかできないこともあるから
- 自分のしたい職業をやって楽しい人生にしたいから。
- お金を稼いでお世話になった方に恩返しをしたい
- 家でダラダラするよりは、色々な経験をしてジグザグな人生を過ごしたいから
- 親を困らせたくないから
- 今までに会ったことのない人に会えるから
- 家族のためや楽しさのために、感謝する気持ちを育てたいから。
- 自信にもなるだろうし親孝行もしたいから
- 自分が楽しいと思える仕事をして、自立できるようにしたい
- 職場体験でお父さんが自慢げに紹介してくれたから楽しんだな、と思ったから

分からないと答えた人

- まだはっきりした夢がないから
- 仕事と言えるかわからない
- 楽しい仕事もあれば楽しくない仕事もあるから
- 将来の夢がない
- まだ決まっていない

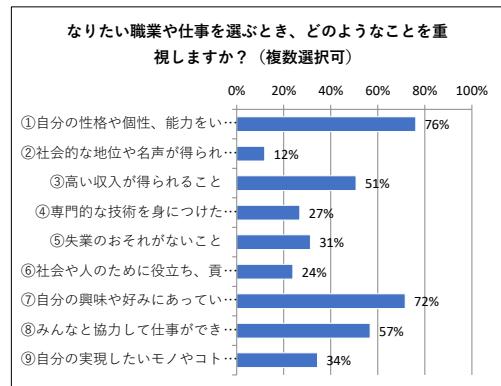
仕事をしたくないと答えた人

- 面倒くさいから

松川小学校「事前アンケート」

なりたい職業や仕事を選ぶとき、どのようなことを重視しますか？（複数選択可）

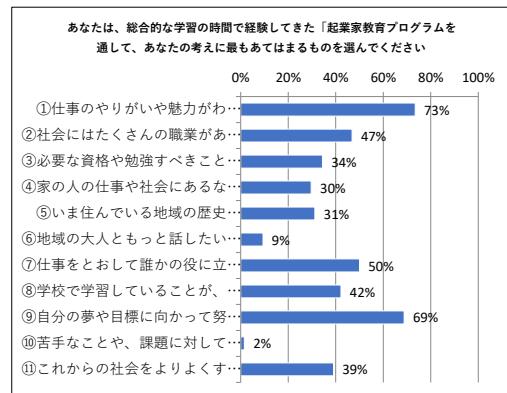
項目	回答実数	構成比率
①自分の性格や個性、能力をいかせること	51	76%
②社会的な地位や名声が得られること	8	12%
③高い収入が得られること	34	51%
④専門的な技術を身につけたり、発揮できること	18	27%
⑤失業のおそれがないこと	21	31%
⑥社会や人のために役立ち、貢献できること	16	24%
⑦自分の興味や好みにあっていいること	48	72%
⑧みんなと協力して仕事ができること	38	57%
⑨自分の実現したいモノやコトを作りだすことができる	23	34%



松川小学校 起業家教育P「事後アンケート」

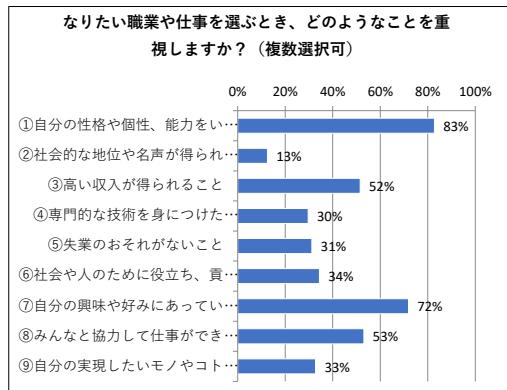
1. あなたは、総合的な学習の時間で経験してきた「起業家教育プログラムを通して、あなたの考えに最もあてはまるものを選んでください。(複数選択可)

項目	回答実数	構成比率
①仕事のやりがいや魅力がわかった	47	73%
②社会にはたくさんの職業があることがわかった	30	47%
③必要な資格や勉強すべきことがわかった	22	34%
④家の人の仕事や社会にあるなあべくたぐさんの職業について知りたいと思った	19	30%
⑤いま住んでいる地域の歴史や、歴史的な場所やモノ、商店に興味をもった	20	31%
⑥地域の大人ともっと話したいと思った	6	9%
⑦仕事をとおして誰かの役に立てることがわかった	32	50%
⑧学校で学習していることが、自分が大人になつて働くことにつながった	27	42%
⑨自分の夢や目標に向かって努力することの大切さがわかった	44	69%
⑩苦手なことや、課題に対してどのように取り組んでいけば良いかがわかった	1	2%
⑪これから社会をよりよくするには、自分からアドバイスを考えたり、実験することが大切だとわかった	25	39%



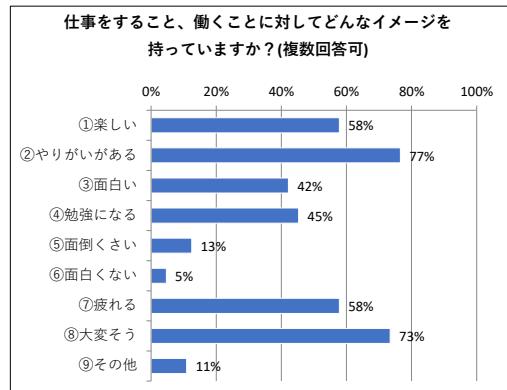
2. なりたい職業や仕事を選ぶとき、どのようなことを重視しますか？(複数選択可)

項目	回答実数	構成比率
①自分の性格や個性、能力をいかせること	53	83%
②社会的な地位や名声が得られること	8	13%
③高い収入が得られること	33	52%
④専門的な技術を身につけたり、発揮できること	19	30%
⑤失業のおそれがないこと	20	31%
⑥社会や人のために役立ち、貢献できること	22	34%
⑦自分の興味や好みにあってすること	46	72%
⑧みんなと協力して仕事ができること	34	53%
⑨自分の実現したいモノやコトを作りだすことができる	21	33%



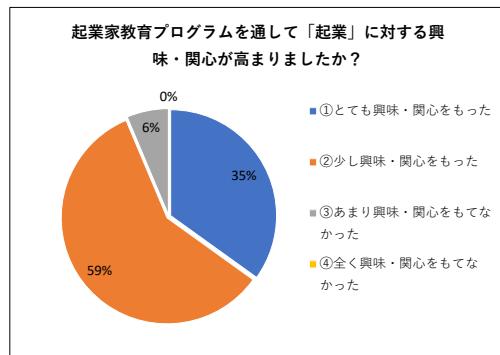
3. 仕事をすること、働くことに対してどんなイメージを持っていますか？(複数回答可)

項目	回答実数	構成比率
①楽しい	37	58%
②やりがいがある	49	77%
③面白い	27	42%
④勉強になる	29	45%
⑤面倒くさい	8	13%
⑥面白くない	3	5%
⑦疲れる	37	58%
⑧大変そう	47	73%
⑨その他	7	11%



4. 起業家教育プログラムを通して「起業」に対する興味・関心が高まりましたか？

項目	回答実数	構成比率
①とても興味・関心をもった	22	35%
②少し興味・関心をもった	37	59%
③あまり興味・関心をもてなかった	4	6%
④全く興味・関心をもてなかった	0	0%
合計	63	100%



5. 起業家教育プログラムを通して学んだこと、経験したことを見出しながら、いまあなたが感じている素直な感想を教えてください。

とても興味・関心をもったと答えた人

- ・ いま不足している仕事がわかった
- ・ 仕事のやりがいがわかった
- ・ 会社を作ることで、グループのみんなで協力して現状や大変さがわかった
- ・ 仕事を起業するのを、考えたりするのがとても難しかった
- ・ 会社を作ることを通して、みんなと協力する楽しさがわかった。自分が将来会社に就いたときに自分のできることを考えて頑張っていきたい。
- ・ 色々考えて提案することが大事とわかった。
- ・ グループでの活動で、自分の意見を発表することが大切だと思った
- ・ 自分たちの夢とかあんまり思いつかなかったけど、考えてたらCAとかが良いなと思いました
- ・ みんなの意見を取り入れながら話すのが大変だった
- ・ 自分たちが思っているより、お仕事は期限などがあり難しくて大変だった。
- ・ 那覇市や沖縄県全体の課題が色々あって、課題を解決するために頑張りたいと思いました。
- ・ 会社は一人一人の持っている個性を生かして成り立っていることが分かった
- ・ 自分の将来も全て繋がっていると知った。
- ・ 日本はまだまだ進化すると思った
- ・ 広告を普段見てる時は1分で長いなと思っていたけど、実際に自分が紹介したら1分が短くて、なんか大変そうだなと思った
- ・ 起業家育成プログラムの前は、自分の将来に対してあまり関心を持たなかったけど起業家育成プログラムを通じて自分の将来のためには、日々の努力が大切だとわかり、これから何になりたいか考えるとときは、起業家教育プログラムで学んだことを活かして考えたいです。
- ・ 一から自分たちの意見を言い合ったり、考えるのが大変だった。
- ・ 0から会社を創るとき、最初は甘く見ていたけどやってみると結構大変で、時間を伸ばしたり、締め切りに間に合わなかったりして改めて「仕事」ということを学んだ。

少し興味・関心をもったと答えた人

- ・ 起業家プログラムで今足りない第2産業や第3産業だとわかりました。
- ・ 一次産業が減ってきているから、増やそうとしているとわかった
- ・ 仕事にも種類があり、私達の生活には欠かせない仕事に危機が迫っているとわかった。将来AIが増えてくるけどウーバーイーツのようにその時代に合った仕事が出てくるんじゃないかなと思った。
- ・ 考える側だけでは気づかない点もあったので意見を聞く大切さも実感したので、困ったときや将来にも活かしたい。

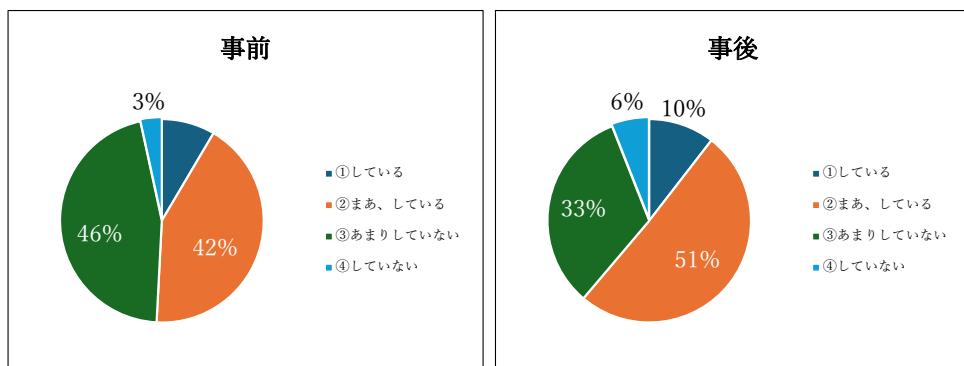
- ・社会というのは自分にとっても身近な存在でありみんなの過ごしやすい環境を保って行かなければならぬものだと分かった。なので私ももっと良い方向に持っていくような人になりたいと思った。
- ・世の中には、いろんな職業があるとわかった。だから夢でもいいからなりたいものを見つけることが大切だと感じた。
- ・システムより物を発表したグループのほうが支持を集めていた
- ・自分じゃなくてお客様が求めている商品を考えるのが難しかった
- ・起業をするためには、自分一人だけじゃできないとわかった。また仲間を作ることでみんなで協力しあい助け合えることがわかった
- ・時間通りに終わらせることがとても大切だと思った
- ・自分の意見を言えることが大切と思った。
- ・起業家教育プログラムを通して、那覇市の問題解決を行うポスターづくりで、アイデアを考える難しさなどが分かった。
- ・正直、企業しようとは思わないけど知れてよかったです
- ・グループでいつも話したりしていることが未来でも役立つと分かった
- ・自分の役割を達成できて嬉しい
- ・会社をつくることを通して、自分の将来の為になるなと思いました。
- ・会社の担当の仕組みがわかった
時間以内にポスターを作ることが大変だった。社会でたら時間管理がもっと大変になると思うから、今のうちに時間管理に気をつけたいと思った。
- ・自分の個性を出すのが難しかった
- ・起業家教育プログラムで意見を出してもまた課題が出るというのが難しかった。

あまり興味・関心がもてなかつたと答えた人

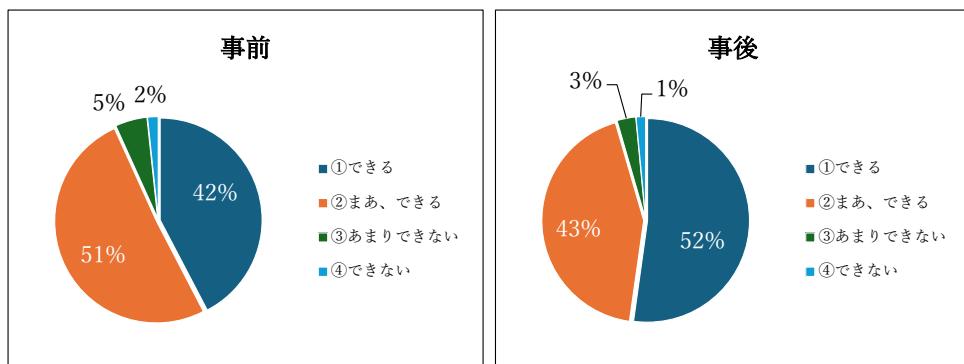
- ・意味がわからなかった
- ・仕事を頑張りたい
- ・大変

松川小学校「能力準拠型アンケート」

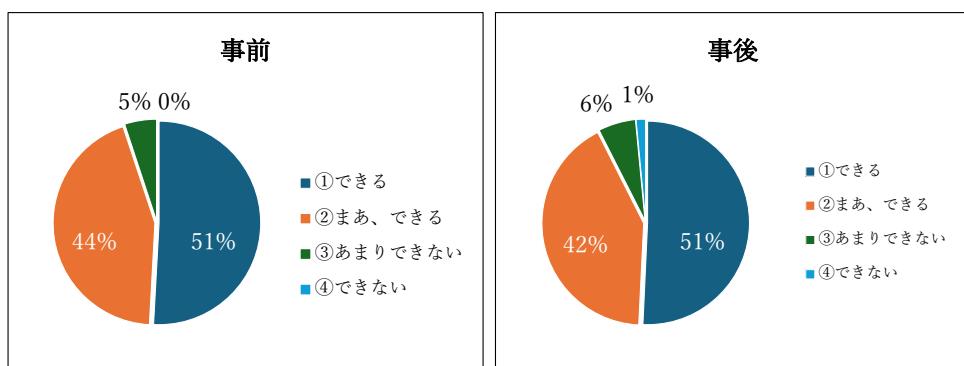
(1)自分の住んでいる地域のことについてよくわかり、地域の活動や人と関わろうとしていますか？



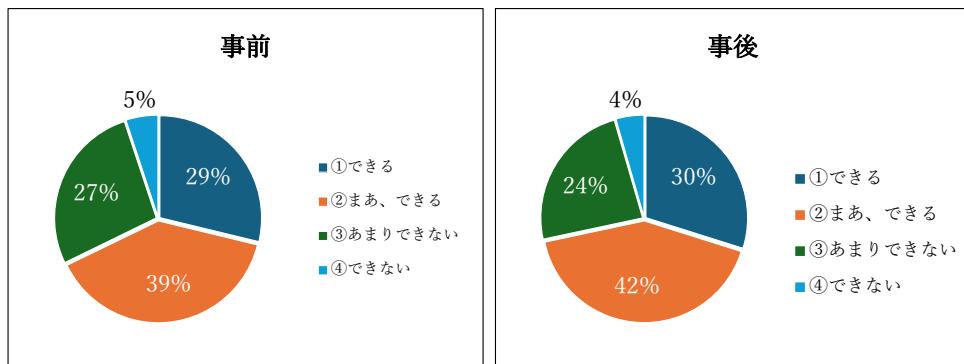
(2)自分から進んで返事やあいさつができますか？



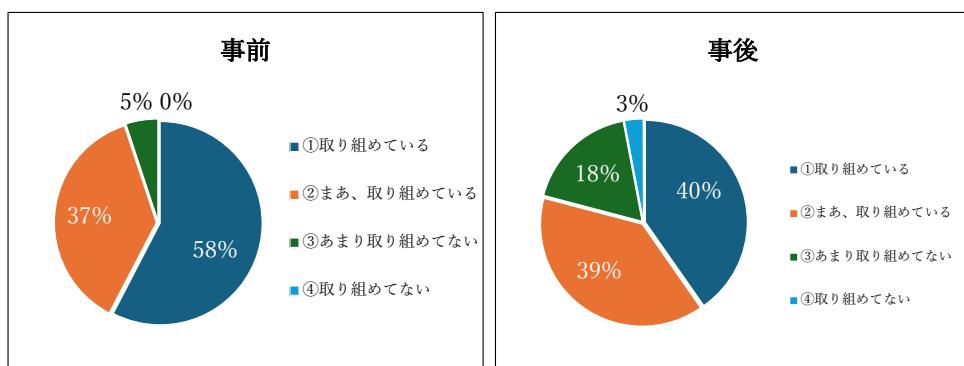
(3)友達（相手）を思いやり、協力し合って学習や活動することができますか？



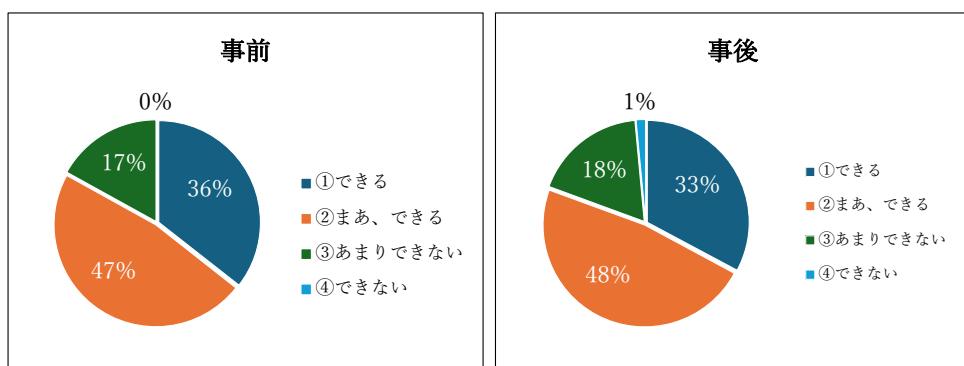
(4)友達（相手）の意見を聞き、自分の考えをわかりやすく伝える事ができますか？



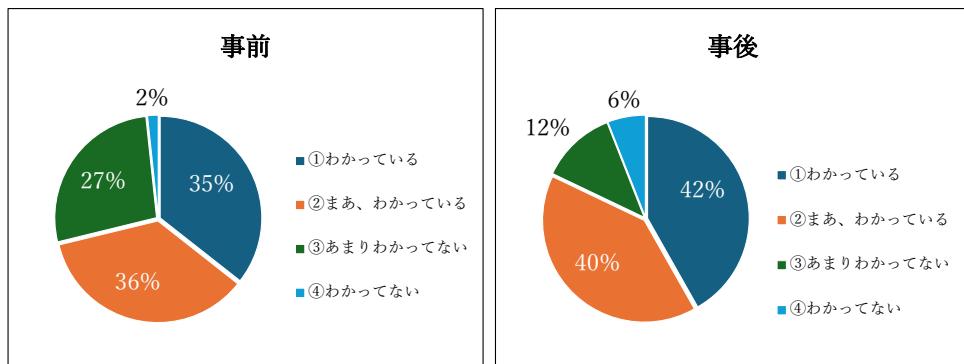
(5)自ら進んで授業に取り組んだり、係り活動や当番活動、委員会活動等の役割に取り組めていますか？



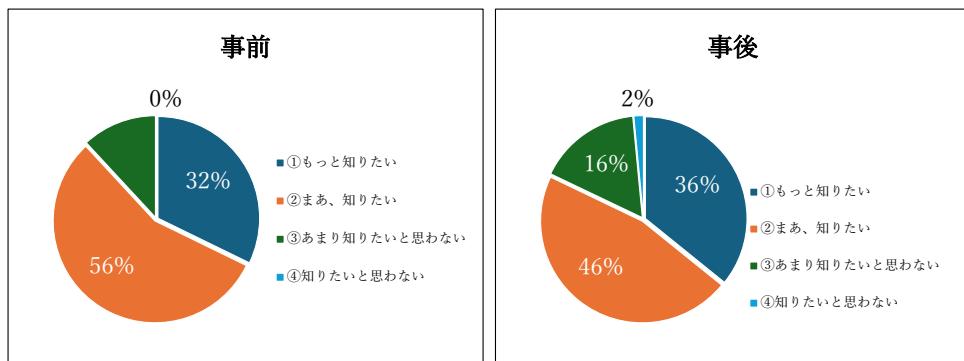
(6)自分で「やる」と決めたことは最後まで続けることができますか？



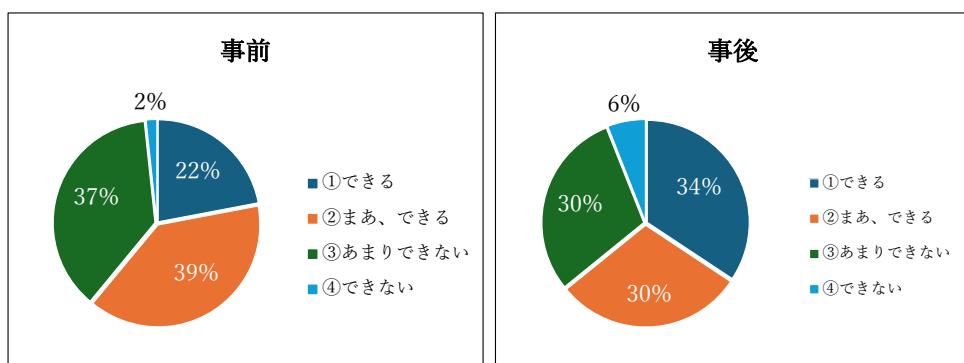
(7) 自分の長所や自分らしさがわかっていますか？



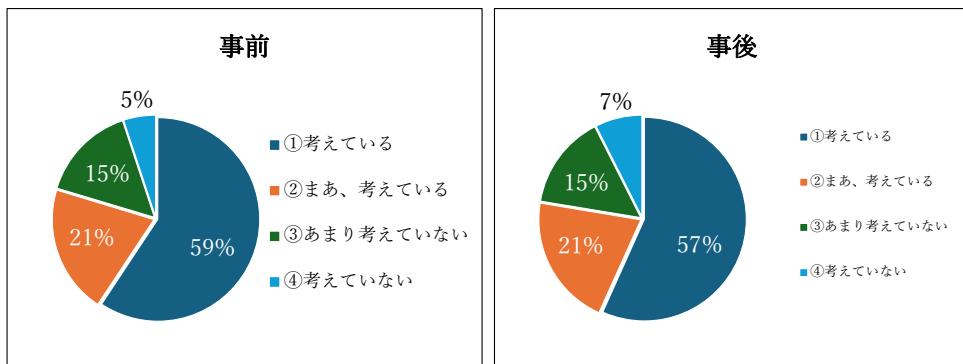
(8) 授業で学んでいることを「もっと知りたい」と思いますか？



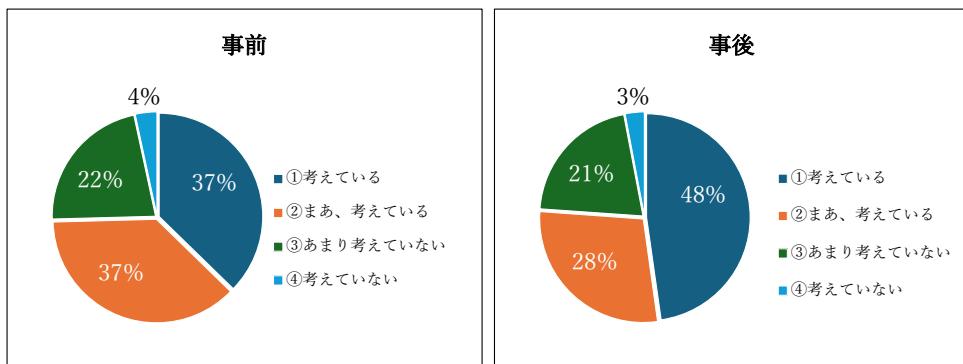
(9) 「もっと知りたい」と思うことを先生に質問したり、調べたりすることができますか？



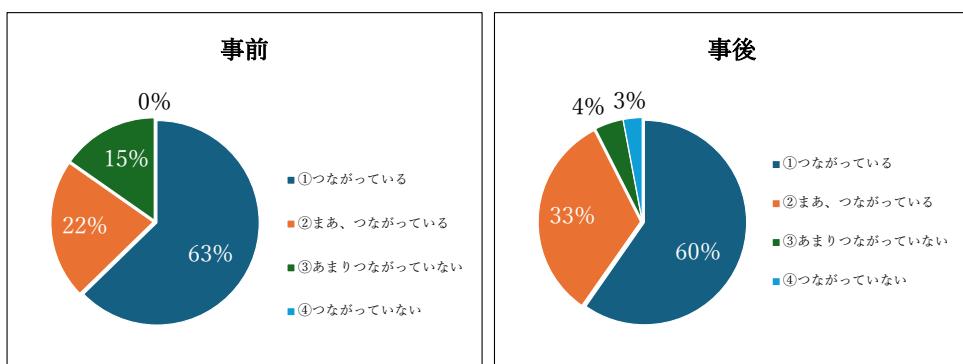
(10) 将来の夢や、なりたい（就きたい）仕事について考えていますか？



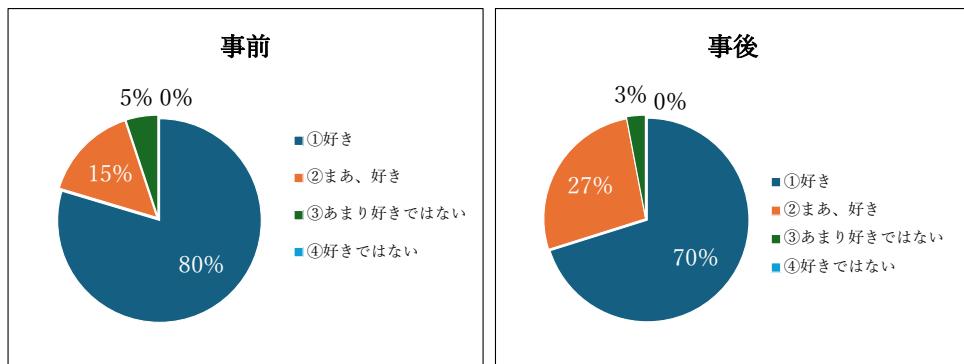
(11) 将来の夢や目標に向けて、今しなければならないことを考えていますか？



(12) 学校での学習や様々な活動は将来仕事をすることにつながっていると思いますか？



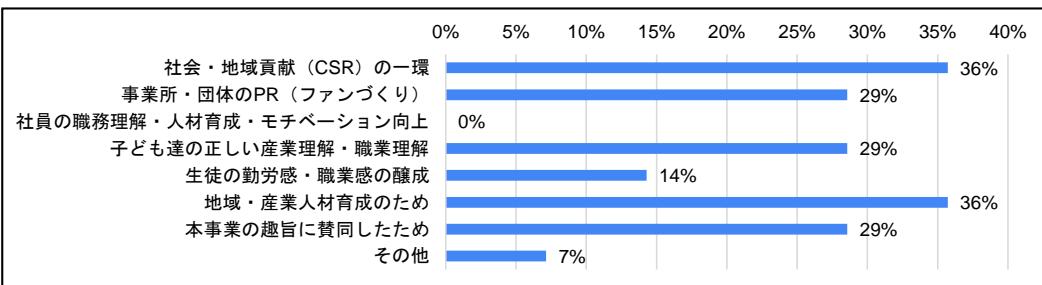
(13) 自分が住んでいる那覇市が好きですか？



R5年度産業体験プログラム「NAHA ミライ City in school」出展事業所様向けアンケート

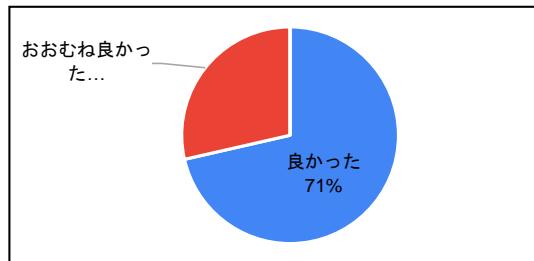
出展企業12社／回答7社

(1)ご出展を決められた理由を教えてください。(複数回答可)



(2)ご出展されていかがでしたでしょうか。

回答	人数
良かった	5
おおむね良かった	2
あまり良くない	0
良くなかった	0
合計	7



(3)上記(2)でそのように回答された理由を教えてください。

”良かった”と回答した理由

- 生徒がとても熱心に聞き質問などもあり、学んでくれたから。
- 生徒からの生の声をダイレクトに受け取ることが出来るから。また、「ふくし」への理解を深める一助になると感じたから。
- 生徒の皆さんが積極的に参加してくれて学ぶ意欲が見られた
- 生徒さんや企業さんと交流が測れて、色々な意見を聞くことができ刺激になりました。
- 地域に貢献出来た事

”おおむね良かった”と回答した理由

- 地域社会に貢献できしたこと、生徒さんへ弊社の事業をアピールできたこと
- 興味を持ってもらった事

(4)生徒の様子を教えてください。

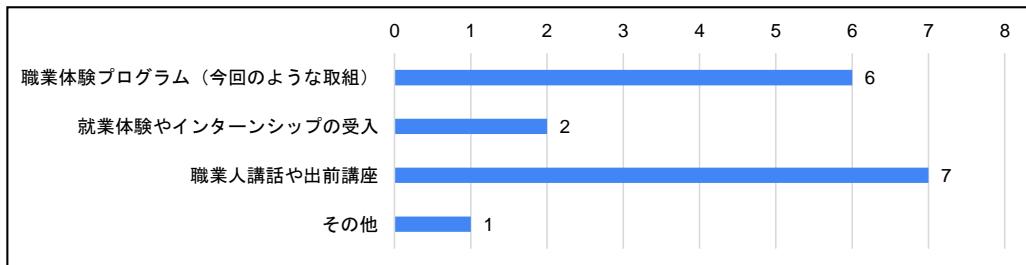
- 一部寝ている生徒さんがおりましたが、ほとんどの生徒さんははじめに説明を聞いてくれておりました。
- 素直で、集中して受講していました。
- こちらの目的をきちんと理解した上で、体験を楽しんでくれたと思われる。
- 興味がある方は、質問されていた。中学1年生に少し伝わりにくい部分と世代のギャップを感じた。
- 工業系のプログラムだったが男女問わず積極的に参加してくれた
- 漫才ワークショップを行ったのですが、どの生徒さんもちゃんと穴埋め式のシートに一生懸命考えて記入してくれていて、積極的な姿勢がとても良かったです。発表の際には恥ずかしがっている子もいましたが、楽しそうにやってくれたので今後の人生経験の一つになればよいと思いました。
- みなさん素直で良い学生さん達でした

R5年度産業体験プログラム「NAHA ミライ City in school」出展事業所様向けアンケート

(5)改善した方が良い点を教えてください。

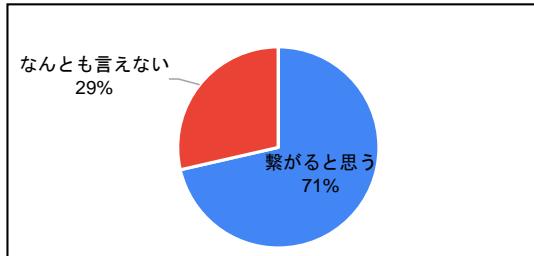
- 特にございません。良かったと思います。
- あと15分前後、時間に余裕があると助かる。2コマ連続ではなくて、間に1コマ挟むのは難しいか？もしくは、こちらから提供できる時間配分の再検討が必要だと感じた。
- 特にありません。
- 砂利道で荷物を運ぶのが大変でした。それ以外は特にございません。

(6)学校との連携について、ご協力いただけそうな取組を教えてください。(複数回答)



(7)今回のような産業理解プログラムは生徒にとって、産業理解の促進や職業観・勤労観の醸成、地域人材育成につながったと思いますか。

回答	回答人数
繋がると思う	5
なんとも言えない	2
繋がらないと思う	0
合計	7



(8)上記(7)で、そのように答えた理由を教えてください。

”繋がると思う”と回答した理由

- 若年層からさまざまな就業体験ができるることは、将来に必ず役に立つと考えます。
- 漠然と大人の仕事として想像しているだけよりも、実際に企業や団体の担当者に会うことでリアルに感じるはずだから。
- 体験しながら学ぶことで企業を知るきっかけになると思う
- 直接、色々な企業さんの働きを見る機会はあまりないと思うので生徒さんの人生の選択肢を広げるきっかけになると思います。
- 直接肌で感じる事ができるいい機会だと思う

”なんとも言えない”と回答した理由

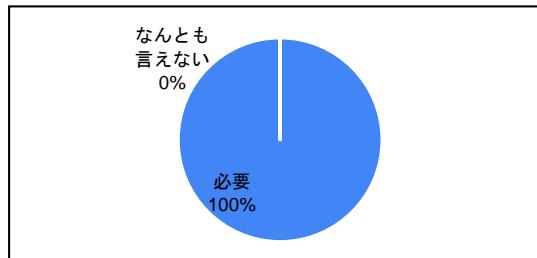
- 様々な業種に触れる事で、興味が湧く生徒が増え、将来働く選択肢や情報が増える事は、定着率にも繋がると思われる。
- 成果が見えない

R5年度産業体験プログラム「NAHA ミライ City in school」出展事業所様向けアンケート

(9) 今回のような産業理解プログラムは、貴社・貴団体にとって、必要だと思いますか。

回答	回答人数
必要	6
なんとも言えない	0
必要ではない	0
合計	6

その他記述:
(こちらの)事業担当者考え方により
変わる気がする。



(10) 上記(9)でそのように答えた理由を教えてください。

"必要"と回答した理由

- ・スーパー・マーケットのイメージが強い弊グループで様々な事業を展開していることを説明する機会を今後もいただけますと幸いです。
- ・目にする機会が少ない職業なので、生徒が知る切っ掛けになると思う。
- ・医療界で人材確保に繋げたい
- ・企業を知ってもらう意味で必要
- ・昨今ではYouTuberやインフルエンサーなどの個人でSNSを活用した仕事が増えているため、エンタメ業界で働く人材が減っていると感じています。改めて芸人やタレント、エンタメ業界の裏方の仕事内容や魅力を理解して頂く必要があるかなと感じております。
- ・地域とつながる

"その他記述"と回答した理由

- ・事業担当者が固定ではなく、数年毎に配置換えされるので、得手不得手に左右されると思われる為。

(11) ご意見・ご感想をお願いします。

- ・昨年度に引き続き本年度もご案内、参加させていただきありがとうございました。
高校生、大学生等には説明会でグループの事業をお話する機会がありますが、
もっと若い年代へお話しする機会をいただけること非常にうれしく思っております。
- ・事業をお話しする機会がありますが、もっと若い年代へお話しする機会をいただけること
非常にうれしく思っております。
毎年、続けていく事が、子供達、地域、社会の発展につながっていくと思います。
- ・1点だけ、周辺の混雑状況を鑑みて8時過ぎから駐車場に居たところ、教諭から
「その場所は停める先生が決まっているのでどいてください」と注意を受けた。
あらかじめ「何時以降に来校するよう」具体的な時間を示して欲しかった。
- ・無し
- ・生徒の学ぶ姿勢が素晴らしいです
- ・今回ありがとうございました。
- ・貴重な体験をいたしました。ありがとうございました。

【産業教育PG 古藏中学校 NAHAミライCity しおり】

令和5年度
NAHAミライCity
in 古藏中学校 しおり



~テーマ~
私たちが考える
10年後の那覇市の産業・職業・仕事

那覇市立 古藏中学校
1年 組番
氏名

1, ねらい
全体
このプログラムを通して、なりたい自分になるために
働くことやお金のこと、地域産業のこと学び、体験して
勤労観、職業観、地域愛の醸成(徐々に作り出すこと)はじめ、
課題発見力、課題解決力、チームビルディング、プレゼンテーション力など
を育む授業学習を行う。

~職業体験当日~
 ①講話・体験・インタビューを通して、那覇市を代表する産業界・企業の正しい産業理解を出し、多様な職業や仕事があることや、働く想いややりがいに触れる
ことで、勤労観および職業観の醸成を図る。
 ②社会で求められる資質・能力について知ることで、学校の学びが社会とつながっていることが分かる。
 ③産業や企業は何のために存在するかを学び、未来の那覇市の課題解決につながるヒントを主体的に探す。

2, 期日 令和6年1月18日(木) 9:30~12:20
 3, 学習場所 1年の教室、2年生の教室(修学旅行中)
 4, 服装 制服
 5, 持ち物 しおり、筆記用具
 6, 参加人数 1学年生徒(203名) 1学年職員
 ※2年生の教室や他の教室を使います。落書きをしたり、勝手に人の道具に触らないようにしましょう。

7, 班のメンバー

自分:	
-----	--

- 1 -

8, 日程
8:15 制約の会
8:30 ~ 9:20 1校時 打ち合わせ・確認(9:10 センターホール集合)
9:30 ~ 10:50 第1クール職業体験(時間を見て行動) ※5分前行動
ミニ講話(20分)・職業体験(50分)・質疑応答(感想)(10分)
11:00 ~ 12:20 第2クール職業体験(時間を見て行動) ※5分前行動
ミニ講話(20分)・職業体験(50分)・質疑応答(感想)(10分)
12:20 ~ 給食準備・給食・片付け・清掃
13:30 ~ 14:20 話し合い活動・スライド作成開始(5校時)
14:30 ~ 15:20 スライド作成(6校時)
15:20 ~ 帰りの会

9, 確認事項

- ①企業の方には感謝の気持ちで接すること
失礼のないように、あいさつや言葉使い、質問に答えるなど当たり前のこと
しっかりとできるようしましょう。
- ②指定された企業以外に絶対行かない。
- ③常に班で行動し、みんなで協力しましょう。
- ④学習したことばは「しおり」にしっかり記録を取る
- ⑤担当の先生や企業の方の指示をしっかりと聞く。
自分勝手な行動はしない。危険な
教室では人のものに触らない、落書きをしない。

接遇マナー

- ①あいさつ
あいさつは相手と初めて交わすコミュニケーションです。明るく、元気よく!
- ②身だしなみ
制服の身だしなみをしっかり整えましょう。
- ③表情
柔らかい表情、真剣なまなざしで相手に好印象を!
にやけた笑いは不真面目な印象を受けます。気をつけましょう。
- ④言葉遣い
接遇における言葉遣いは敬語が基本です。失礼のないように!
- ⑤態度
中学生らしくハキハキとした態度で、古藏中学校の良さをアピールしましょう。

- 2 -

第1クール 企業名()

メモ

第2クール 企業名()

メモ

本企業の方へ質問、失礼のない内容で、事前に誰が発表するか決めておいてください。
例 企業で取り組んでいるSDGsにはどんなのがあるか
どんなかたちで社会に貢献しているか

この仕事の魅力やいいところ、大変なこと どうしてこの仕事に就いたのか など

- 3 -

【産業教育PG 古蔵中学校 NAHAミライCity しおり】

※これまでの流れを確認してみよう

①那覇市長からのミッショナリーフレット

みなさんが社会人になる「10年後の沖縄・那覇市」をテーマに、那覇市で働く自分をイメージして、自分たちが那覇市で何をしてきたかについて、今ある職業や仕事、企業や産業がどのように変わったかをつかって、また、今何を学ぶといいけど、10年後にはどんな新しい職業や仕事、会社があったかといいについて考えてください。

今ある産業や職業、仕事の例が職業なのか、それをどう解決していくことで、みんなが幸せになるか、そのためにはどんな職業や企業、産業、仕事が必要かについて考えてください。

そのまままとめてきたものを「みなさんが考える10年後の那覇市の産業・職業・仕事」について考えてください。



スライド作成(例) ※スライド8~10枚程度 5分以内

発表

テーマ「私たちが考える10年後の那覇市の産業・職業・仕事」

メンバーの名前

スライド①課題提示

私たちの班は

10年後の那覇市に○○な産業(職業・仕事)があった方がいいと考えます。



スライド②検索根拠

なぜそう思うのかというと…

スライド③検索内容

そのためには…

スライド④

その会社(仕事)は…

スライド⑤

どんなSDGsが取り入れられるか

スライド⑥決算

結果、10年後の那覇市は○○な都市になっていると考えます。

そのため、私たちは○○していきます。/○○を頑張ります。など

ご清聴ありがとうございました。



☆役割分担をして、完成させよう。

スライドが完成したら、発表の練習をしよう

～発表までの日程～

1月19日(金)5、6校時

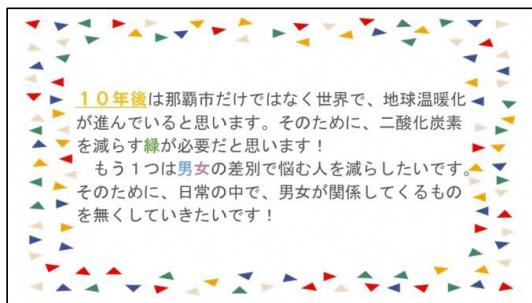
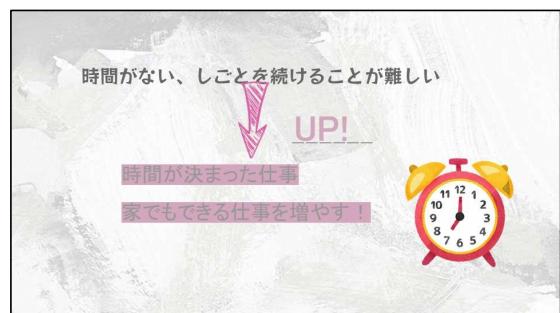
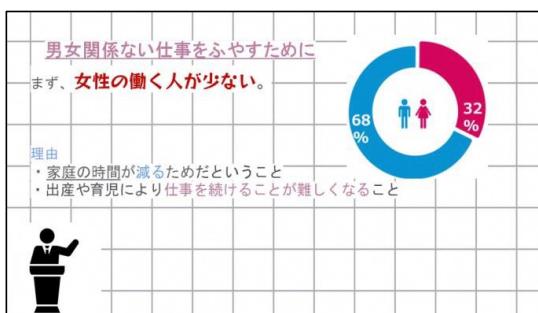
1月26日(金)5、6校時 予行演習・アンケート実施

2月1日(木)5、6校時 クラス発表会(クラス代表決定)

2月22日(木)5、6校時 全体発表会(動画撮影)・まとめ

【産業教育PG 古蔵中学校 那覇市への提案会（学校内）発表資料】

1年1組



【産業教育PG 古蔵中学校 那覇市への提案会（学校内）発表資料】

1年2組

What Naha City need!!

わたしたちの班は、今の那覇市に「お金」が必要だと考えました。



理由

- ・貧困率が1番高い
- ・人手不足
- ・最低賃金の低さ
- ・観光客が楽しめる店が少ない



人手不足をなくすために…

人手不足をなくすためには一人一人の収入を上げた方がいいと思います。その事によって、沖縄に働きに来る人が増え、人手不足がなくなると考えました。



貧困率が1番高い沖縄県

沖縄県の貧困率は37.5%で全国1位です。

貧困が起こる理由。それは…

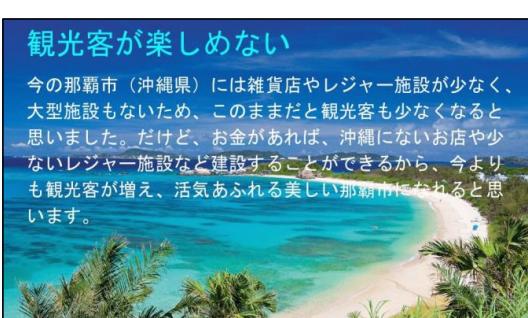
収入が少ないなどといった経済的なことです。

だから、収入を上げれば、貧困が起こることも減り、貧困率も低くなると感じました。



観光客が楽しめない

今の那覇市（沖縄県）には雑貨店やレジャー施設が少なく、大型施設もないため、このままだと観光客も少なくなると思いました。だけど、お金があれば、沖縄にないお店や少ないレジャー施設など建設することができるから、今よりも観光客が増え、活気あふれる美しい那覇市になれると思います。



収入を決める会社

収入を決める会社とは、日本や海外の経済状態、その人の家庭環境などその人にあった収入を決める会社です。



SDGsについて

節電する→地球温暖化の改善がみられる
→暮らしやすくなる→人々の心に余裕ができる→寄付する→貧困が少なくなる



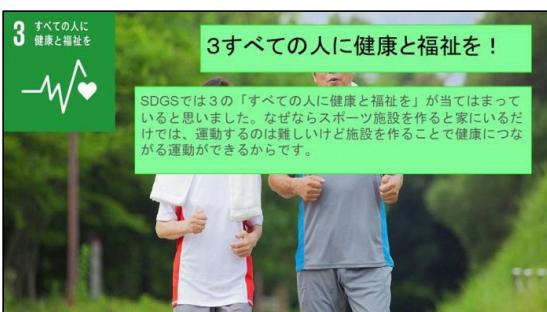
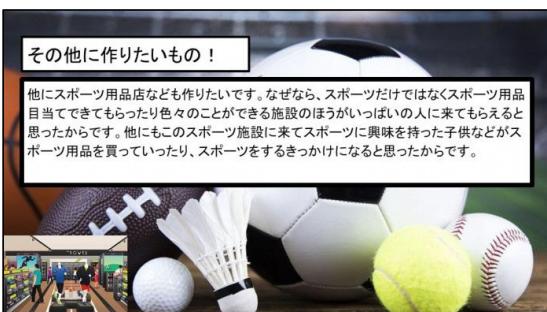
私達にできること

- ・少しでも多く募金をする
- ・エネルギーを節約する
- ・貧困で困っている国について知る
- ・貧困で困っている国のことについて広める



【産業教育PG 古賀中学校 那覇市への提案会（学校内）発表資料】

1年3組



【産業教育PG 古蔵中学校 那覇市への提案会（学校内）発表資料】

1年4組

今、那覇市の問題点とは？

- ・給料の低さが日本内でワースト1位
- ・継続できる会社が少ない（後継者不在率1位）
- ・医療従事者が人手不足になっている。



10年後のNaha City..

継続できる会社を増やした方が良い！

医療従事者関連の仕事を増やしたほうが良い！

なぜそう思うのかというと..

僕達8班は2つの会社とも、医療の会社へ行きました。そこで、課題点を説明してくれたときに、2つの会社とも人手不足が深刻していると言っていました。なので、医療に関連する仕事を増やした方が良いと考えました。そして、継続できる会社を増やすことによって今よりも那覇市が栄えて、生きやすい市になるのかなと考えたからです。

そのためには必要なことは..

- ・那覇市の人口を増やす！
- ・SDGsに県民が積極的に協力し、美しい自然を守る！
- ・医療関係の仕事などを目指しやすい環境を整える。

などのことを私達グループは行つたほうが良いと考えます！

沖縄県看護協会

看護師の人数
・約1万7000人
男性・約4000人

看護師に向いている人
・体力や根性がある人
・いつでも笑顔でいられる人

男性看護師と女性看護師の違い
・男性看護師と女性看護師の仕事は、だいたい一緒だけど男性看護師は力仕事を任されることがある

勤務時間
旦勤 8:30~17:00
中勤 12:00~21:00
夜勤 20:30~9:30

SDGs

すこやか薬局グループ

すこやか薬局 職種

- ・薬剤師
- ・管理栄養士

薬と食をかけ合わせて、地域の健康の維持増進に努めている。

管理栄養士とは、
専門的な知識で「栄養の指導」を行う。
在宅訪問や保育園の献立を調整したりもする。

人不足が問題になっている

医療社会とNaha Cityに向けた取り組みとSDGs

（沖縄県看護協会）

★会議の資料をデジタル化することで、紙の削減をしてSDGsに取り組んでいる（コスト意識！）

（すこやか薬局グループ）

★機械化が進み、人手の作業を省くことで、地域貢献のイベントを増やし、医療に興味を持ってもらう

★沖縄県のSDGsパートナーに入っていて、SDGsの活動が活発となっている

今、私達ができること

（ゆづき）
私は10年後の那覇市にのために色々な職業に目を向けていきたいです。また、身近なSDGsの取り組みに積極的に行うことを頑張りたいです！

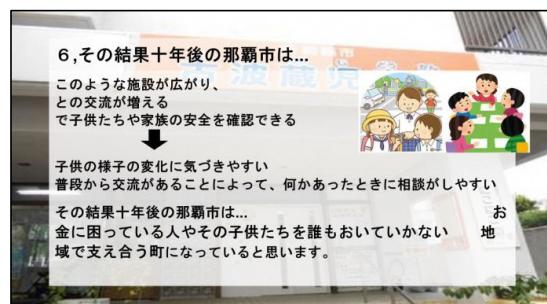
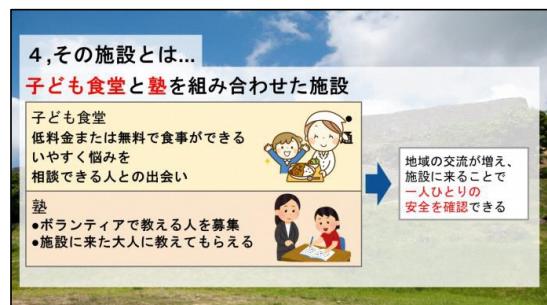
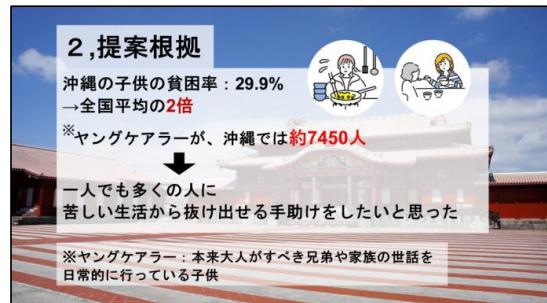
（にいな）
那覇市を良くするためにSDGsに目を向けて生活をしていくことが大切ではないかと思いました。いつまでも那覇市で生きていけるように、自然環境を守っていきたいです。

（たけお）
僕が10年後の那覇市を良くするためにはSDGsに取り組んでいくことが大切だなと思いました。だから、僕は今からでも、できるゴミ拾いをしていきたいと思いました。

『勝利』
僕は10年後の那覇市のためにSDGsを自分ができる範囲にやっていきたいです。沖縄の明るさを守っていきたいです。

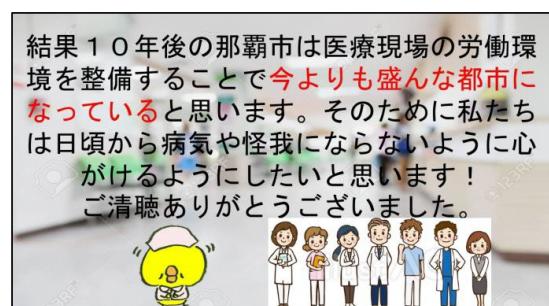
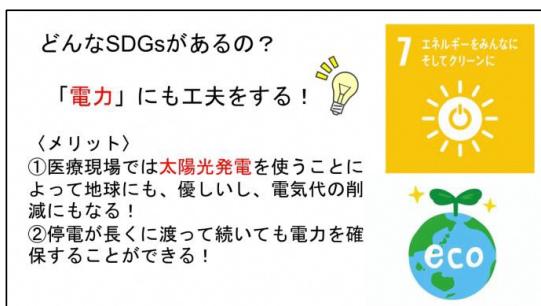
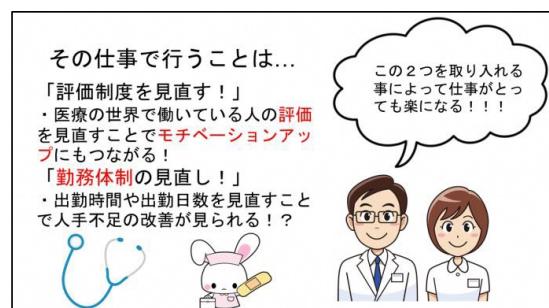
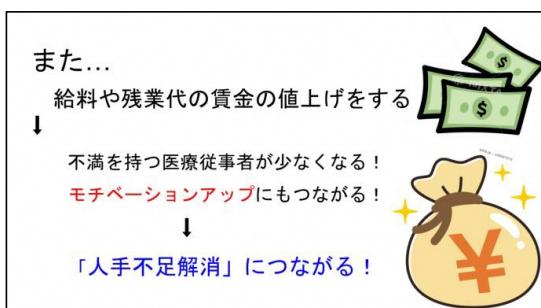
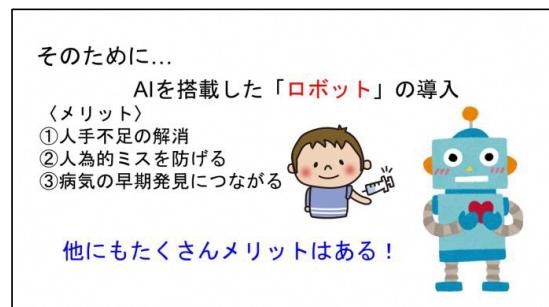
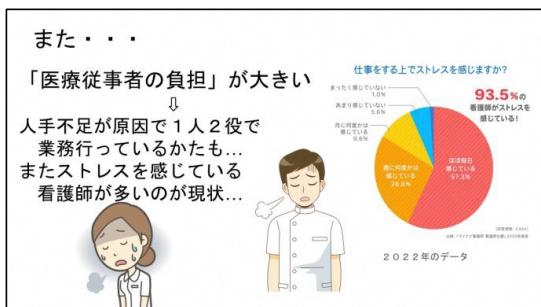
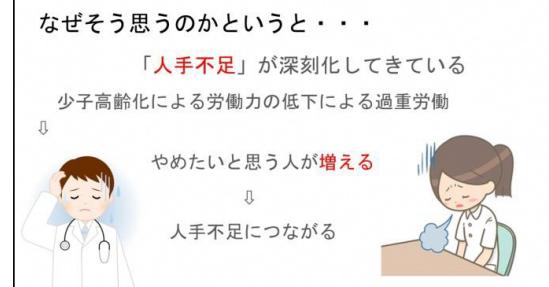
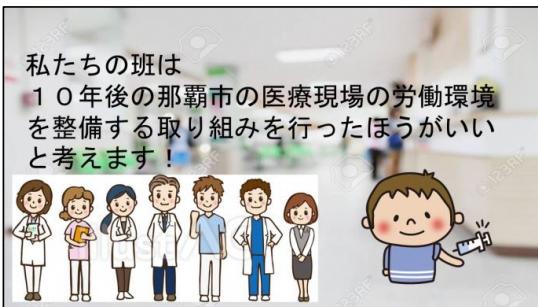
【産業教育PG 古蔵中学校 那覇市への提案会（学校内）発表資料】

1年5組



【産業教育PG 古蔵中学校 那覇市への提案会（学校内）発表資料（一部抜粋）】

1年6組



【産業教育プログラム 松島中学校 NAHAミライCity 感想シート（一部抜粋）】

企業名(拓南グループ)様

体験して気づいたこと・学んだこと・印象に残ったこと・体験する前と後の気持ちの変化など
拓南グループさんと体験して、

私はあまり金銭などの作業につながりなどがない、知識なども全然なかっただけで、初めて10円コイン1台を解体したり、拓南グループさんの作業の仕組みについてとてもくわしく知りました。初めて10円コインを自分たちの手で解体することができる、普段では絶対に見ることのできないキーボードの裏面だったり、10円コインの中身を見せて、とてもワクワクしていました。また、仕組みについても中隠れで唯一り手で倒して、
行っていた、環境問題のことを考えていたことがあります。
私たちの生活にはとても重要な仕事でとても尊敬しています。



企業名(アルティウスリンク株式会社)様

体験して気づいたこと・学んだこと・印象に残ったこと・体験する前と後の気持ちの変化など
僕は今回の企業体験を通じて、コシクトセンターの大妻ユガ、アルティウスリンク株式会社の事業の大切さをかみしめました。

主婦電話の体験を通じて、実際に実際の仕事にかかると、とても早くしゃべる人もいるなと思う。大妻さんは思っています。また、自分が電話をきちんと握りながらゆっくり話をきくと思いました。

アルティウスリンク株式会社の仕事の中に、大妻さんの仕事を見ておりませんでしたが、大妻さんはとても仕事に対する意欲が高く、自分自身のメイクの仕事に力を入れることができるところが、とてもいいなと思いました。

今日はありがとうございました。



Thank you

企業名(拓南グループ)様

体験して気づいたこと・学んだこと・印象に残ったこと・体験する前と後の気持ちの変化など
拓南グループさんと体験して、

私はあまり金銭などの作業につながりなどがない、知識なども全然なかっただけで、初めて10円コイン1台を解体したり、拓南グループさんの作業の仕組みについてとてもくわしく知りました。初めて10円コインを自分たちの手で解体することができる、普段では絶対に見ることのできないキーボードの裏面だったり、10円コインの中身を見せて、とてもワクワクしていました。また、仕組みについても中隠れで唯一り手で倒して、
行っていた、環境問題のことを考えていたことがあります。
私たちの生活にはとても重要な仕事でとても尊敬しています。



企業名(沖縄県看護協会)様

体験して気づいたこと・学んだこと・印象に残ったこと・体験する前と後の気持ちの変化など
沖縄県の医療についてくわしく知ることができました。

今の病院での現状や行っている取り組みなどを話を聞く前と比べて医療に対する意識が広がりました。

採血体験や専用の服を着させてもらうという、普通ではできない体験ができて楽しく学べました。

この企業を体験した事で将来の夢の視野が広かりました。

貴重な体験をありがとうございました。



Thank you

企業名(学校法人 KBC学園)様

体験して気づいたこと・学んだこと・印象に残ったこと・体験する前と後の気持ちの変化など
古賀中学校での職業体験・事業所体験の日はお世話をありがとうございました。

アラフィットデザインがどのようなものでどこで使われるかが分かりました。
ニーズに合わせたデザインを考えるのは今も昔も変わらないことに気づくことができました。

私はよく、休み時間や家での自由時間に絵を描いて遊んでいますが、それが私から将来につながるといふことを思いました。
今回の缶ペイント作り体験で作成したものを友達にプレゼントすると、その子はとても喜んでくれたので、私も嬉しいです。

私たちのグループが質問したときに
「お客様が手にとったれたときが特に嬉しい」と答えていたことが
印象に残っています。友達が缶ペイントを受け取ってくわいと喜んでいました。
他の人が自分の作ったものを受け取ってくれたときの感謝をやがい。
なりかねて思いました。

私は今回の体験を通して学んだことをこれから活用していきたいです。

)様

企業名(金秀ホールディングス)様

体験して気づいたこと・学んだこと・印象に残ったこと・体験する前と後の気持ちの変化など

金秀さんの話を聞いて、金秀は商品を買ってもらうために、いろいろなことを工夫しているんだなと思いました。

POP作りに挑戦してみた。私は最初POPで売れるのかなーと思いつつ、私がPOPがあったら、買うかもしれないと思っていました。
POP作りは、買わせるために工夫しないといけないから、とても難しかったです。



Thank you

【産業教育PG 古藏中学校 クラス発表会で使用したワークシート（一部抜粋）】

(3)班 メンバー	
発表の内容について	魚と見る海 水が魚食文化を 見る魚の生態 魚食文化 海の生物と海
声の大きさ	5. ④ 3・2・1
発表の内容	⑤ 4・3・2・1
態度	⑤ 4・3・2・1
(4)班 メンバー	
発表の内容について	発表物は 魚食文化 魚食文化と社会構成 人手不足 医療関連の仕事と増加 傾向と見方を述べた かねて見方を述べた
声の大きさ	⑤ 4・3・2・1
発表の内容	⑤ 4・3・2・1
態度	⑤ 4・3・2・1
(2)班 メンバー	
発表の内容について	医療関連の仕事を増やす人不足 消費量も減少
声の大きさ	5. ④ 3・2・1
発表の内容	⑤ 4・3・2・1
態度	⑤ 4・3・2・1
学級プレゼン大会を終えて…	
○これまでの総合的なNAHAマイプロジェクトの取り組みを通して、自分が学んだことや今後に生かして行きたいことを書きましょう。	
○この問題をもとに、伝統工芸品で空き地を人かがみたり、脚質通りに地元 町が見立てるか、かの領地をアスメと変えたりして、若者世代は伝統工芸品 の良さをアピールしたり、同質通りに「何で何?」としめアピールすることで、特に問題がある。 ○他の班の発表の内容を聞いて、学んだことを書きましょう。 那覇の良さをアピールしたり、 ○この問題をもとに、空き地をアスメで、医療関連の仕事不足などについて学んだ。	
○自分たちの学級の代表として、[]班を推薦します。	

【産業教育PG 古蔵中学校 学年発表会で資料したワークシート（一部抜粋）】

NAHA ミライ city プロジェクト 全体発表会 ワークシート

発表順	クラス	班 (氏名)	発表の内容
1	2組	1班 (氏名) 喜田みゆき 朝倉せな 伊藤ゆうすけ 伊藤ゆうすけ	10年後の那覇市がめいめい金が代り難い SDGsで持続していく貧困・人権不満満面に取り組むことの大切さ
2	1組	1班 (氏名) 鈴木ひづる 佐々木一歩 陽川里里 佐々木ゆめ	男女関係の働くことの大切さ 金の問題、男女別で 日々の暮らしをよくすることの大切さ
3	6組	1班 (氏名) 吉田みゆき 朝倉ゆうすけ 猪木みゆき	医療現場の改善 (人材不足・階級上げ→給料も食うづけ、AIの使用 鹿中内閣医療政策のうづけ)
4	3組	6班 (氏名) 喜田みゆき おやあや 木曾さくら 朝倉ゆうすけ	スポーツ競技もつづけ (月曜日は自由に使うことができる施設をつくることの大切さ スポーツ用品店ぐるぐる(スポーツをやめない)
5	4組	8班 (氏名)	
6	5組	4班 (氏名) 伊藤ゆうすけ 久前美空	沖縄は貧困率が 全国平均の2倍。 子ども食堂を設立すればみんなが笑顔でつくる 地域社会をつくることの大切さ。

全体プレゼン大会が終了終了。

○全体発表会を終えて、他クラスのメンバーの発表を聞いて分かったことや感動になったことを書きましょう。

那覇市には多くの誰もが誰もが、あって、その誰もが1つに重なって、
SDGsで医療に意識がつく。

○今回の取り組みを通して、10年後の那覇市を担う一人として、これからどんなことを頑張っていきたいですか。

私のやうに、誰もがだれだれとして自分に経験して、
10年後社会人になれた時、自分の人生を築けたい。

○あなたは、今回のプレゼン作成、発表の取り組みの中でどんなことを頑張ったか具体的に書いて下さい。

私は医療について学び、班のみんなと協力して、クラス代表にがんばって
構成した。本番も緊張感で悔いのない発表会にしてよかったです。

NAHA ミライ city プロジェクト 全体発表会 ワークシート

発表順	クラス	班 (氏名)	発表の内容
1	2組	1班 (氏名) ゆうこ さとひいな(ゆく)	お金が必要。加入すれば収入を決める会社を作ります。
2	1組	1班 (氏名) ゆうこ まことひな(ゆく)	男の子を作ります。
3	6組	1班 (氏名) さきこ あんじゅ あさみ(ゆく)	行動環境変更でAIで洗うた日本を 那覇の病院で導入する。
4	3組	6班 (氏名) たかが かずか かずか(ゆく)	人をソーシャルで繋ぎながらコンピュータでスポーツ ができる。
5	4組	8班 (氏名) さくら かおり ひづる(ゆく)	危険な物を手に取り、危険な手を使わせ 人材育成。
6	5組	4班 (氏名) くわい あくひ(ゆく)	人間が守る命を守る 技術を教えてもらおう。

全体プレゼン大会を終えて…

○全体発表会を終えて、他学級のメンツの発表を聞いて分かったことや気になったことを書きましょう。

グラフなどで、数値を明瞭にしたりひんこんが多いことが分かった。

○今回の取り組みを通して、10 年後の那覇市を担う一人として、これからどんなことを頑張っていきたいですか。

三本ガソリンでどうでもいいか? ゴミを手にしました。

○あなたは、今回のプレゼン作成、発表の取り組みの中でどんなことを頑張ったか具体的に書いて下さい。

大きな声で人に聞こえながら発表して。

令和5年度那覇市の未来の担い手育成に向けたキャリア教育支援事業
実施報告書

発 行：那覇市 経済観光部 商工農水課
事業委託：那覇市キャリア教育支援コンソーシアム
〒900-0022 沖縄県那覇市樋川1-27-11 1F
TEL：098-851-7827／FAX：098-987-4336